

令和 3 年度
(2021年度)

学生の葉

シラバス (授業要綱)

1 年次

学籍番号

氏 名

福岡医療短期大学
歯科衛生学科

建学の精神

歯科衛生学に関する専門の学術を教授研究し、教養と良識を備えた有能な歯科衛生士を養成し、保健福祉に貢献すると共に、歯科衛生学の進展に寄与する

教育の理念

本学は、「教育基本法及び学校教育法の精神に基づき、歯科衛生士に必要な専門の知識と技術を教授研究し、教養と良識を備え、口腔医学に基づいた歯科医療を実践できる有能な人材を育成するとともに、もって医療、保健、福祉に寄与する」（学則第1条）ことを使命とする。

近年、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変貌は著しく、それらの高度化・専門化が進行している。これに伴い、歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割はますます重要視されるとともに、指導的役割を果たすことのできる優秀な人材の育成が強く求められている。これらの社会的要請に応えるために、幅広い知識と高度な技術を兼ね備えた歯科衛生士の養成を目指す。

入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める人材を育成するために、次に掲げる「知識・理解・技能」や「思考力・判断力・表現力」および「態度・主体性」を備えた人を求めます。

- 1 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識・理解や実技を行う能力を有している。（知識・理解・技能）
- 2 物事を多面的かつ論理的に考えることができる。（思考力・判断力）
- 3 自分の考えを的確に表現し伝えることができる。（表現力）
- 4 対話を通して、相互理解に努めようとする態度を有している。（態度）
- 5 口腔保健に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある。（主体性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた目標を達成するために、医療人としての自覚と倫理観を持ち、生涯を通じた口腔の健康管理、要介護者および高齢者や障がい者への専門的口腔ケア（口腔介護）を実践できる歯科衛生士の養成を目的にカリキュラムを編成しています。1年次から3年次へと体系的・順序性を考慮して「基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」、「選択必修分野」にわけて、カリキュラムを編成し、講義、実習を適切に組み合わせた授業を開講しています。カリキュラムの体系を示すために、科目間の関連、学修の段階や順序等を表した番号をふるナンバリングを行い、カリキュラムの構造をわかりやすくシラバスに明示しています。

（教育内容）

- 1 「基礎分野」（知識・理解、態度・主体性）
生命科学および情報処理の理解を深め、豊かな感性や教養を持った歯科衛生士の育成を目指します。また、グローバルな対人コミュニケーション能力を身につけた人材を育成します。
- 2 「専門基礎分野」（知識・理解、態度）
高度化および専門化する口腔医学に対応するために、歯科衛生士として必要な基礎医学を系統立てて理解した人材を育成します。また、疾病の予防と回復過程の知識を身につけ、歯や口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組みを理解し、地域における関係諸機関等との連携ができる能力を持つ人材を育成します。
- 3 「専門分野」（知識・理解・技能、思考力・判断力・表現力、態度・主体性）
生涯を通じた継続的な口腔保健管理を理解し、疾病やライフステージ別の予防法や予防システムの構築を学ぶとともに、生活環境や全身状態が多様な個人および集団に対して、専門的立場から歯科保健指導を実践する能力を身につけた歯科衛生士を育成します。また、「歯科医療チームの一員として歯科医師の診療の補助ができる歯科衛生士」、「福岡歯科大学医科歯科総合病院での臨床実習を通して、医療人としての自覚と倫理観を備え、専門性を発揮できる歯科衛生士」、「キャンパス内外の介護保険施設等での臨地実習では多職種と連携し、要介護高齢者や障がい者の口腔介護を実践できる歯科衛生士」の育成を目指します。
- 4 「選択必修分野」（知識・理解・技能、表現力、態度・主体性）
口腔介護の実践で必要となる生活介護や身体介護を修得し、超高齢社会に対応した知識・技能を身につけた歯科衛生士を育成するとともに、すべてのライフステージにおける口腔保健管理のサポートに必要な豊かな人間性と職業倫理観や、生涯にわたって学修を継続する意欲を持ち、また、アジアに視点をおいた幅広いコミュニケーション能力を身につけ、国際的にも活躍できる歯科衛生士の育成を目指します。

（教育方法）

- 1 主体的に学ぶ力を高めるために、アクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実践します。（思考力・判断力、態度・主体性）
- 2 教育効果を上げるために、シラバスに学修内容や準備学修の項目を設け、ホームワークやレポートは整合性や連続性を図ると共に、形成的評価のための学期中のフィードバックを行います。（知識・理解）

- 3 目標・記録・評価の総合的ツールであるポートフォリオを3年間かけて作成し、自己の学生生活を自身で管理し、「ふりかえり」を行います。(態度・主体性)
- 4 国家試験に必要な専門的知識の修得確認のために外部テスト(歯科衛生士模擬試験)を導入し、結果のモニタリングを行い、自己学修の推進を図ります。また、模擬試験や国家試験対策のための時間を設定し、2年次から段階を追った学修プログラムを実施します。(知識・理解)
- 5 臨床・臨地実習は、指導教員および実習指導者から助言を受けながら知識や技能を深め、また、小グループでのグループ学修により他者の意見も聞き、考えを広げ、専門知識を活用した問題発見や問題解決の方法の修得を図ります。(知識・理解・技能、思考力・判断力・表現力、態度・主体性)

(教育評価)

- 1 履修した各講義や実習科目においては、シラバスに明記された評価方法に従い、学期末毎の学修到達度の評価を行います。不合格の者には再試験を課し、その合格を求めます。
- 2 各年次において、修得すべき全単位を取得した場合を進級とします。
- 3 3年次臨床・臨地実習の期間に、身に付けるべき能力の修得について評価します。臨床・臨地実習試験の不合格の者には再試験を課し、その合格を求めます。
- 4 3年次期末に、それまでの専門基礎分野および専門分野の修得を確認する「卒業試験」を行います。不合格の者には再試験を課し、その合格を求めます。

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学科では、建学の精神を基本理念とし、下記(I)の目指すべき人物像に向けて、本学の学位プログラムの課程を修め、すべての単位取得を充たした上で、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変化に対応した専門知識・技術を修得し、下記(II)の能力を身につけた者に卒業認定を行います。

I 目指すべき人物像

豊かな教養と人間性を持ち、口腔保健の専門性を発揮するとともに、多職種と協働、連携し、歯科衛生士のリーダーとして活躍できる人物。

II 修得すべき能力

(知識・理解)

- 1 歯科衛生士として豊かな教養と人間性を持ち、基本的な医療・保健・福祉の知識を体系的に理解し、多様な対象者を支援することができる。

(思考力・判断力)

- 2 多様な情報や知識を論理的に分析、考察することができる。
- 3 科学的思考力を持ち、口腔保健活動における問題を発見・解決することができる。

(態度・主体性)

- 4 医療人としての自覚と倫理観を備えている。
- 5 口腔の健康管理に関心を持ち、生涯にわたって学修を継続することができる。
- 6 自己管理能力や主体性を発揮し、社会や他者のために責任ある行動をとることができる。
- 7 国際交流にも視点をおいた多様な対象者に対して幅広いコミュニケーションを図ることができる。

(技能、表現力)

- 8 根拠や理論に基づいた口腔保健管理のための知識や技能を活用し、対象者の生活の質(QOL)の向上を図ることができる。

歯科衛生学科（１、２年生）

科目		科目番号	時間数	単位	1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期	3 年前期	3 年後期		
基礎分野	科学的思考の基盤	生物物理学 I	DH011001	30	1	30						
		情報処理概論 I	DH011002	18	1		18					
		情報処理概論 II	DH021003	18	1			18				
		情報処理実習 I	DH011004	42	1		42					
		情報処理実習 II	DH021005	42	1			42				
	人間と社会生活の理解	経済学	DH021011	30	1			30				
		英語 I	DH011012	60	2	30	30					
		英語 II	DH011013	30	1			30				
		キャリアデザイン	DH021014	20	1				20			
		健康生理学 I	DH011015	30	1	30						
		健康生理学 II	DH011016	30	1		30					
		専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学	DH011101	30	2	30				
全身疾患の病態・生理学	DH021102			30	2			30				
歯・口腔の構造と機能	口腔組織生物学		DH011111	30	2	30						
	口腔解剖学		DH011112	30	1		30					
7	口腔生理学		DH011113	30	2	30						
	口腔生化学		DH011114	30	2		30					
疾病の成り立ちと回復の促進	口腔病理学		DH011121	30	2		30					
	口腔微生物学		DH011122	30	2	30						
6	歯科薬理学		DH011123	30	2		30					
	口腔衛生学 I		DH011131	30	2	30						
専門分野	歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み		口腔衛生学 II	DH011132	30	2		30				
			歯科衛生統計	DH031133	18	1					18	
	9	衛生学・公衆衛生学	DH021134	30	2			30				
		衛生行政論	DH031135	18	1					18		
	26	社会福祉論	DH031136	18	1					18		
		歯科衛生士概論	DH011201	30	1	30						
	2	看護学総論	DH021202	30	1			30				
		臨床歯科医学	歯科臨床概論	DH011211	30	1	30					
	歯科保存修復・歯内治療学		DH011212	30	1		30					
	歯周病治療学		DH021213	30	1			30				
	歯科補綴学		DH011214	30	1		30					
	口腔外科学		DH011215	30	1		30					
小児歯科学	DH011216		30	1		30						
矯正歯科学	DH011217		30	1		30						
9	高齢者・障害者歯科学		DH021218	30	1			30				
	歯科麻酔学・歯科放射線学		DH021219	30	1				30			
8	歯科予防処置論		歯科予防処置論（講義）I	DH011221	20	1	20					
			歯科予防処置論（講義）II	DH021222	18	1				18		
			歯科予防処置実習 I	DH011223	40	1	40					
		歯科予防処置実習 II	DH011224	40	1		40					
		歯科予防処置実習 III	DH021225	40	1			40				
		歯科予防処置実習 IV	DH021226	80	2			80				
		歯科予防処置実習 V	DH021227	40	1				40			
		8	歯科保健指導論	歯科保健指導論（講義）I	DH021231	20	1		20			
	歯科保健指導論（講義）II		DH021232	18	1				18			
	7		栄養学	DH021233	30	1			30			
			食育	DH021234	24	1				24		
			歯科保健指導実習 I	DH011235	30	1	30					
歯科保健指導実習 II			DH011236	30	1		30					
		歯科保健指導実習 III	DH021237	30	1			30				
		歯科保健指導実習 IV	DH021238	30	1				30			
8		歯科診療補助論	歯科診療補助論（講義）I	DH011241	20	1	20					
			歯科診療補助論（講義）II	DH021242	24	1				24		
		歯科材料学	DH011243	30	1	30						
		歯科診療補助実習 I	DH011244	40	1	40						
		歯科診療補助実習 II	DH011245	40	1		40					
		歯科診療補助実習 III	DH021246	40	1			40				
7	口腔介護論	歯科診療補助実習 IV	DH021247	40	1				40			
		口腔介護論	DH021251	30	1				30			
2		口腔介護技術論	DH021252	44	1				44			
		臨床・臨床実習	DH031261	900	20					450	450	
20	総括	（含口腔介護施設実習）口腔保健テーマ別講義	DH031271	60	2					60		
		卒業研究	DH031272	50	2						50	
60	必修合計			2902	98	480	530	480	348	504	560	
選択必修分野	7	コミュニケーションスキル	DH022301	30	2				30			
		接遇	DH022302	30	2				30			
		中国語	DH022303	30	2				30			
		韓国語	DH022304	30	2				30			
		物理学	DH012305	18	1	18						
		化学	DH012306	18	1	18						
		心理学	DH022307	30	2			30				
		倫理学	DH022308	30	2			30				
		介護研修 I	DH022309	24	2			24				
		介護研修 II	DH022310	32	2			32				
		介護研修 III	DH022311	24	2				24			
		介護研修 IV	DH022312	60	3				60			
		介護研修 V	DH022313	32	2				32			
		選択必修合計		388	25	36	0	116	236	0	0	
		総計		3290	123	516	530	596	584	504	560	

講義15時間～30時間を1単位、実習30時間～45時間を1単位とする。
選択必修分野から7単位を履修する。

福岡医療短期大学試験、 成績の評価及び進級に関する規則

(平27.4.1適用)

(試験)

- 第1条 試験は定期試験、追試験、再試験及び卒業試験とする。ただし、必要に応じ随時に試験を行うことがある。
- 2 定期試験は、学期末又は学年末に各授業科目について行う。
- 3 追試験は、病気その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかった者に対し当該試験科目について行う。
- 4 再試験は、定期試験において不合格となった試験科目のある者（当該試験科目について）及び卒業試験に不合格となった者に対し、必要がある場合行う。
- 5 卒業試験は、学則第13条に定める別表Ⅰ、Ⅱの教育課程を履修した者に対して行う。

(試験方法)

- 第2条 試験は、筆記又は口頭による質疑応答又は実習、実技の審査によるほか、レポート、論文の審査又は平常の成績をもって替えることができる。

(受験資格)

- 第3条 次の各号の一に該当する者は試験を受けることができない。ただし、相当の事由がある場合は、仮に試験を受けさせることができる。
- (1) 各授業科目について、出席日数が授業時間数の3分の2に達しない者及び実習については5分の4に満たない者
- (2) 学則第33条の規定により現に懲戒（停学）処分中の者
- (3) 学生納付金及び追試験又は再試験の場合における受験料を未納の者
- (4) その他短大学長の指定した者

(受験者心得)

- 第4条 受験者は次の各号に定める事項を遵守しなければならない。
- (1) 試験開始後20分経過した後は試験場に入る（受験する）ことを認められないこと及び試験開始後30分までは退場を認められないこと。
- (2) 試験場においては、必ず学生証（追・再試験の場合は追・再試験受験票、以下本号において同じ）を机上に提示すること（当日学生証を忘れた者は、あらかじめ事務室で臨時学生証の交付を受けること。）。
- (3) 試験場においては、指定の場所に着席すること。
- (4) 試験場においては、指定ある場合を除きノート、教科書、参考書等を机に置かないこと。
- (5) 試験場においては、監督者の指示に従うこと。
- (6) 答案用紙は白紙でも学籍番号、氏名を明記し、提出すること。
- (7) 試験に関する掲示に注意すること。
- (8) 追・再試験を受けようとする者は、短大学長の許可を受け、受験料を納付し追・再試験受験票の交付を受けること。

(試験中の不正行為)

第5条 試験中不正行為を認めたときは、監督員は直ちに答案を没収し、退場を命ずるとともに試験終了後速やかに短大学長に報告しなければならない。

2 不正行為を行った者に対しては、当該学期の全受験科目の評価を無効とし、かつ、学則第33条の規定により懲戒処分を行うものとする。

(成績の評価)

第6条 試験の成績は、優・良・可・不可の評語をもって表わし、可以上を合格とする。ただし、再試験においては可又は不可とし、卒業試験においては合又は否とする。

(進級及び留級)

第7条 学則第16条の規定により、当該学年において修得すべき全授業科目に合格した場合は進級とし、不合格の科目がある場合は、短大学長が進級又は留級を決定する。

(留級者)

第8条 留級者は原則として当該学年において修得すべき全授業科目のうち特に免除された科目のほかの授業に出席し、試験を受けなければならない。

福岡医療短期大学試験、 成績の評価に関する細則

(平31.4.1適用)

試験、成績の評価等の取り扱いについて

1 試験の成績における評語の点数区分等

試験の成績における各評語の点数区分は次のとおりとする。

なお、「優、良、可、不可」はそれぞれ「A、B、C、D」で表すこともできる。

(1) 定期試験等

優	(A)	100点～80点
良	(B)	79点～70点
可	(C)	69点～60点
不可	(D)	59点～0点

(2) 卒業試験等

合	100点～70点
否	69点～0点

2 追・再試験の採点方法

(1) 追試験

点数は最高100点とする。

(2) 再試験

点数は最高60点とする。ただし、卒業試験の再試験は最高70点とする。

3 再試験欠席者の成績評価

(1) 再試験欠席者の成績(学年成績)の評価は、通常、定期試験の成績をもって代えるものとするが、これによることなく、担当教員が必要に応じてその他の方法により評価を行うことができる。

(2) 再試験の成績報告書において欠席の旨表示された者については、定期試験の成績をもってその学年成績とする。

福岡医療短期大学 G P A に関する実施要項

(目的)

第1条 この要項は、福岡医療短期大学（以下「本学」という。）におけるグレード・ポイント・アベレージ（履修科目の成績の平均値。以下「G P A」という。）に関し必要な事項を定め、教育課程における学修到達度を客観的に評価することにより、大学教育の質を保証するとともに、学修支援等に資することを目的とする。

(評価等)

第2条 学生が履修した授業科目のグレード・ポイント（評価により与えられる数値。以下「G P」という。）は、次表のとおりとする。

区 分	グレード	1単位あたりのG P	成績評価基準	学修成果の達成度
合 格	S	4	100点～90点	基準を大きく超えて優秀である
	A	3	89点～80点	基準を超えて優秀である
	B	2	79点～70点	望ましい基準に達している
	C	1.5	69点～60点	単位を認める基準に達している
	C *	1	再試験合格60点	単位を認める最低限の基準には達している
不合格	D	0	59点～0点	基準を下回っている

(G P A の算定)

第3条 各学期の G P A（以下「学期 G P A」という。）及び累積の G P A（以下「累積 G P A」という。）は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第一位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。

学期 G P A =

$$\frac{(\text{当該学期の履修科目の G P} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{当該学期の履修登録した科目の総単位数}}$$

累積 G P A =

$$\frac{(\text{全学期の履修科目の G P} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{修得した科目の総単位数}}$$

(対象授業科目等)

第4条 本学で進級あるいは卒業により認定されたすべての授業科目を G P A の対象授業科目とする。

2 前項の規定にかかわらず、次の場合は、G P A の対象外科目とする。

- (1) 選択科目で必要単位数を超えて取得した科目
- (2) 編入学または転入学等の単位認定科目
- (3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- (4) その他教授会で認めた G P A 算出除外科目

(G P A の公表)

第5条 G P A は、成績配付時に学生へ公表する。

(G P A の活用)

第6条 学期 G P A は、次のとおり活用するものとする。

- (1) 1つの学期（1セメスター）の G P A が 1.5 未満となった場合は、学生本人を呼び出し、学年担任による注意と指導を行う。
- (2) G P A 1.5 未満が 2 学期（2セメスター）連続した場合は、学生本人及び保証人（保護者等）に対して学科長と学年担任による面談を実施し、学年担任と助言教員等が継続的な学修支援等を行う。
- (3) G P A 1.5 未満が 3 学期（3セメスター）連続した場合は、学生本人及び保証人（保護者等）に対して学科長と学年担任による面談を実施し、退学するか、就学を継続するか意思確認を行う。就学意思がある場合には、学年担任及び助言教員等が継続的な学修支援・生活指導等を行う。

2 累積 G P A は、次のとおり活用するものとする。

- (1) 学生の主体的な学修を促進するための指標
- (2) 学生の学業成績を総合的に判断する指標
- (3) 特別奨学生や奨学金等の算定基礎資料
- (4) 学生の推薦や就職活動等にかかる資料

(その他)

福岡医療短期大学出欠の確認に関する細則

(平25.4.1適用)

第7条 この要項に定めるもののほか、G P Aの取扱いに関し必要な事項は、学務・F D委員会が別に定める。

- 1 福岡医療短期大学出欠の確認に関する細則は、次のとおりとする。
- 2 出席の確認は各授業開始時に行う。
- 3 出席確認時にあらかじめ決められた座席に着席していない者は欠席とする。
- 4 授業担当者が正当な理由がないと判断した授業途中の退室は欠席とする。
- 5 授業中の携帯電話の使用は禁止する。使用した者はその授業を欠席とし、退室を命じる。
- 6 法令、天災その他本人の責によらない場合には、速やかに届け出ること。

シラバス（授業要綱）

科目ナンバリングのコード配分規則（歯科衛生学科：科目群）

（例）DH011001 『8桁』の科目番号

DH 01 1 001 ⇒ 『生物学』

	学部	学年水準	履修区分	通し番号
（例）	DH （歯科衛生学科）	01 （第1年次）	1 （必修）	001 （先頭の科目）
詳細	別表1	別表2	別表3	別表4

別表1〔学科〕

識別文字	学科名等	英語標記
DH	歯科衛生学科	Dental Hygiene
HP	専攻科	Dental Hygiene Postgraduate Course

別表2〔学年水準〕

番号	付加情報	番号	付加情報
00	導入レベル	21	専攻1年
01	1年		
02	2年		
03	3年		

別表3〔履修区分〕

番号	付加情報
0	なし
1	必修
2	選択必修

別表4-1〔通し番号〕歯科衛生学科

番号	科目分野	科目群
001～100	基礎分野	科学的思考の基盤 001～ 人間と社会生活の理解 011～
101～200	専門基礎分野	人体の構造と機能 101～ 歯・口腔の構造と機能 111～
		疾病の成り立ちと回復の促進 121～
201～300	専門分野	歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み 131～
		歯科衛生士概論 201～ 臨床歯科医学 211～
		歯科予防処置論 221～ 歯科保健指導論 231～
		歯科診療補助論 241～ 口腔介護論 251～
		臨床・臨地実習 261～ 総括 271～
301～400	選択必修分野	301～

別表4-2〔通し番号〕専攻科口腔保健衛生学専攻

番号	科目分野
001～100	専攻外科目
101～200	関連科目
201～300	専門科目

歯科衛生学科

Department of Dental Hygiene

■学習・教育目標

近年、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変貌は著しく、それらの高度化・専門化が進行している。これに伴い、歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割はますます重要視されるとともに、一般の歯科衛生士に対して指導的役割を果たすことのできる優秀な人材の育成と高齢社会に対応した歯科衛生士が強く求められている。また本学は、キャンパス内に福岡歯科大学および同大学医科歯科総合病院、介護老人保健施設、介護老人福祉施設を擁する福岡学園のグループ校であり、医療・保健・福祉教育に絶好の環境にある。これらの施設での臨床・臨地実習を通じて、医療人としての自覚と倫理観を持ち、地域歯科保健のリーダーとなり、また「口腔介護」を実践できる歯科衛生士の養成を目標とする。

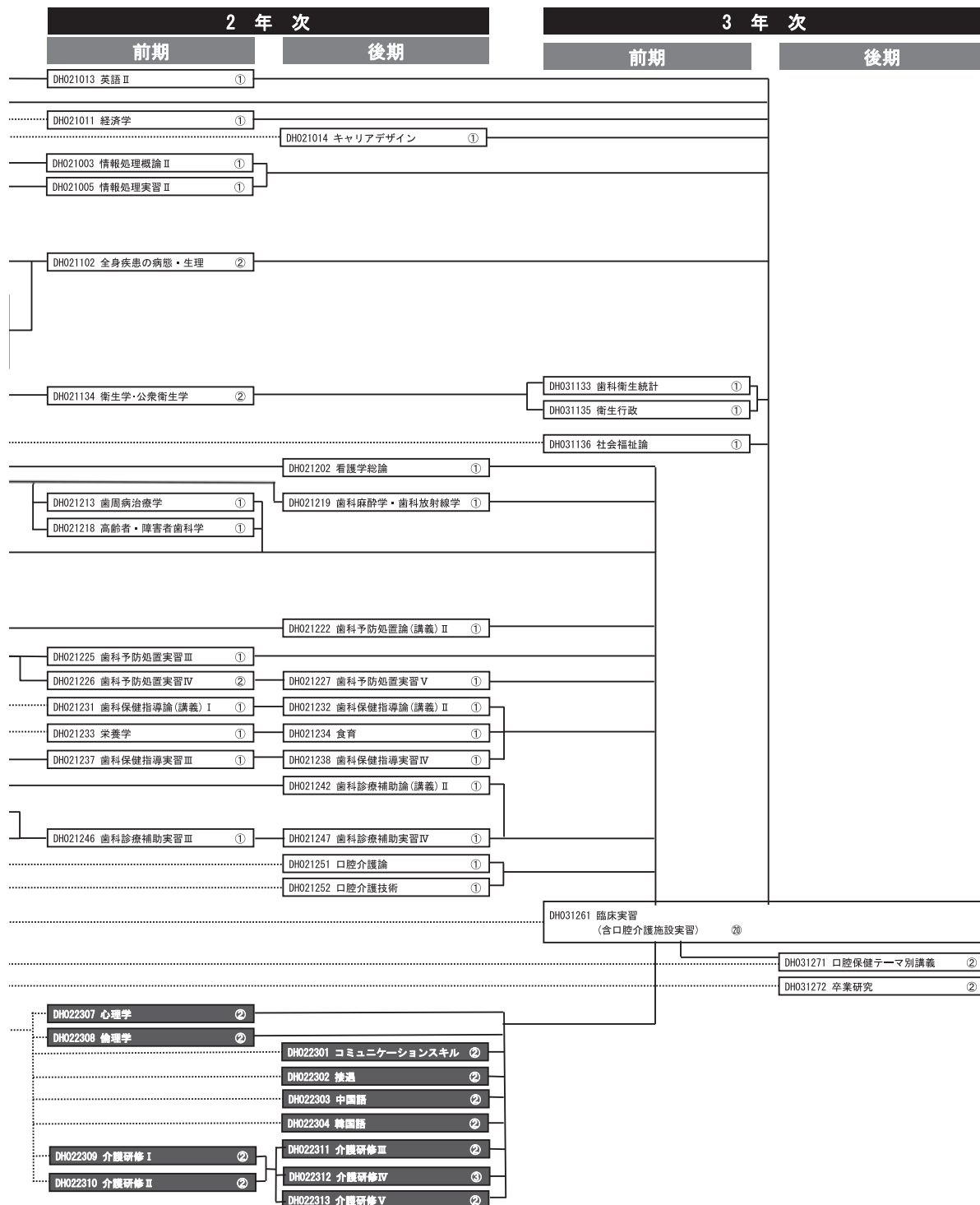
科目領域の学習・教育目標		1 年 次	
歯科衛生学科		前期	後期
		DH011012 英語 I ②	DH011016 健康生理学 II ①
基礎分野 生命科学および情報処理の理解を深め、豊かな感性や教養を持った歯科衛生士を目指す。また、国際交流にも視点をおいた対人コミュニケーションを身につける。「選択必修：物理学/化学」	人間と社会生活の理解	DH011015 健康生理学 I ①	
	科学的思考の基盤	DH011001 生物学 ① DH012305 物理学 ① DH012306 化学 ①	DH011002 情報処理概論 I ① DH011004 情報処理実習 I ①
専門基礎分野 高度化・専門化する口腔医学に対応するために、歯科衛生士として必要な基礎医学を系統立てて理解する。また、疾病の予防と回復過程の知識を身につけ、口腔のセルフケア能力を高めるための教育的役割や、地域における関係諸機関等との調整能力を養う。	人体の構造と機能	DH011101 解剖学 ②	
	歯・口腔の構造と機能	DH011111 口腔組織学 ② DH011113 口腔生理学 ② DH011122 口腔微生物学 ②	DH011112 口腔解剖学 ① DH011114 口腔生化学 ② DH011121 口腔病理学 ② DH011123 歯科薬理学 ②
専門分野 生涯を通じた継続的な口腔保健管理を理解し、疾患やライフステージ別の予防法や予防システムの構築を学ぶとともに、多様な生活環境や全身状態にある個人および集団に対して、専門的立場から歯科保健指導ができる能力を身につける。また、歯科医療チームの一員として歯科医師の診療の補助ができる歯科衛生士を目指す。臨床・臨地実習は福岡歯科大学医科歯科総合病院での臨床実習を通して、医療人としての自覚と倫理観を備え、多職種と連携して専門性を発揮できる歯科衛生士を目指す。また、科学的知識に裏付けられた口腔介護の技術と専門職としての態度を学び、キャンパス内の介護保険施設での臨地実習を通して、高齢者や障がい者の「口腔介護」を実践できる歯科衛生士を目標とする。	疾病の成り立ちと回復の促進	DH011131 口腔衛生学 I ②	DH011132 口腔衛生学 II ②
	歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み		
選択必修分野 すべてのライフステージにおける口腔保健のサポートに必要な豊かな人間性と職業倫理観を身につける。また、国際交流にも視点をおいた幅広いコミュニケーション能力を身に付け、研究者として国際的にも活躍できる歯科衛生士を目指す。口腔介護の実践で必要となる生活介護を、根拠に基づいた技術により修得し、超高齢社会に対応した多様な情報・知識を身につける。	歯科衛生士概論	DH011201 歯科衛生士概論 ①	
	臨床歯科医学	DH011211 歯科臨床概論 ①	DH011212 歯科保存修復・歯内治療学 ① DH011214 歯科補綴学 ① DH011215 口腔外科学 ① DH011216 小児歯科学 ① DH011217 矯正歯科学 ①
	歯科予防処置論	DH011221 歯科予防処置論(講義) I ① DH011223 歯科予防処置実習 I ①	DH011224 歯科予防処置実習 II ①
	歯科保健指導論	DH011235 歯科保健指導実習 I ① DH011241 歯科診療補助論(講義) I ① DH011243 歯科材料科学 ① DH011244 歯科診療補助実習 I ①	DH011236 歯科保健指導実習 II ① DH011245 歯科診療補助実習 II ①
	歯科診療補助論		
	口腔介護論		
	臨床・臨地実習		
	総括		

必修科目

選択科目

○の中の数字は単位数

■キーワード
 歯科予防処置
 歯科診療補助
 歯科保健指導
 口腔介護



1 年 次

基礎分野科目

生 物 学	〔DH011001〕	65
情 報 処 理 概 論 I	〔DH011002〕	67
情 報 処 理 実 習 I	〔DH011004〕	69
英 語 I	〔DH011012〕	71
健 康 生 理 学 I	〔DH011015〕	75
健 康 生 理 学 II	〔DH011016〕	78

専門基礎分野科目

解 剖 学	〔DH011101〕	81
口 腔 組 織 学	〔DH011111〕	84
口 腔 解 剖 学	〔DH011112〕	86
口 腔 生 理 学	〔DH011113〕	89
口 腔 生 化 学	〔DH011114〕	92
口 腔 病 理 学	〔DH011121〕	94
口 腔 微 生 物 学	〔DH011122〕	97
歯 科 薬 理 学	〔DH011123〕	100
口 腔 衛 生 学 I	〔DH011131〕	103
口 腔 衛 生 学 II	〔DH011132〕	106

専門分野科目

歯 科 衛 生 士 概 論	〔DH011201〕	109
歯 科 臨 床 概 論	〔DH011211〕	112
歯科保存修復・歯内治療学	〔DH011212〕	115
歯 科 補 綴 学	〔DH011214〕	117
口 腔 外 科 学	〔DH011215〕	119
小 児 歯 科 学	〔DH011216〕	122
矯 正 歯 科 学	〔DH011217〕	125
歯科予防処置論（講義） I	〔DH011221〕	127
歯科予防処置実習 I	〔DH011223〕	129
歯科予防処置実習 II	〔DH011224〕	132

齒科保健指導實習Ⅰ	〔DH011235〕		135
齒科保健指導實習Ⅱ	〔DH011236〕		138
齒科診療補助論（講義）Ⅰ	〔DH011241〕		140
齒科材料学	〔DH011243〕		142
齒科診療補助實習Ⅰ	〔DH011244〕		145
齒科診療補助實習Ⅱ	〔DH011245〕		147

選択必修分野科目

物理学	〔DH012305〕		150
化学	〔DH012306〕		152

生 物 学

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH011001
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 藤兼亮輔

1. 一般目標

ヒトの体がどのように構成され、生きていくためにどのような働きを営んでいるかを理解するため、生体が示す生命現象の基本的なしくみについて学習するとともに、医療や健康に関する事柄を科学的思考で考察できるようにする。本講義を通じて、口腔微生物学、口腔生理学、歯科薬理学等専門科目の理解に不可欠な知識を習得する。

2. 教育方法

講義
 問題演習

3. 教育教材（授業で使用する教材・機材を記載する）

教科書、PC、プリント

4. 学修方法

授業は予習していることを前提に開始する。講義には指定の教科書を持参する。講義中にノートを取る。講義終了後に、講義毎に配布される演習問題を教科書とノートを参考にして解き、理解を深める。

〔単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間〕

5. 評価方法

〔形成的評価〕 演習問題（小テスト）

〔フィードバック〕 講義毎の演習問題（小テスト）の解答と解説を講義中に行う。

〔総括的評価〕 記述試験（90%）出席状況と授業態度（10%）

〔フィードバック〕 試験結果は試験終了後に掲示にて公開し、質問等によりフィードバックする。

6. 教科書

1. 和田 勝 著 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 第4版、羊土社、2020

7. 参考書

1. 歯科衛生士教本 生物学 医歯薬出版 2008

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 〔授業方法〕	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	4/13 (火) 4 限	藤兼	ユニット1 細胞のプロフィール 〔講義〕	細胞を構成する物質 を理解する	原子、水の性質、モノマーと ポリマー、タンパク質、核酸、 糖、脂質を説明できる	教科書の精読と演習問題の 解答 p54~65 復習 1 時間	認知 (想起)
2	4/15 (木) 2 限	藤兼	ユニット1 細胞のプロフィール 〔講義〕	細胞小器官の構造と 機能を理解する	核、小胞体とリボソーム、ゴ ルジ装置、ミトコンドリア、 葉緑体を説明できる	教科書の精読と演習問題の 解答 P49~54, 66~70,72 復習 1 時間	認知 (想起)
3	4/16 (金) 2 限	藤兼	ユニット2 細胞の形と機能を 決めるもの 〔講義〕	遺伝情報の流れを理 解する	DNA の発見、DNA の構造、 セントラルドグマ、転写とそ の制御を説明できる	教科書の精読と演習問題の 解答 p78~86 復習 1 時間	認知 (想起)
4	4/20 (火) 4 限	藤兼	ユニット2 細胞の形と機能を 決めるもの 〔講義〕	タンパク質合成を理 解する	遺伝暗号、翻訳、タンパク質 を説明できる	教科書の精読と演習問題の 解答 p87~99 復習 1 時間	認知 (想起)
5	4/27 (火) 4 限	藤兼	ユニット2 細胞の形と機能を 決めるもの 〔講義〕	細胞骨格の構造と機 能を理解する	アクチンフィラメント、微小 管、中間径フィラメントを説 明できる	教科書の精読と演習問題の 解答 P70~71,131~138 復習 1 時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 [授業方法]	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
6	5/11 (火) 4 限	藤兼	ユニット3 細胞の活動とエネルギー [講義]	解糖と脂肪酸代謝を理解する	細胞のエネルギー源と、解糖、クエン酸回路、脂肪酸β酸化を説明できる。	教科書の精読と演習問題の解答 p103~111 復習 1 時間	認知 (想起)
7	5/13 (木) 2 限	藤兼	ユニット3 細胞の活動とエネルギー [講義]	動物のエネルギー代謝(細胞呼吸)を理解する	ミトコンドリアの電子伝達系、酸化リン酸化、ATP を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p111~113 復習 1 時間	認知 (想起)
8	5/18 (火) 4 限	藤兼	ユニット3 細胞の活動とエネルギー [講義]	植物のエネルギー代謝を理解する	葉緑体の光合成、炭酸同化反応、代謝経路ネットワークを説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p113~122 復習 1 時間	認知 (想起)
9	5/25 (火) 4 限	藤兼	ユニット4 細胞を増やすしくみ [講義]	細胞増殖の制御を理解する	細胞周期を説明できる。	教科書の精読と演習問題の解答 p177~178 復習 1 時間	認知 (想起)
10	6/1 (火) 4 限	藤兼	ユニット4 細胞を増やすしくみ [講義]	遺伝情報の複製を理解する	DNA 複製を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p169~174 復習 1 時間	認知 (想起)
11	6/8 (火) 4 限	藤兼	ユニット4 細胞を増やすしくみ [講義]	遺伝情報の恒常性を理解する	テロメア、DNA 修復を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p178~183 復習 1 時間	認知 (想起)
12	6/15 (火) 4 限	藤兼	ユニット4 細胞を増やすしくみ [講義]	細胞分裂の仕組みを理解する	体細胞分裂、有糸分裂、減数分裂を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p175~177, 186~190 復習 1 時間	認知 (想起)
13	6/22 (火) 4 限	藤兼	ユニット4 細胞を増やすしくみ [講義]	遺伝の法則を理解する	メンデルの遺伝の法則、ヒトにおける遺伝学を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p34~39 復習 1 時間	認知 (想起)
14	6/29 (火) 4 限	藤兼	ユニット5 細胞間のコミュニケーション [講義]	細胞同士の情報伝達を理解する	細胞接着、シグナル分子、受容体、情報伝達を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p146~167 復習 1 時間	認知 (想起)
15	7/6 (火) 4 限	藤兼	ユニット7 生きること、死ぬこと [講義]	細胞の再生と死を理解する	細胞再生、ネクローシスとアポトーシス、細胞の老化、寿命、がんを説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p256~273 復習 1 時間	認知 (想起)

情報処理概論 I

開講時期： 1 年次後期
 授業維持関数： 9 コマ；18 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3（6 コマ）以上の出席
 科目番号： DH011002
 評価責任者： 堀部 晴美
 授業担当者： 内田 竜司

1. 一般目標

本講義において、学生は多様な情報や知識を論理的に分析・考察する能力を獲得するために、情報リテラシーの基本として、パソコンの構造、オペレーティングシステムとしてのWindowsの基礎、アプリケーションソフトの基礎、各種アプリケーションソフトの利用法や連携について理解する。

2. 教育方法

スライドによる講義を中心に、内容に応じて双方向学修形式の授業を行う。

3. 教育教材

PC、プロジェクター、プリント、PDFファイル

4. 学修方法

授業中はスライドの内容を理解し、要点をプリントやノートに追記すること。授業後は、講義内容の確認をその日のうちに行うこと。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習時間：9時間）】

5. 評価方法

〔形式的評価〕確認テスト

〔フィードバック〕確認テストは模範解答を示し、自己採点により弱点を把握できるようにする。

〔総括的評価〕定期試験：（確認テストより出題する）、授業参加状況による加点あり。

試験結果・成績は試験終了後に掲示する。

6. 教科書

プリント、PDFファイル

7. 参考書

なし

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/22 (水) 3 限	内田竜司	オリエンテーション ユニット1 学内情報システムの利用 [講義]	1 学内情報システムの概要を理解し、その利用法を習得する。	1 情報処理実習室の機器を利用できる。 2 学内LAN上の学生メールシステムを利用できる。 3 パスワードの管理法を説明できる。	復習 1 時間 福岡学園：学生WEBトップページの学生Webリンク：学生メールシステムマニュアルに目を通す。	認知 (想起)
2	9/29 (水) 3 限	内田竜司	ユニット2 ハードウェアとソフトウェア [講義]	1 パソコン本体と周辺機器、ソフトウェアの概略を理解し、アプリケーションソフトを利用する。	1 ソフトウェアの役割を説明できる。 2 マウスを使って図を描くことができる。 3 アプリケーションソフトを使って作成したファイルを保存できる。 4 添付ファイルのある電子メールを送受信できる。	復習 1 時間 パソコンや周辺機器、ソフトウェアについて調べる。	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	10/6 (水) 3限	内田竜司	ユニット3 情報の収集と加工1 [講義]	1 情報検索方法を理解するとともに、検索により収集した情報を活用するためのプレゼンテーションソフトの基本的操作方法を習得する。	1 インターネットの利便性、問題点、危険性を列挙できる。 2 検索エンジンの機能を利用できる。	復習1時間 情報検索について考え、実施する。	認知 (想起)
4	10/13 (水) 3限	内田竜司	ユニット3 情報の収集と加工2 [講義]	1 情報検索方法を理解するとともに、検索により収集した情報を活用するためのワープロソフト、プレゼンテーションソフトの基本的操作方法を習得する。	1 著作権について説明できる。 2 インターネットを利用して情報を収集できる。	復習1時間 検索して収集した情報の活用方法について考える。	認知 (想起)
5	10/20 (水) 3限	内田竜司	ユニット4 情報の形態1 [講義]	1 情報表現の基礎を理解し、情報の特性をについて考察する。	1 のろし、モールス信号について調べる。 2 2進法、16進法について説明できる。 3 音声情報について説明できる。	復習1時間 音声情報について考える。	認知 (想起)
6	10/27 (水) 3限	内田竜司	ユニット4 情報の形態2 [講義]	1 情報表現の基礎を理解し、情報の特性をについて考察する。	1 文字コードについて説明できる。 2 3原色について説明できる。 3 画像データの加工ができる。	復習1時間 文字情報、画像データについて考える。	認知 (想起)
7	11/10 (水) 3限	内田竜司	ユニット5 情報と問題解決 [講義]	1 情報を活用するための基礎的な発想法を学ぶとともに、情報解決法の基礎を知る。	1 フローチャートを作成できる。 2 モデル化について説明できる。 3 シミュレーションについて説明できる。	復習1時間 情報を活用するための発想法について考える。	認知 (想起)
8	11/17 (水) 3限	内田竜司	ユニット6 表計算ソフトの基本操作1 [講義]	1 表計算ソフトの基本操作法を習得する。	1 EXCELの初期画面について説明できる。 2 セルの書式設定(列幅、高さ、色、罫線など)を設定できる。	復習1時間 表計算ソフトの活用について考える。	認知 (想起)
9	11/24 (水) 3限	内田竜司	ユニット6 表計算ソフトの基本操作2 [講義]	1 表計算ソフトの表から適切なグラフを作成する方法を習得する。	1 棒グラフ、折れ線グラフを描くことができる。 2 散布図を描くことができる。 3 グラフを編集することができる。」	復習1時間 表計算ソフトの活用について考える。	認知 (想起)

情報処理実習 I

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 21 コマ ; 42 時間 1 単位
 受験資格要件： 4/5 (17 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011004
 評価責任者： 堀部 晴美
 授業担当者： 内田 竜司

1. 一般目標

本実習において、学生は多様な情報や知識を論理的に分析・考察する能力を獲得するために、情報リテラシーとしてパソコンの基本的な操作、Windows10の基本操作、ワープロ・表計算・プレゼンテーションソフトの実践的利用法について修得する。

2. 教育方法

パソコンを用いた双方向学修形式の実習を中心に、内容に応じて相互学習を行う。

3. 教育教材

PC、プロジェクター、プリント、PDFファイル

4. 学修方法

授業にはUSBメモリーを必ず持参すること。デモ画面は注視すること。送付されたPDFファイルはUSBメモリーに保存しておくこと。日頃、パソコンにできるだけふれること。課題提出は締め切り期日を守ること。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：21時間】

5. 評価方法

【形成的評価】 PC操作、タイピング練習、ソフトウェアの活用

【フィードバック】 PC操作、タイピング練習、ソフトウェアの活用は自己評価により弱点を把握できるようにする。

【総括的評価】 提出課題、授業参加状況による加点あり。

成績は実習終了後に掲示する。

6. 教科書

プリント、PDFファイル

7. 参考書 なし

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/22 (水) 4限	内田竜司	オリエンテーション ユニット1 Windows10の基本操作と学内情報システムの概要 [実習]	1 起動から終了までの操作、アプリケーションソフトの起動と終了、ウインドウやフォルダーの操作とともに、学内情報システムの概要を理解する。	1 Windows10の基本操作ができる。 2 学内LAN上の学生メールシステムを利用できる。 3 パスワードの管理法を説明できる。 4 インターネットへの接続、e-mailの授受、e-mailへのファイル添付ができる。	復習1時間 Windows10の基本操作とPCのメールシステム	精神運動 (コントロール)
2	9/29 (水) 4限	内田竜司	ユニット2 ハードウェアとソフトウェア [実習]	1 パソコン本体と周辺機器、ソフトウェアの概略を理解し、アプリケーションソフトを利用する。	1 ソフトウェアの役割を説明できる。 2 マウスを使って図を描くことができる。 3 アプリケーションソフトを使って作成したファイルを保存できる。 4 添付ファイルのある電子メールを送受信できる。	復習1時間 PCの本体と周辺機器、ソフトウェア	精神運動 (コントロール)
3	10/6 (水) 4限	内田竜司	ユニット3 情報の収集と加工1 [実習]	1 情報検索方法を理解するとともに、検索により収集した情報を活用するためのプレゼンテーションソフトの基本的操作方法を習得する。	1 検索エンジンの機能を利用できる。 2 プレゼンテーションソフトの基本的操作ができる。 3 収集した情報をスライドにまとめることができる。	復習1時間 情報検索方法とプレゼンテーションソフト	精神運動 (コントロール)
4	10/13 (水) 4限	内田竜司	ユニット3 情報の収集と加工2 [実習]	1 情報検索方法を理解するとともに、検索により収集した情報を活用するためのワープロソフト、プレゼンテーションソフトの基本的操作方法を習得する。	1 インターネットを利用して収集した情報をワープロソフトを使って編集できる。 2 インターネットを利用して収集した情報をプレゼンテーションソフトを使って編集できる。	復習1時間 情報検索方法とワープロソフト、プレゼンテーションソフト	精神運動 (コントロール)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育 目標 領域
5	10/20 (水) 4限	内田竜司	ユニット4 情報の形態 1 [実習]	1 情報表現の基礎を理解し、情報の特性について考察する。	1 のろし、モールス信号について調べた情報を編集できる。 2 2進法、16進法について調べた情報を編集できる。 3 音声情報について調べた情報を編集できる。	復習1時間 情報の形態(2進法、16進法、音声)	精神運動(コントロール)
6	10/27 (水) 4限	内田竜司	ユニット4 情報の形態 2 [実習]	1 情報表現の基礎を理解し、情報の特性について考察する。	1 文字コードについて調べた情報を編集できる。 2 3原色について調べた情報を編集できる。 3 加工した画像データを編集できる。	復習1時間 情報の形態(文字、色、画像)	精神運動(コントロール)
7	11/10 (水) 4限	内田竜司	ユニット5 情報と問題解決 [実習]	1 情報を活用するための基礎的な発想法を学ぶとともに、情報解決法の基礎を知る。	1 フローチャートを作成できる。 2 モデル化について調べた情報を編集できる。 3 シミュレーションについて調べた情報を編集できる。	復習1時間 情報解決法	精神運動(コントロール)
8	11/17 (水) 4限	内田竜司	ユニット6 表計算ソフトの基本操作 1 [実習]	1 表計算ソフトの基本操作法を習得する。	1 セルに計算式を入力して計算できる。 2 四則演算をEXCELで計算することができる。 3 基本的な関数(SUM、AVE.など)が利用できる。 4 オートフィル機能を用いることができる。	復習1時間 Excelの計算機能	精神運動(コントロール)
9	11/24 (水) 4限	内田竜司	ユニット6 表計算ソフトの基本操作 2 [実習]	1 表計算ソフトの表から適切なグラフを作成する方法を習得する。	1 棒グラフ、折れ線グラフを描くことができる。 2 散布図を描くことができる。 3 グラフを編集することができる。	復習1時間 Excelのグラフ機能	精神運動(コントロール)
10	12/1 (水) 3限	内田竜司	ユニット6 表計算ソフトの基本操作 3 [実習]	1 関数の利用について理解する。	1 関数の書式や引数を説明できる。 2 関数の種類について説明できる。	復習1時間 Excelの関数利用の基本	精神運動(コントロール)
11	12/1 (水) 4限	内田竜司	ユニット6 表計算ソフトの基本操作 4 [実習]	1 数学関数を理解する。	1 数学関数(sum、Int、round、rounddown、max、min)を用いて計算ができる。	復習1時間 Excelの関数利用	精神運動(コントロール)
12	12/8 (水) 3限	内田竜司	ユニット6 表計算ソフトの基本操作 5 [実習]	1 統計関数を理解する。	1 統計関数(average、count、counta、countif、rank)を用いて計算ができる。	復習1時間 Excelの統計関数	精神運動(コントロール)
13	12/8 (水) 4限	内田竜司	ユニット6 表計算ソフトの基本操作 6 [実習]	1 セルの参照について理解する	1 絶対参照、相対参照を理解し、参照方法について適用できる。	復習1時間 Excelのセルの参照	精神運動(コントロール)
14	12/15 (水) 3限	内田竜司	ユニット6 表計算ソフトの基本操作 7 [実習]	1 検索/行列関数を理解する。	1 検索/行列関数(lookup、vlookup)を用いて表の操作ができる。	復習1時間 Excelの検索/行列関数	精神運動(コントロール)
15	12/15 (水) 4限	内田竜司	ユニット6 表計算ソフトの基本操作 8 [実習]	1 論理関数を理解する。	1 論理関数(if、or、and、not、true、false)と数学関数、統計関数を組み合わせて計算ができる。	復習1時間 Excelの論理関数	精神運動(コントロール)
16	12/22 (水) 3限	内田竜司	ユニット7 表計算ソフトの応用1 [実習]	1 EXCELのデータベース機能を理解する。	1 データのソート、フィルターを用いたデータ操作ができる。	復習1時間 Excelのデータベース機能	精神運動(コントロール)
17	12/22 (水) 4限	内田竜司	ユニット7 表計算ソフトの応用2 [実習]	1 データの相互活用を理解する。	1 ExcelへのTextファイル、Tab区切りファイル、csvファイルのインポート、エクスポート操作ができる。	復習1時間 データの相互活用	精神運動(コントロール)
18	1/12 (水) 3限	内田竜司	ユニット8 プレゼンテーションファイルの作成 1 [実習]	1 プレゼンテーションファイルを作成する。	1 与えられたテーマについて適切なソフトウェアを用いてプレゼンテーションファイルの作成ができる。	復習1時間 プレゼンテーション	精神運動(コントロール)
19	1/12 (水) 4限	内田竜司	ユニット8 プレゼンテーションファイルの作成 2	1 プレゼンテーションファイルを作成する。	1 与えられたテーマについて適切なソフトウェアを用いてプレゼンテーションファイルの作成ができる。	復習1時間 プレゼンテーション	精神運動(コントロール)
20	1/19 (水) 3限	内田竜司	ユニット8 プレゼンテーションファイルの発表 1	1 プレゼンテーションファイルを発表する。	1 与えられたテーマについて適切なプレゼンテーションができる。	復習1時間 プレゼンテーション	精神運動(コントロール)
21	1/19 (水) 4限	内田竜司	ユニット8 プレゼンテーションファイルの発表 2	1 プレゼンテーションファイルを発表する。	1 与えられたテーマについて適切なプレゼンテーションができる。	復習1時間 プレゼンテーション	精神運動(コントロール)

英語 I (English Conversation)

開講時期： 1 年次通年
 授業時間数： 30 コマ ; 60 時間 2 単位
 受験資格要件： 各 2 / 3 (10) コマ以上の出席
 科目番号： DH011012
 評価責任者： 堀部 晴美
 担当教員： Julian Foster
 oliver AnthonyJohn

(General Aim)

As a dental hygienist, Learners will obtain an interpersonal communication skills and attitude, and improve their English competence for cultural enrichment.

(Method of Instruction)

Lecture ・ Group work.

(Education Material ・ Device)

Textbook、Handouts、DVD、PC + Projector.

(Method of Learning) Learners have to bring a textbook shown below in the class. Every time they should study the contents that they are going to study before the class. Also they are expected to review the contents they learned on the same day.

【Necessary Studying Hours to Earn Enough Credits for Graduation : 30hours】

(Evaluation)

Written Examination (80%)

Class Participation (approx.20%)

The results of the exams are announced after the exams on the Bulletin Board.

Detailed information will be explained on the first class.

(Textbook)

“My First PASSPORT second edition 1 English for International Communication”, Angela Buckingham & Lewis Lansford, Oxford University Press

Handouts

(参考書)

English Japanese Dictionary & Japanese English Dictionary (electronic dictionary is also available)

【前期】

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	4/13 (火) 2限	Julian oliver	Orientation Unit 1 How long are you staying? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 1. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 1 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation) ・ Affective (Receivin g)
2	4/20 (火) 2限	Julian oliver	Unit 2 Nice to meet you! Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 2. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 2 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation) ・ Affective (Receivin g)
3	4/27 (火) 2限	Julian oliver	Unit 3 Make yourself at home! Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 3. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 3 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation) ・ Affective (Receivin g)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
4	5/11 (火) 2限	Julian oliver	Unit 4 What time is dinner? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 4. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 4 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
5	5/18 (火) 2限	Julian oliver	Unit 5 It's a kind of jacket Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 5. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 5 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
6	5/25 (火) 2限	Julian oliver	Unit 6 How was it? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 6. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 6 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
7	6/1 (火) 2限	Julian oliver	Unit 7 Help yourself Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 7. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 7 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
8	6/8 (火) 2限	Julian oliver	Unit 8 I'd like fifteen tickets, please Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 8. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in unit 8 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
9	6/15 (火) 2限	Julian oliver	Unit 9 Can I have a towel please? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 9. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 9 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
10	6/22 (火) 2限	Julian oliver	Unit 10 Are you into music? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 10. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 10. Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
11	6/29 (火) 2限	Julian oliver	Unit 11 Can I stay out until 11:00? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 11. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 11 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
12	7/6 (火) 2限	Julian oliver	Unit 12Tell me about your family Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 12. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 12 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
13	7/13 (火) 2限	Julian oliver	Unit 13 I'm hungry! Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 13. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 13 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
14	7/20 (火) 2限	Julian oliver	Unit 14 What are you doing tomorrow? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 14. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 14 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
15	8/3 (火) 2限	Julian oliver	Unit 15 How much is it? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 15. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 15 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)

【後期】

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	9/21 (火) 1限	Julian oliver	Orientation Unit 1 Country Strong Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 1. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 1 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
2	9/28 (火) 1限	Julian oliver	Unit 2 Tangled! Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 2. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 2 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
3	10/5 (火) 1限	Julian oliver	Unit 3 Life of Pie Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 3. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 3 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
4	10/12 (火) 1限	Julian oliver	Unit 4 Hugo Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 4. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 4 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
5	10/19 (火) 1限	Julian oliver	Unit 5 No Impact Man Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 5. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 5 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
6	10/26 (火) 1限	Julian oliver	Unit 6 The Karate Kid Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 6. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 6 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
7	11/2 (火) 1限	Julian oliver	Unit 7 The Amazing Spiderman Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 7. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 7 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
8	11/9 (火) 1限	Julian oliver	Unit 8 The King's Speech Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 8. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in unit 8 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
9	11/16 (火) 1限	Julian oliver	Unit 9 Money ball Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 9. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 9 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
10	11/30 (火) 1限	Julian oliver	Unit 10 The Social Network Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 10. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 10. Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
11	12/7 (火) 1限	Julian oliver	Unit 11 the Experiment Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 11. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 11 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
12	12/14 (火) 1限	Julian oliver	Unit 12 Spy Kids 4D Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 12. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 12 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
13	12/21 (火) 1限	Julian oliver	Unit 13 Food Inc. Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 13. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 13 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
14	1/11 (火) 1限	Julian oliver	Unit 14 Red Riding Hood Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 14. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 14 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
15	1/18 (火) 1限	Julian oliver	Unit 15 Eat Pray Love Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 15. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 15 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)

健康生理学 I

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH011015
 評価責任者： 堀部 晴美
 担当者： 町田 弘幸、近藤 総子

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として口腔の健康を支える支援者となるために必要なことと身体に関する知識や自己管理能力、並びに他者とのコミュニケーション能力や協調・協働・支援する力を学ぶとともに、自らの健康管理ができる能力を身に付ける。また、健康を支えるために必要な社会参加活動の考え方や技法、支援を受ける人々の生活課題と社会参加活動の関わりについて理解する。

2. 教育方法

講義・演習、相互学習・グループワーク、ディベート等のアクティブ・ラーニングを行う。

地域住民に対する健康教育の支援者として地域保健活動に関わった実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

3. 教育教材・機材

参考書、プリント、DVD、PC+プロジェクター、レクリエーション用具

4. 学修方法

授業には、配布プリントとノートを必ず持参すること。下記予習項目に記載の事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、配布プリント、ノートを用い講義内容の確認をその日のうちに行うこと。

授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げる。また、授業には、教科書と配布プリントを必ず持参すること。

特に、本科目は2年次に開講される「口腔介護技術」で実施される演習やグループワークのベースとなることから、十分に学修し理解を深めておくことが必要となるので本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

定期試験：記述試験（80%）

平常評価：授業態度（発問・質疑・回答・グループワークでの活動や発言、協力等）（20%）

試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。

尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

講義の際には適時プリント等を配布する。

7. 参考書

なし

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目・事 後学習と 必要時間	教育目 標領域
1	4/12 (月) 4限	町田	オリエンテーショ ン ユニット1 健康の概念 講義・演習	1) 健康について理解する。	(1) 健康の定義、健康を獲得するための方法について説明できる。 ・主観的健康と客観的健康 ・平均寿命と健康寿命	自分の考える「健康観」についてまとめる。 (予習 1 時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目・事 後学習と 必要時間	教育目 標領域
2	4/13 (火) 3限	町田	ユニット 2 健康と運動 講義・演習	1) 健康と運動の関係について理解する。	(1)現代の健康問題について説明できる。 ・肥満の定義 ・生活習慣病の予防と対策 ・運動による健康づくり	生活習慣病について調べる。 (予習 1 時間)	認知 (想起)
3	4/19 (月) 4限	町田	ユニット 2 健康と予防 講義・演習	2) 予防の概念について理解する。	(1) ヘルスプロモーションの活動原則を説明できる。 (2) 健康日本21について述べるができる。 ・健康ブームと健康不安	自分の「健康習慣」についてまとめる。 (予習 1 時間)	認知 (想起)
4	4/20 (火) 3限	町田	ユニット 5 体力と健康 講義・演習	1) 体力の定義、加齢に伴う体力の変化について理解する。	(1) 体力の変化に合わせた運動方法について説明できる。 ・高齢者の身体変化 ・無酸素性運動と有酸素性運動	加齢に伴う身体の変化について調べる。 (予習 1 時間)	認知 (想起)
5	4/27 (火) 3限	町田	ユニット 5 こころと健康 講義・演習	1) こころと身体の健康について理解する。	(1) 自分のこころの健康法について述べる。 ・生きがい、幸福、自己実現	自分の生きがいについてまとめる。 (予習 1 時間)	認知 (想起)
6	5/11 (火) 3限	町田	ユニット 5 こころの健康の測定と評価 講義・演習	1) こころの健康の測定方法について理解する。	(1)こころの健康測定法について説明ができる。 ・自分のこころの健康の評価 ・健康を維持するための対応策	自分の心の健康の評価結果から対応策を考える。 (復習 1 時間)	認知 (想起)
7	5/18 (火) 3限	町田	ユニット 5 思春期・青年期の健康 講義・演習	1) 思春期・青年期のこころと身体の健康と社会参加活動について理解する。	(1) 思春期・青年期の社会参加活動の有効性について説明できる。 ・いじめ、虐待の予防 ・うつの予防 ・閉じこもり、ひきこもりの予防	思春期・青年期の心と身体の健康の対応策を考える。(宿題) (復習 1 時間)	認知 (想起) 態度 (受け入れ)
8	5/25 (火) 3限	町田	ユニット 5 成人期・壮年期の健康 講義・演習	1) 成人期・壮年期のこころと身体の健康と社会参加活動について理解する。	(1) 成人期・壮年期の社会参加活動の有効性について説明できる。 ・いじめの予防 ・うつの予防 ・閉じこもり、ひきこもりの予防	成人期・壮年期の心と身体の健康の対応策を考える。(宿題) (復習 1 時間)	認知 (想起) 態度 (受け入れ)
9	6/1 (火) 3限	町田	ユニット 6 高齢者と健康 講義・演習	1) 高齢者のこころと身体の健康と社会参加活動について理解する。	(1) 高齢者の社会参加活動の有効性について説明できる。 ・フレイルの予防 ・うつの予防 ・認知症の予防 ・閉じこもりの予防	高齢者の心と身体の健康の対応策を考える。(宿題) (復習 1 時間)	認知 (想起) 態度 (受け入れ)
10	6/8 (火) 3限	町田	ユニット 6 健康といのち 講義・演習	2) 生きる意味について理解する。	(1) 自分の死生観について述べる。 ・死の迎え方 (ディベート) あなたなら病院、在宅どちらを選ぶ	自分の死生観についてまとめる。 (宿題) (復習 1 時間)	認知 (問題解決) 態度 (受け入れ)
11	6/15 (火) 3限	町田	ユニット 1 レクリエーションの基礎 講義・演習	1) 社会とレクリエーションについて理解する。	(1) 21世紀の社会におけるレクリエーションの意義や重要性について考え、自分の意見を述べるができる。	「レクリエーションの意義や重要性」について調べる。 (予習 1 時間)	認知 (問題解決) 態度 (受け入れ)
12	6/22 (火) 3限	町田	ユニット 1 レクリエーションの基礎 講義・演習	2) レクリエーションの歴史について理解する。 3) 新しいレクリエーション運動が目指す方向について理解する。	(1) レクリエーション運動の起源やこれまでの展開について概要を述べるができる。 (2) 新しいレクリエーション運動が目指す方向についてその概要を説明することができる。	「レクリエーションの歴史」について調べる。 (予習 1 時間)	認知 (問題解決) 態度 (受け入れ)
13 14	6/25 (金) 3限 4限	近藤	ユニット 4-3 レクリエーションの実際 演習・実技	1) コミュニケーションとしての絵手紙	(1) 絵手紙の歴史について説明できる。 ・絵手紙を描いて発表する。	絵手紙の歴史を調べる。 (予習 1 時間)	認知 (問題解決) 精神運動 (模倣) 態度 (受け入れ)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目・事 後学習と 必要時間	教育目 標領域
15	6/29 (火) 3限	町田	ユニット 4-4 まとめ 演習	1) 地域で展開する社会参 加活動について理解する。	(1) 夏休みの課題 ・地域における社会参加活動を調べ、夏季休 暇中に参加し、報告書を作成する。	地域で開催 される社会 参加活動を 調べる。 (予習 1 時間)	認知 (問題解 決) 精神運動 (コントロ ール) 態度 (反応)

健康生理学Ⅱ

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ ; 30 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2 / 3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011016
 評価責任者： 堀部 晴美
 担当教員： 町田 弘幸、近藤 総子

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として高齢者の口腔の健康を支えるために必要なレクリエーションの考え方や技法、また、支援を受ける人々の生活課題とレクリエーションの関わりについて理解し、実践的な生活支援や自立支援が提供できる能力を身に付ける。

2. 教育方法

講義・演習、相互学習・グループワーク等のアクティブ・ラーニングを行う。

地域住民に対する健康教育の支援者として地域保健活動に関わった実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

3. 教育教材・機材

参考書、プリント、DVD、PC+プロジェクター、レクリエーション用具

4. 学修方法

授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げる。

授業には、教科書と配布プリントを必ず持参すること。

特に、本科目は2年次に開講される「口腔介護技術」で実施される演習やグループワークのベースとなることから、十分に学修し理解を深めておくことが必要となるので本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

定期試験：記述試験（80%）

平常評価：授業態度（発問・質疑・回答・グループワークでの活動や発言、協力等）（20%）

試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。

尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

適時プリント等を配布する。

7. 参考書

『レクリエーション支援の基礎』日本レクリエーション協会 2018年

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	9/21 (火) 2限	町田	オリエンテーション ユニット 1 社会参加活動 報告 討論	1) 夏季休暇中の活動報告	(1) 地域で展開される社会参加活動の意義について説明できる。	「レクリエーションの意義や重要性」について調べる。 (予習 1時間)	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
2	9/28 (火) 2限	町田	ユニット 2 レクリエーシ ョンの支援 講義・演習	1) レクリエーション支援の展開 と実際の方法について理解する。 2) レクリエーション支援の具 体的なプロセスについて理解する。 3) レクリエーション支援の目標 と理念の概要、特色について理解 する。	(1) レクリエーションの支援方法の概要に ついて説明することができる。 (2) レクリエーション支援の具体的なプロ セスを説明することができる。 (3) レクリエーション支援の目標や目指す もの、特色について説明することができる。	「レクリエー ションの支援 方法・目標」に ついて調べる。 (予習 1時 間)	認知 (解釈) 精神運動 (コント ロール)
3	10/5 (火) 2限	町田	ユニット 2 レクリエーシ ョン支援 講義・演習	5) レクリエーション支援の目標 と理念の具体例について理解す る。 6) レクリエーション支援者の役 割について理解する。	(1) レクリエーション支援の具体例につ いて説明することができる。 ・視覚障がい者への対応 ・聴覚障がい者への対応 ・肢体不自由者(麻痺)への対応 ・高齢者 ・要介護高齢者 (2) ボランティアとしてのレクリエーシ ョン支援の概要について理解する。	「レクリエー ション支援の 具体例」につ いて調べる。 (予習 1時 間)	認知 (解釈) 精神運動 (コント ロール)
4	10/12 (火) 2限	町田	ユニット 3 レクリエーシ ョンサービス 論 講義・演習	3) レクリエーションサービス事 業に関する安全対策について理 解する。	1) レクリエーションサービス事業におけ る事故を起こさないための安全対策につ いて概要を説明することができる。	「レクリエー ションサービ ス事業に関す る安全対策」に ついて調べる。 (予習 1時 間)	認知 (解釈) 精神運動 (コント ロール)
5	10/19 (火) 2限	町田	ユニット 4 レクリエーシ ョン支援の実 際 講義・演習	1) 対象者に合わせた支援方法を 理解する。	(1) 障害に合わせたレクリエーション支援 の企画ができる。 ・視覚障がい者への対応 ・聴覚障がい者への対応 ・肢体不自由者(麻痺)への対応 ・高齢者 ・要介護高齢者	障害に合わせ たレクリエー ションを企画 する。(宿題) (復習 1時 間)	認知 (解釈) 精神運動 (コント ロール)
6	10/26 (火) 2限	町田	ユニット 4 レクリエーシ ョン支援の実 際 講義・演習	1) 対象者に合わせた支援方法を 理解する。	(1) 障害に合わせたレクリエーション支援 の企画ができる。(グループワーク) ・視覚障がい者への対応 ・聴覚障がい者への対応 ・肢体不自由者(麻痺)への対応 ・高齢者、要介護高齢者への対応	「レクリエー ションに必要 な原稿・媒体」 を作成する。 (宿題) (復習 1時 間)	認知 (解釈) 精神運動 (コント ロール)
7	11/2 (火) 2限	町田	ユニット 4 レクリエーシ ョン支援の実 際 講義・演習	1) 対象者に合わせた支援方法を 理解する。	(1) 障害に合わせたレクリエーション支援 の準備ができる。 (ループリックによる自己・他者評価) ・視覚障がい者への対応 ・聴覚障がい者への対応 ・肢体不自由者(麻痺)への対応 ・高齢者、要介護高齢者への対応	「レクリエー ション」の準備 をする。(宿題) (復習 1時 間)	認知 (解釈) 精神運動 (コント ロール)
8	11/9 (火) 2限	町田	ユニット 4 レクリエーシ ョン支援の実 際 演習 (A・L)	1) 対象者に合わせた支援方法を 理解する。	(1) 障害に合わせたレクリエーション支援 の発表ができる。 (ループリックによる自己・他者評価) ・視覚障がい者への対応	「レクリエー ション」の評価 をする。(宿題) (復習 1時 間)	認知 (問題解 決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
9 10	11/9 (火) 3,4限	近藤	ユニット 4 レクリエーシ ョン支援の実 際 講義・演習	1) 多様なコミュニケーション手 法を理解する。	(1) 非言語によるコミュニケーションの手 法を述べるができる。 ・絵手紙による感情表現の体験	絵手紙の題材 を見つける。 (予習 1時 間)	認知(問 題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
11	11/16 (火) 2限	町田	ユニット 4 レクリエーシ ョン支援の実 際 演習 (A・L)	1) 対象者に合わせた支援方法を 理解する。	(1) 障害に合わせたレクリエーション支援 の発表ができる。 (ループリックによる自己・他者評価) ・聴覚障がい者への対応	「レクリエー ション」の評価 をする。(宿題) (復習 1時 間)	認知 (問題解 決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
12 13	11/16 (火) 3,4限	近藤	ユニット 4 レクリエーシ ョン支援の実 際 講義・演習	1) 多様なコミュニケーション手 法を理解する。	(1) 非言語によるコミュニケーションの手 法を述べることができる。 ・未来の自分に手紙を描こう。	絵手紙の題材 を見つける。 (予習 1時 間)	認知 (問題解 決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
14	11/30 (火) 2限	町田	ユニット 4 レクリエーシ ョン支援の実 際 演習 (A・L)	1) 対象者に合わせた支援方法を 理解する。	(1) 障害に合わせたレクリエーション支援 の発表ができる。 (ループリックによる自己・他者評価) ・肢体不自由者(麻痺)への対応	「レクリエー ション」の評価 をする。(宿題) (復習 1時 間)	認知 (問題解 決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
15	12/14 (火) 2限	町田	ユニット 4 レクリエーシ ョン支援の実 際 演習 (A・L)	1)対象者に合わせた支援方法を 理解する。	(1) 障害に合わせたレクリエーション支援 の発表ができる。 (ルーブリックによる自己・他者評価) ・高齢者、要介護高齢者への対応	「レクリエー ション」の評価 をする。(宿題) (復習 1時 間)	認知 (問題解 決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)

解 剖 学

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15コマ；30時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH011101
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 畠山雄次
 林 慶和

1. 一般目標

将来、歯科医療に携わる歯科衛生士となる学生として、基本的な医療、保健、福祉の知識を体系的に理解するために、これらの基礎となる人体の構造と機能を理解することで、豊かな教養と人間性を体得し、口腔保健活動における問題を発見、解決する主体性を身につけることを目標とする。また、この目標達成には学修を継続する重要性についても理解し、歯科衛生士としての基礎学力を修得する。

2. 教育方法

教科書、スライドおよびプリントによる講義。

3. 教育教材

教科書、スライドおよびプリント。

4. 学修方法

指定教科書 2 冊と事前事後配布プリント等を必ず持参し、授業中は必要に応じノートをとる。また、予習復習に務める。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

【形成的評価】小テスト

【フィードバック】理解が不十分な場合、別日の小テストで再度確認を行う。

【総括的評価】定期試験：記述試験（100%）

【フィードバック】受験者全員の試験結果（平均点、等）、模範解答、および講評解説を、試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 人体の構造と機能 1

「解剖学・組織発生学・生理学」医歯薬出版 2018 年

2. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯・口腔の構造と機能

「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」医歯薬出版 2018 年

7. 参考書

1. 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2018

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	4/12 (月) 1限	畠山	ユニット 1 解剖総論	細胞 - 組織 - 器官 - 系統を知る。 人体の外形と部位の区分を知る。 人体の方向用語を知る。 解剖学用語を知る。	器官と系統について説明できる。 身体部位を解剖学的な名称で表現できる。 身体方向用語を正確に用いる事ができる。 解剖学用語を正確に使用することができる。	教科書:人体の構造と機能1：P1-12 を熟読する。 予習1時間	認知 (問題解決)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
2	4/19 (月) 1限	林	ユニット 2 骨格系	骨の形態分類を知る。 軟骨性・骨膜性の骨化を知る。 軟骨性の連結, 線維性の連結, 滑膜性の連結を知る。	骨の基本構造と連結様式を説明できる。	教科書: 人体の構造と機能1 : P46-51 を熟読する。 予習1時間	認知 (問題解決)
3	4/21 (水) 2限	林	ユニット 2 骨格系	体幹骨を知る。 上肢骨・下肢骨を知る。	骨の基本構造と連結様式を説明できる。	教科書: 人体の構造と機能1 : P53-57 を熟読する。 予習1時間	認知 (問題解決)
4	4/26 (月) 1限	林	ユニット 2 骨格系	頭蓋を構成する骨を知る。 頭蓋骨を構成する骨の形態を知る。 頭蓋骨に存在する表面形態を知る。 縫合を理解する。	頭頸部の基本的な構造と機能を説明できる。	教科書: 歯・口腔の構造と機能 P18-P34 を熟読する。 予習1時間	認知 (問題解決)
5	4/28 (水) 2限	林	ユニット 3 筋系	筋の構造を知る。 筋の起始・停止を知る。 頭部の筋を知る。 頸部の筋を知る。	筋の種類と特徴を説明できる。 頭頸部の筋とその作用を説明できる。	教科書: 人体の構造と機能 1 : P58- 60, P64-P74 を熟読する 予習1時間	認知 (問題解決)
6	5/12 (水) 2限	林	ユニット 3 筋系	背部の筋を知る。 胸部の筋を知る。 腹部の筋を知る。 上肢・下肢の筋を知る。	体幹の筋とその作用を説明できる。	教科書: 人体の構造と機能1 : P64-67, 歯・口腔の構造と機能 P34-44 を熟読する。 予習1時間	認知 (問題解決)
7	5/17 (月) 1限	林	ユニット 3 筋系	上肢・下肢の筋を知る。	上肢・下肢の筋とその作用を説明できる。	教科書: 人体の構造と機能1 : P64-67, 歯・口腔の構造と機能 P34-44 を熟読する。 予習1時間	認知 (問題解決)
8	5/19 (水) 2限	林	ユニット 4 脈管系	血管の構造について知る。 心臓の構造を知る。 全身の動・静脈を知る。	動脈, 静脈および毛細血管の構造と役割を説明できる。 肺循環と体循環を説明できる。	教科書: 人体の構造と機能 1 : P123-143, 歯・口腔の構造と機能 P45-55 を熟読する。 予習 1 時間	認知 (問題解決)
9	5/24 (月) 1限	林	ユニット 4 脈管系	リンパの循環とリンパ節の機能を説明できる。 胎児の循環を知る。	リンパの循環とリンパ節の機能を説明できる。 胎児の循環を説明できる。	教科書: 人体の構造と機能 1 : P123-143, 歯・口腔の構造と機能 P45-55 を熟読する。 予習 1 時間	認知 (問題解決)
10	5/31 (月) 1限	林	ユニット 5 神経系	神経系の概要と構成を説明する。 神経系の基本構造を知る。 中枢神経系の構造を知る。	神経系の概略を説明できる。 脳と脊髄の基本構造と機能を概説できる	教科書: 人体の構造と機能 1 : P144- 145, P149-170 予習 1 時間	認知 (問題解決)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
11	6/7 (月) 1限	林	ユニット 5 神経系	末梢神経系の分類を説明する。 脳神経の走行と分布を知る。 脊髄神経の走行と分布を知る。 自律神経の構造を知る。 脳脊髄膜を知る。 脳の血管の構成を知る。	末梢神経系の機能と分類を概説できる。 脳脊髄膜を概説できる。	教科書：人体の構造と機能 1： P144- 145,P149-170 予習1時間	認知 (問題解決)
12	6/14 (月) 1限	林	ユニット 5 神経系	末梢神経系の分類を説明する。 脳神経の走行と分布を知る。 脊髄神経の走行と分布を知る。 自律神経の構造を知る。 脳脊髄膜を知る。 脳の血管の構成を知る。	末梢神経系の機能と分類を概説できる。 脳脊髄膜を概説できる。	教科書：人体の構造と機能 1： P144- 145,P149-170 予習1時間	認知 (問題解決)
13	6/21 (月) 1限	林	ユニット6 感覚系	皮膚の感覚装置の構造を知る。 視覚器、聴覚器、平衡覚器、嗅覚器の構造を知る。	皮膚の感覚受容器の構造を概説できる。 特殊感覚器の構造を概説できる。	教科書：人体の構造と機能 1： P180-210 予習1時間	認知 (問題解決)
14	6/28 (月) 1限	林	ユニット 6 内臓系	消化器系に属する臓器とその構造を知る。 呼吸系に属する臓器とその構造を知る。	消化器系の構造と機能を概説できる。 呼吸器系の構造と機能を概説できる。	教科書：人体の構造と機能 1：P85-108 を熟読する。 0.5 時間 歯・口腔の構造と機能 P10-18, 18-21 を熟読する。 予習1時間	認知 (問題解決)
15	7/5 (月) 1限	林	ユニット 6 内臓系	泌尿器系に属する臓器とその構造を知る。 内分泌系に属する臓器とその構造を知る。 生殖器系に属する臓器とその構造を知る。	泌尿器系の構造と機能を概説できる。 内分泌系の構造と機能を概説できる。 生殖器系の構造と機能を概説できる。	教科書：人体の構造と機能 1：P85-108 を熟読する。 予習 1 時間	認知 (問題解決)

口腔組織学

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15コマ；30時間 1単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH011111
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 北河憲雄、緒方佳代子

1. 一般目標

将来、学生が歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な人体の構造とその発生を理解し、情報や知識を理論的に分析・考察するための科学的思考力を習得する。現在の口腔医学だけでなく、未来の新たな医療技術の理解の基盤となる思考力・判断力を養うことを目標とする。

2. 教育方法

教科書、スライドおよびプリントによる講義。

3. 教育教材

教科書、スライドおよびプリント。

4. 学修方法

指定教科書 2 冊と事前事後配布プリント等を必ず持参し、授業中は必要に応じノートをとる。また、予習復習に努める。
 【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15 時間】

5. 評価方法

〔形成的評価〕 小テスト

〔フィードバック〕 理解が不十分な場合、別日の小テストで再度確認を行う。

〔総括的評価〕 定期試験：記述試験（100%）

〔フィードバック〕 試験終了後、結果を各受験者に通知する。また、結果を踏まえた学習指針の伝達、理解度確認資料を用いた学習指導等を行う。

6. 教科書

1. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 人体の構造と機能 1「解剖学・組織発生学・生理学」医歯薬出版 2018 年

2. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯・口腔の構造と機能「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」医歯薬出版 2018 年

7. 参考書

1. 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2018 年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	4/14 (水) 4 限	緒方	ユニット 1 歯の解剖学総論 〔講義〕	1) 歯の定義と歯の解剖学用語を理解する。	1) 歯の定義を説明できる。 2) 歯の形態分類と歯種を説明できる。 3) 歯の記号を説明できる。 4) 歯の方向用語を説明する。 5) Mühlreiter の三徴を説明できる。	教科書 2 の P148-P156 をまとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)
2	4/21 (水) 4 限	北河	ユニット 2 永久歯前歯 〔講義〕	1) 上・下顎切歯を理解する。	1) 上・下顎切歯の形態および特徴を説明できる。	教科書 2 の P157-162 をまとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)
3	4/28 (水) 4 限	北河	ユニット 2 永久歯前歯 〔講義〕	1) 上・下顎犬歯を理解する。	1) 上・下顎犬歯の形態および特徴を説明できる。	教科書 2 の P162-165 をまとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)
4	5/12 (水) 4 限	北河	ユニット 3 永久歯小臼歯 〔講義〕	1) 上顎第一・第二小臼歯を理解する。 2) 下顎第一・第二小臼歯を理解する。	1) 上顎第一・第二小臼歯の特徴を説明できる。 2) 下顎第一・第二小臼歯の特徴を説明できる。 3) 固有咬合面を説明できる。	教科書 2 の P165-173 をまとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
5	5/19 (水) 4 限	北河	ユニット 4 永久歯大白歯 〔講義〕	1) 上顎第一・第二大 臼歯を理解する。 2) 下顎第一・第二大 臼歯を理解する。	1) 上顎第一・第二大臼歯 の特徴を説明できる。 2) 下顎第一・第二大臼歯 の特徴を説明できる。 3) 大白歯間の形態変化を 説明できる。	教科書 2 の P173-180 をまとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)
6	5/26 (水) 4 限	北河	ユニット 5 乳歯 〔講義〕	1) 乳歯の特徴を理解 する。	1) 乳歯と永久歯を比較説 明できる。 2) 乳歯に共通の形態的特 徴を説明できる。 3) 乳前歯、乳臼歯の形態 的特徴を説明できる。	教科書 2 の P180-198 をまとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)
7	6/2 (水) 4 限	北河	ユニット 6 特色ある歯の形態 〔講義〕	1) 歯の異常について 理解する。	1) 歯の異常について説明 できる。	教科書 2 の P198-201 をまとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)
8	6/9 (水) 4 限	北河	ユニット 7 歯群、咬合 〔講義〕	1) 歯列と咬合につい て理解する。	1) 歯列弓について説明で きる。 2) 咬合について説明でき る。	教科書 2 の P201-207 をまとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)
9	6/16 (水) 4 限	北河	ユニット 8 歯と歯周組織 〔講義〕	1) エナメル質の組織 構造について理解す る。	1) エナメル質の物理的、 化学的性質を説明できる 2) エナメル質にみられる 特徴的な構造を説明でき る。 3) エナメル質の成長線を 説明できる。	教科書 2. の P218-225 をまとめる 予習 1 時間	認知 (想起)
10	6/23 (水) 4 限	北河	ユニット 9 歯と歯周組織 〔講義〕	1) 象牙質・歯髄の組 織構造について理 解する。	1) 象牙質の物理的、化学的 性質を説明できる。 2) 象牙質にみられる特徴的 な構造を説明できる。 3) 歯髄の組織構造を説明で きる。 4) 象牙質・歯髄の加齢変化 を説明できる。	教科書 2. の P225-236 をまとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)
11	6/30 (水) 4 限	北河	ユニット 10 歯と 歯周組織 〔講義〕	1) セメント質の組織 構造について理解す る。 2) 歯根膜の組織構造 について理解する。	1) セメント質を分類する ことができる。 2) セメント質の構造を説 明できる。 3) 歯根膜主線維、脈管神 経隙およびマラッセの上 皮遺残を説明することが できる。	教科書 2. の P236-243 を精読する。 予習 1 時間	認知 (想起)
12	7/7 (水) 4 限	北河	ユニット 11 歯と 歯周組織 〔講義〕	1) 歯槽骨の組織構造 について理解する。 2) 歯肉の組織構造に ついて理解する。	1) 束状骨、層板骨、シャ ーピー線維を説明でき る。 2) 歯肉上皮 (外縁上皮、 内縁上皮) および歯肉の 構造を説明できる。	教科書 2. の P243-251 をまとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)
13	7/14 (水) 4 限	北河	ユニット 12 発生 学総論 〔講義〕	1) 受精と着床を理解 する。 2) 胚葉の形成につい て理解する。 3) 胚子期および胎児 期を理解する。	1) 受精から着床までを説 明できる。 2) 二層性胚盤および三層 性胚盤を説明できる。 3) 三胚葉に由来する構造 をそれぞれ説明できる。	教科書 1. の P32-44 を まとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)
14	7/21 (水) 4 限	北河	ユニット 13 頭頸 部の発生 〔講義〕	1) 鰓弓を理解する。 2) 頭頸部の発生につ いて理解する。	1) 鰓弓、鰓溝、咽頭嚢と そこから発生する器官を 説明できる。 2) 舌の形成を説明でき る。 3) 唾液腺、甲状腺の発生 を説明できる。	教科書 2. の P2-9 をまとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)
15	7/28 (水) 4 限	北河	ユニット 13 頭頸 部の発生 〔講義〕	1) 顔面と口唇の形成 を理解する。 2) 口蓋と鼻腔の形成 を理解する。	1) 顔面と口唇の形成を説 明できる。 2) 口蓋と鼻腔の形成を説 明できる。 3) 顔面・口腔の発生と奇 形を関連づけて説明でき る。	教科書 2. の P2-9 をまとめる。 予習 1 時間	認知 (想起)

口腔解剖学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ ; 30 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011112
 評価責任者： 堀部 晴美
 授業担当者： 北河 憲雄、大谷 崇仁、
 林 慶和

1. 一般目標

将来、学生が歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な人体の構造と機能を理解し、情報や知識を理論的に分析・考察するための科学的思考力を習得する。現在の口腔医学だけでなく、未来の新たな医療技術の理解の基盤となる思考力・判断力を養うことを目標とする。

2. 教育方法

教科書、スライドおよびプリントによる講義。

3. 教育教材

教科書、スライドおよびプリント。

4. 学修方法

指定教科書 2 冊と事前事後配布プリント等を必ず持参し、授業中は必要に応じノートをとる。また、予習復習に努める。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15 時間】

5. 評価方法

【形成的評価】小テスト

【フィードバック】理解が不十分な場合、別日の小テストで再度確認を行う。

【総括的評価】定期試験：記述試験（100%）

【フィードバック】受験者全員の試験結果（平均点、等）、模範解答、および講評解説を、試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 人体の構造と機能 1

「解剖学・組織発生学・生理学」医歯薬出版 2018 年

2. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯・口腔の構造と機能

「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」医歯薬出版 2018 年

7. 参考書

1. 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2018

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	9/27 (月) 3 限	林	ユニット 1 解剖 学各論骨学各論 [講義]	口腔を構成する骨を理解する。 上顎骨を理解する。 下顎骨を理解する。 舌骨を理解する。	口腔を構成する骨を説明できる。 上顎骨を説明できる。 下顎骨を説明できる。 舌骨を説明できる。	教科書：歯・口腔の構造と機能 P18-P34 を熟読する。 予習 1 時間	認知 (問題解決)
2	10/4 (月) 3 限	林	ユニット 2 解剖 学各論筋骨各論 [講義]	頭頸部の筋と作用を理解する。 表情筋を理解する。 咀嚼筋を理解する。 頸部の筋を理解する。 顎関節を理解する。	頭頸部の筋と作用を説明できる。 表情筋を説明できる。 咀嚼筋を説明できる。 頸部の筋を説明できる。 顎関節を説明できる。	教科書：歯・口腔の構造と機能 P34-45 を熟読する。 予習 1 時間	認知 (問題解決)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
3	10/11 (月) 3限	林	ユニット 3 解剖 学各論脈管学各論 [講義]	頭頸部の脈管を理解する。 総頸動脈の走行を理解する。 外頸動脈の走行と枝を理解する。 顎動脈の走行と枝を理解する。	頭頸部の脈管を説明できる。 総頸動脈の走行を説明できる。 外頸動脈の走行と枝を説明できる。 顎動脈の走行と枝を説明できる。	教科書：歯・口腔の構造と機能 P45-55 を熟読する。 予習 1 時間	認知 (問題解決)
4	10/18 (月) 3限	林	ユニット 3 解剖 学各論脈管学各論 [講義]	頭頸部の動脈と静脈の違いを理解する。 頭頸部の主な静脈を理解する。 頭頸部のリンパ節を理解する。	頭頸部の動脈と静脈の違いを説明できる。 頭頸部の主な静脈を説明できる。 頭頸部のリンパ節を説明できる。	教科書：歯・口腔の構造と機能 P45-55 を熟読する。 予習 1 時間	認知 (問題解決)
5	10/25 (月) 3限	林	ユニット 4 解剖 学各論神経系各論 [講義]	三叉神経を理解する。 顔面神経を理解する。 舌咽神経を理解する。 迷走神経を理解する。 舌下神経を理解する。	三叉神経の走行と分布を説明できる。 顔面神経の走行と分布を説明できる。 舌咽神経の走行と分布を説明できる。 迷走神経の走行と分布を説明できる。 舌下神経の走行と分布を説明できる。	教科書：歯・口腔の構造と機能 P57-67 を熟読する。 予習 1 時間	認知 (問題解決)
6	11/1 (月) 3限	林	ユニット 4 解剖 学各論神経系各論 [講義]	頭頸部に分布する脊髄神経を理解する。 頭頸部に分布する交感・副交感神経を理解する。 神経節を理解する。	頭頸部に分布する脊髄神経を説明できる。 頭頸部に分布する交感・副交感神経を説明できる。 神経節を説明できる。	教科書：歯・口腔の構造と機能 P57-67 を熟読する。 予習 1 時間	認知 (問題解決)
7	11/8 (月) 3限	林	ユニット 5 解剖 学各論内臓学各論 消化器系 [講義]	口腔の基本構造と機能について理解する。	口腔について説明できる。 口腔の区分を説明できる。 舌の構造と機能を説明できる。 唾液腺の位置と構造を説明できる。	教科書：人体の構造と機能 1：P85-108, 歯・口腔の構造と機能 P10-18 を熟読する。 予習 1 時間	認知 (問題解決)
8	11/15 (月) 3限	北河	ユニット 歯と歯周組織の発生 [講義]	1) 歯の発生について理解する。	(1)歯堤、唇溝底、蕾状期歯胚、帽状期歯胚、鐘状期歯胚を説明できる。 (2)エナメル器、歯乳頭を説明できる。 (3)エナメル質の形成、象牙質の形成、歯髓の形成について説明できる。	教科書 2. の P208-209 をまとめる。 予習1時間	認知 (問題解決)
9	11/22 (月) 3限	北河	ユニット 歯と歯周組織の発生 [講義]	1) 歯周組織の発生について理解する。	(1)歯小囊、ヘルトヴィッヒ上皮鞘、マラッセの上皮遺残を説明できる。 (2)歯根膜およびセメント質の形成を説明できる。	教科書 2. の P210-217 をまとめる。 予習1時間	認知 (問題解決)
10	11/29 (月) 3限	北河	ユニット 細胞・組織・器官 [講義]	1) 上皮組織について理解する。	(1)上皮を形態的および機能的に分類することができる。 (2)腺の構造について説明できる。	教科書 1. の P22-28 をまとめる。 予習1時間	認知 (問題解決)
11	12/6 (月) 3限	北河	ユニット 細胞・組織・器官 [講義]	1) 支持組織について理解する。	(1) 骨組織について説明できる。	教科書 1. の P28-30 を精読する。 予習1時間	認知 (問題解決)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
12	12/13 (月) 3限	北河	ユニット 細胞・組織・器官 [講義]	1) 支持組織について理解する。	(2) 軟骨組織について説明できる。 (3) 結合組織について説明できる。	教科書 1. の P28-30 を精読する。 予習1時間	認知 (問題解決)
13	12/20 (月) 3限	北河	ユニット 細胞・組織・器官 [講義]	1) 筋組織について理解する。	(1) 筋組織について説明できる。	教科書 1. の P28-30 を精読する。 予習1時間	認知 (問題解決)
14	1/17 (月) 3 限	北河	ユニット 細胞・組織・器官 [講義]	1) 神経組織について理解する。	(1) 神経組織の構造と構成する細胞の種類を述べることができる。	教科書 1. の P22-28 をまとめる。 予習1時間	認知 (問題解決)
15	1/24 (月) 3限	大谷	ユニット 細胞・組織・器官 [講義]	1) 細胞構造について理解する。	(1)細胞内小器官の種類と構造を述べることができる。 (2)細胞の一生（細胞周期、細胞死）について説明できる。	教科書 1. のP14-20 をまとめる。 予習1時間	認知 (問題解決)

口腔生理学

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH011113
 評価責任者： 堀部 晴美
 授業担当者： 鍛冶屋 浩

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として必要な、正常な咀嚼、嚥下機能の形成及び維持を目標とする歯科臨床の基礎知識を養うことを目的とする。また、歯科臨床の場において、必要な思考力や判断力を養うために、口腔・顎顔面領域の構造を咀嚼や嚥下の器官系としてとらえ、それらの機能と機能調節機序について修得する。

2. 教育方法

板書と配布資料及びスライドプロジェクターによる示説を併用した講義

3. 教育教材

教科書、プリント資料、スライド。PC、プロジェクター

4. 学修方法

指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。授業は予習していることを前提に行うので、授業前に教科書に目を通し、初めて見る専門用語や語句にマーカーや付箋で印を付ける。授業後は配布資料、作成した講義ノート、教科書をもとに講義の概要を要約し、理解が不十分な部分を教科書や参考書で自習すると共に教員への質疑を通じて補完する。本講義を理解するためには、生物学、解剖学などの知識が必要であり、歯科麻酔学、歯科補綴学、口腔外科学等を理解する上で不可欠である。【単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間】

5. 評価方法

【総括的評価】記述試験（定期試験：100%）

【フィードバック】試験結果は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

1. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 人体と構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版 2010
2. 全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版 2011

7. 参考書

1. 「イラストでわかる歯科医学の基礎」永末書店 改訂第3版 2016
2. 「歯科衛生士のための歯科用語辞典（基礎編）」クインテッセンス出版
3. 「歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編」クインテッセンス出版 2019

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/15 (木) 3限	鍛冶屋	オリエンテーシ ョン ユニット 1 細胞 〔講義〕	細胞の構造と機能を理解する。 細胞内器官と機能を理解する。	(1) 細胞の機能と恒常性について述べる。 (2) 細胞内小器官の構造と機能について述べる。 (3) 遺伝子の構造と機能について述べる。 (4) 細胞膜による物質の出入と電位発生について述べる。	教科書 1. の P14-22 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (想起)
2	4/22 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 2 血液 〔講義〕	血球の種類と機能を理解する。また、血漿の成分と機能を理解する。	(1) 血液の成分を分類し各々の機能を説明する。 (2) ヘモグロビンの構造と機能及び代謝について説明する。 (3) 止血に関わる因子と機序を説明する。 (4) ABO 式と Rh 式血液型の判定方法を説明する。	教科書 1. の P116-123 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	5/6 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 3 循環 【講義】	心臓の機能と調節機序について理解する。	(1) 心筋と骨格筋の収縮特性について述べる。 (2) 体循環と肺循環の経路について述べる。 (3) 心電図の誘導原理を理解し、心臓の興奮と心電図を関係について述べる。 (4) 血圧とその調節機序について述べる。	教科書 1. の P123-128 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (想起)
4	5/13 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 4 呼吸 【講義】	肺の機能と調節機序について理解する。	(1) 呼吸器の構造と呼吸連の様式について説明する。 (2) 内呼吸と外呼吸を説明する。 (3) ヘモグロビンの酸素解離曲線について説明する。 (4) 肺気量の区分とそれら病的変動について説明する。	教科書 1. の P179-188 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (解釈)
5	5/20 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 5 神経 【講義】	神経における興奮の伝導と伝達機序を理解する。	(1) 中枢神経と末梢神経を説明する。 (2) 興奮伝導速度と神経線維の関係を説明する。 (3) シナプス伝達の特徴を説明する。 (4) 体性神経と自律神経を説明する。	教科書 1. の P144-148 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (解釈)
6	5/27 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 6 筋 【講義】	骨格筋の構造と収縮機序を理解する。	(1) 骨格筋の構造を述べる。 (2) 興奮-収縮連関の機序を述べる。 (3) 筋収縮エネルギーの供給について述べる。 (4) 等張性収縮と等尺性収縮の違いを述べる。	教科書 1. の P 60-64、P75-84 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (想起)
7	6/2 (木) 2限	鍛冶屋	ユニット 7 消化吸収と排泄 【講義】	消化吸収の調節機序について理解する。	(1) 消化管の構成を説明する。 (2) 消化液の組成と機能を説明する。 (3) 腎臓の構成単位と尿の生成機序を説明する。 (4) 水分代謝における腎の役割と体液量の調節機序を説明する。	教科書 1. の P 85-86、P98-108、及び P206-217 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (解釈)
8	6/3 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 8 内分泌と体温 【講義】	1) 内分泌器官とホルモンの性質を理解する。 2) 体熱の産生と放熱機序及び体温の調節の機序を理解する。	(1) 内分泌と外分泌の違いを述べる。 (2) 内分泌器官を列挙し、分泌されるホルモンを述べる。 (3) 血中 Ca 調節ホルモンの分泌調節と作用を述べる。 (4) 体温調節中枢を挙げ、産熱と放熱の機序を述べる。	教科書 1. の P227-233、P218-226 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (想起)
9	6/10 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 9 感覚 【講義】	体性感覚および特殊感覚の種類と性質を理解する。	(1) 体性感覚を分類し、特徴を述べる。 (2) 視覚の受容機序及び伝導路を述べる。 (3) 感覚受容器の種類と受容器電位とインパルスの発生機序を述べる。 (4) 感覚の閾値と順応について述べる。	教科書 1. の P189-204、を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (想起)
10	6/17 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 10 歯と歯周組織 【講義】	口腔、顎顔面及び歯の構造と感覚の特徴について理解する。	(1) 歯の構造と特徴について説明する。 (2) 口腔粘膜の構造と特徴について説明する。 (3) 顎関節の構造と特徴について説明する。 (4) 歯周組織の特徴について説明する。	教科書 2. の P218-251 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (解釈)
11	6/24 (木) 4限	鍛冶屋	ユニット 11 咬合と咀嚼 【講義】	咀嚼運動の意義とメカニズムを理解する。	(1) 咀嚼筋による顎運動について説明する。 (2) 下顎張反射、閉口反射、歯根膜咀嚼筋反射の反射弓を説明する。 (3) 顎運動の神経機構について説明する。 (4) 下顎の運動と下顎位について説明する。	教科書 2. の P87-104 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (解釈)
12	7/1 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 12 嚥下と嘔吐 【講義】	嚥下と嘔吐運動の特徴と神経機構を理解する。	(1) 嚥下運動と食塊の動きについて述べる。 (2) 嚥下運動の特徴と機序について述べる。 (3) 嘔吐の誘発原因について述べる。 (4) 嘔吐の特徴と機序について述べる。	教科書 2. の P105-123 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (想起)
13	7/8 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 13 唾液分泌 【講義】	唾液腺の種類と構造について理解する。	(1) 唾液腺の種類を列記し、各々の特徴を説明する。 (2) 唾液腺の神経支配について説明する。 (3) 自律神経による唾液分泌調節について説明する。 (4) 唾液の含有成分と各々の機能を説明する。	教科書 2. の P136-146 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
14	7/15 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット14 歯と口腔感覚 [講義]	口腔、顎顔面及び歯の感 覚の特徴について理解 する。	(1) 歯髄、象牙質及び歯根膜の感覚の特 徴について説明する。 (2) 口腔粘膜の感覚の特徴について説 明する。 (3) 歯痛の原因と発生機序を説明する。 (4) 関連痛の特徴を述べ、その発生機序 を説明する。	教科書 2. の P68-73を精読する 配付資料の記入部位の 再確認と練習問題の復 習を行う 復習 1 時間	認知 (解釈)
15	7/29 (木) 4限	鍛冶屋	ユニット15 味覚と嗅覚 [講義]	1) 味覚の種類と味覚受 容機構及び味覚障害に ついて理解する。 2) 嗅覚の特徴と受容機 構を理解する。	(1) 四基本味と味覚受容機序を述べる。 (2) 味覚情報の伝達経路を述べる。 (3) 味覚障害の種類と原因について述 べる。 (4) 嗅細胞によるにおいの受容機序を 述べる。	教科書 2. の P74-86を精読する 配付資料の記入部位の 再確認と練習問題の復 習を行う 復習 1 時間	認知 (想起)

口腔生化学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ：30 時間
 2 単位
 受験資格要件：2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH011114
 評価責任者： 中園 栄里
 授業担当者： 中園 栄里、松尾 忠行

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理学を履修するために必要な基礎科学の一つとしての口腔生化学を修得する。生命現象を化学的・分子的レベルで理解すると共に、生体を構成する物質や栄養素の代謝を理解する。さらに、歯と口に関して歯周組織、歯、唾液、プラークを理解し、プラークのう蝕、歯周疾患との関係を考察する。

2. 教育方法

講義、教科書、スライドを用いる。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。授業には、指定教科書等を必ず持参すること。授業は予習していることを前提に開始する。授業中は当日配布したプリントを熟読し、ノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。本授業を理解するうえで、生物学、化学等の知識が必要であり、本授業は全身疾患の病態・生理の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

【総括的試験】：定期試験（95%）、授業参加状況（予習・復習等の実施状況）（5%）

【フィードバック】：試験結果は、試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1 「人体の構造と機能2『栄養と代謝』」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版 2019

7. 参考書

1 「スタンダード口腔生化学」 大塚吉兵衛 他編集、医歯薬出版 2008

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 [授業方法]	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/27 (月) 4限	中園	オリエンテーション ユニット1 生体の構成要素 (1) [講義]	1) 細胞の役割について理解する。	(1) 生体を構成する物質や栄養素の種類と代謝について説明することができる。 (2) 生命現象の化学、細胞の構造、情報伝達、細胞の分化について説明することができる。 (3) 生体反応に不可欠な水とその化学について説明することができる。	教科書のP6-21を精読する (予習1時間)	認知 (想起)
2	10/4 (月) 4限	中園	ユニット1 生体の構成要素 (2) [講義]	2) 生体構成物質と栄養素について理解する。	(1) 人体の構成成分、糖質と脂質とタンパク質の構造と種類、ビタミン、ミネラルについて説明することができる。	教科書のP23-25を精読する (予習1時間)	認知 (想起)
3	10/11 (月) 4限	中園	ユニット2 生体の化学反応 [講義]	1) 消化と吸収について理解する。	(1) 栄養素の消化吸収について説明することができる。 (2) 栄養素の消化吸収酵素の運搬代謝とATP、酵素の役割について説明することができる。	教科書のP29-31を精読する (予習1時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 [授業方法]	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	10/18 (月) 4限	中園	ユニット3 三大栄養素の代謝 (1) [講義]	1) 糖質の代謝とエネルギーについて理解する。	(1) 糖質代謝の経路とエネルギー産生について説明することができる。 (2) エネルギー代謝の全体像、糖質の代謝とエネルギー、解糖系、クエン酸回路について説明することができる。	教科書のP32-35を精読する (予習 1 時間)	認知 (想起)
5	10/25 (月) 4限	中園	ユニット3 三大栄養素の代謝 (1) [講義]	1) 糖質の代謝とエネルギーについて理解する。	(1) 糖質代謝の経路とエネルギー産生について説明することができる。 (2) クエン酸回路、電子伝達系、グリコーゲン代謝について説明することができる。	教科書のP32-35を精読する (予習1時間)	認知 (想起)
6	11/1 (月) 4限	中園	ユニット3 三大栄養素の代謝 (2) [講義]	2) 脂質の代謝とエネルギーについて理解する。	(1) 脂質が加水分解され、脂肪酸が β 酸化によってエネルギーを供給することを説明することができる。 (2) 脂質の分解、脂肪酸の酸化 (β 酸化)、脂肪の合成について説明することができる。	教科書のP36-37を精読する 0.5 時間	認知 (想起)
7	11/8 (月) 4限	中園	ユニット3 三大栄養素の代謝 (3) [講義]	3) タンパク質の代謝について理解する。	(1) タンパク質はアミノ酸となって吸収されることを説明することができる。 (2) アミノ酸の代謝分解、脱アミノ反応、脱炭酸反応、尿素回路、タンパク質の種類、タンパク質の構造について説明することができる。	教科書のP40-41を精読する (予習 1 時間)	認知 (想起)
8	11/15 (月) 4限	中園	ユニット4 核 酸 [講義]	1) DNAと遺伝子について理解する。	(1) DNA と RNA 働きとタンパク質合成について述べることができる。 (2) 核酸の構造と代謝、ヌクレオチド、塩基、DNA と RNA、タンパク質の合成、複製、修復について説明することができる。	教科書のP50-56を精読する (予習 1 時間)	認知 (想起)
9	11/22 (月) 4限	松尾	ユニット5 歯と歯周組織の生化学 (1) [講義]	1) 結合組織について理解する。	(1) 口腔組織を作っている結合組織の主成分の化学的性質と生理機能を具体的に述べることができる。 (2) 組成と機能、線維状タンパク質、プロテオグリカン、コラーゲン、細胞外マトリックスについて説明することができる。	教科書のP57-61を精読する (予習 1 時間)	認知 (想起)
10	11/29 (月) 4限	松尾	ユニット5 歯と歯周組織の生化学 (2) [講義]	2) 歯の組成と構造について理解する。	(1) 歯の組成とその無機成分と石灰化に関与する有機成分について説明することができる。 (2) 歯の組成、歯の無機成分、有機成分と石灰化について説明することができる。	教科書のP65-69を精読する (予習 1 時間)	認知 (想起)
11	12/6 (月) 4限	松尾	ユニット6 硬組織の生化学 (1) [講義]	1) 石灰化の仕組みについて理解する。	(1) 骨と歯の石灰化の特徴を比較することができる。 (2) 血清中のカルシウムとリン酸、コラーゲン性石灰化、歯と骨の石灰化について説明することができる。	教科書のP70-76を精読する (予習 1 時間)	認知 (想起)
12	12/13 (月) 4限	松尾	ユニット6 硬組織の生化学 (2) [講義]	2) 骨の生成と吸収、歯の脱灰について理解する。	(1) 血清中のカルシウムとリン酸代謝に関するホルモンの働きについて述べることができる。 (2) 骨芽細胞、破骨細胞、血清カルシウムの調節、歯の脱灰と再石灰化について説明することができる。	教科書のP81-88を精読する (予習 1 時間)	認知 (想起)
13	12/20 (月) 4限	松尾	ユニット7 唾液の生化学 [講義]	1) 唾液の組成と機能について理解する。	(1) 唾液の組成と作用、成分の役割、唾液分泌と全身との関係を説明することができる。 (2) 唾液の働き、唾液の組成、無機質と有機質、抗菌物質、口腔乾燥、全身の疾患との関係について説明することができる。	教科書のP90-93を精読する (予習 1 時間)	認知 (想起)
14	1/17 (月) 4限	松尾	ユニット8 ブラークの生化学 (1) [講義]	1) ブラークの生物活性とう蝕について理解する。	(1) ブラークの種類、形成、酸生成の仕組みについて説明することができる。 (2) 種類、形成、糖からの酸産生、う蝕発症と多因子性疾患について説明することができる。	教科書のP94-101を精読する (予習 1 時間)	認知 (想起)
15	1/24 (月) 4限	松尾	ユニット8 ブラークの生化学 (2) [講義]	2) 口臭と歯周疾患について理解する。	(1) ブラークと口腔疾患との関連性を学び、ブラークコントロールの重要性を判断することができる。 (2) 口臭と歯周疾患の発症機構、細菌活性、炎症反応、リポ多糖について説明することができる。	教科書のP104-111を精読する (予習 1 時間)	認知 (想起)

口腔病理学

1 年次後期 15 コマ : 30 時間 2 単位
 受験資格要件 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号 DH011121
 評価責任者 堀部晴美
 授業担当者 橋本修一、岡村和彦、大野純、
 吉本尚平

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な口腔疾患を含む全身的疾患に広く共通する基礎医学とくに疾病の原因、発生機構、経過および転帰などを病理学総論 (I 編) で理論的に理解する。さらに、口腔病理学 (II 編) では、病理学総論に基づいて口腔領域の疾患について病理学総論的な理解および病理組織所見などを理論的に理解し、臨床歯科医学における診断、治療、予防との関わりを知る。

2. 教育方法

講義を行う。

3. 教育教材

教科書、配布プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修 (予習) を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。本授業を理解するうえで、解剖学、生化学、薬理学などの知識が必要であり、全身疾患の病態生理の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修 (予習・復習) 時間 : 15 時間】

5. 評価

定期試験 : 記述試験 (90%)

平常評価 : 授業態度 (発問・質疑・グループワークでの発言や協力等) (10%)

試験結果 (成績) は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日および必要な時期に説明する。

6. 教科書

『全国歯科衛生士教育協議会編 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学』医歯薬出版 2019年 第1版

7. 参考書

『新・歯科衛生士教育マニュアル 病理学』クインテッセンス出版株式会社 田中昭男 他編集 2011年 第1版

『新口腔病理学』医歯薬出版 下野正基、高田隆 他 編集 2018年 第2版

『病理・口腔病理学サイドリーダー』学建書院出版 草間 薫、大野 純 編集 2007年 第2版

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/30 (木) 1限	岡村	ユニット 1 I 編 1章 病理学序論 と病因論 2章 遺伝性疾患 と奇形 講義	1) 疾患の内因、 外因、遺伝、遺 伝性疾患、奇形 を理解する。	(1) 生理的素因、個人的素因、遺伝的素因、内分泌異常の概念と内容を述べるができる。 (2) 物理学的因子、化学的因子、生物学的因子、栄養障害、環境汚染、医原病、機械的因子、温度的因子、気圧的因子、電気的因子、放射線因子などについて述べるができる。 (3) 先天異常、遺伝病、染色体異常、奇形の発生と病因について述べるができる。	教科書の P2-13を 精読する 復習1時間	認知 (想起)
2	10/7 (木) 1限	岡村	ユニット 2 3章 循環障害 4章 代謝障害と 退行性病変 講義	1) 循環障害につ いて理解する。 2) 細胞傷害 (変 性と物質代謝 障害、萎縮、 細胞死) につ いて理解する。	(1) 循環血液量の異常 (虚血、充血とうっ血、出血、浮腫 (水腫)、ショック)、閉塞性の循環障害 (血栓症、塞栓症と梗塞、動脈硬化症)、側副循環 (傍側循環) について述べるができる。 (2) 細胞傷害因子、細胞傷害の程度、細胞内小器官の異常、タンパク質の変性と代謝障害 (タンパク質変性、タンパク質代謝障害)、脂肪の変性と代謝障害、糖質の変性と代謝障害、石灰変性とカルシウム代謝障害、結晶体変性と核酸代謝障害について述べるができる。 (3) 壊死 (凝固壊死、融解壊死、壊死組織の転帰)、アポトーシスについて述べるができる。	教科書の P14-33を 精読する 復習1時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	10/14 (木) 1限	大野	ユニット 3 5章 増殖と修復 講義	1) 肥大と増生 (過形成)、化生、再生と修復、創傷治癒、異物処理について理解する。	(1) 生理的肥大、病的肥大、特発性肥大について述べる ことができる。 (2) 上皮の化生(扁平上皮化生、腸上皮化生)、間葉組織の化生、細胞の増殖と分化(不安定細胞(動的細胞)、安定細胞(静止細胞)、永続細胞(非分裂細胞))について述べる ことができる。 (3) 肉芽組織、創傷の治癒形式(一時治癒、二次治癒)、吸収と排除、器質化、被包について述べる ことができる。	教科書の P34-42を 精読する 復習1時間	認知 (想起)
4	10/21 (木) 1限	大野	ユニット 4 6章 炎症と免疫 応答異常 講義	1) 炎症について理解する。	(1) 炎症とは、炎症の原因、炎症に関与する細胞とケミカルメディエーター(炎症に関与する細胞、ケミカルメディエーター)、炎症の経過(変性・壊死(退行性変化)、循環障害と滲出、増殖性病変(進行性変化))、炎症の転帰、 (2) 炎症の分類(部位による分類、経過時間(時期)による分類、組織変化による分類)、炎症の臨床症状、感染症について述べる ことができる。	教科書の P43-52を 精読する 復習1時間	認知 (想起)
5	10/28 (木) 1限	大野	ユニット 4 6章 炎症と免疫 応答異常 講義	2) 免疫応答異常について理解する。	(3) 免疫応答(免疫応答とは、免疫応答のメカニズム)、アレルギー(I型(即時型、アナフィラクシー型)アレルギー、II型(細胞傷害型)アレルギー、III型(免疫複合体型)アレルギー、IV型(遅延型、ツベルクリン型)アレルギー)について述べる ことができる。 (4) 自己免疫疾患、免疫不全症、移植免疫(移植(片)拒絶反応、移植片対宿主反応)について述べる ことができる。	教科書の P52-59を 精読する 復習1時間	認知 (想起)
6	11/4 (木) 1限	橋本	ユニット5 II編 口腔病理学 7章 口腔領域の 嚢胞と腫瘍 I編 病理学 7章 腫瘍 講義	1) 口腔領域の嚢胞について理解する。 2) 腫瘍の発生、腫瘍の種類と性質、腫瘍の診断について理解する。	(1) 歯源性嚢胞(含歯性嚢胞、歯根嚢胞、萌出嚢胞、幼児の歯肉嚢胞)、顎骨の非歯源性嚢胞(鼻口蓋管(切歯間)嚢胞、術後性上顎嚢胞)、軟組織の非歯源性嚢胞について述べる ことができる。 (2) 腫瘍の定義、腫瘍の発生機序と原因(腫瘍の発生機序、腫瘍の原因、腫瘍の組織と形態)について述べる ことができる。 (3) 発生母組織と腫瘍の各型、悪性度による分類、前がん病変、画像・内視鏡検査、細胞診と生検による病理組織診断、について述べる ことができる。	教科書の P133- 137を精読する P60-68を 精読する 復習1時間	認知 (想起)
7	11/11 (木) 1限	岡村	ユニット6 II編 口腔病理学 1章 歯の発育異常 2章 歯の損傷と着色・付着物 講義	1) 歯の大きさの異常、歯数の異常、歯の形の異常、歯の構造の異常(形成不全)、歯の萌出時期の異常、歯の位置の異常、咬合の異常について理解する。 2) 物理的損傷、化学的損傷、歯の着色、プラークと歯石について理解する。	(1) 矮小歯、巨大歯、歯の先天性欠如(無歯症)、過剰歯、双生歯、癒合歯(融合歯)、癒着歯、陷入歯(歯内歯、重積歯)、エナメル滴、その他の歯の異常について述べる ことができる。 (2) 局所的な原因による歯の異常(外傷によるもの、炎症によるもの、放射線障害によるもの)、全身的な原因による歯の異常(栄養障害と全身的疾患、先天性梅毒、歯のフッ素症、遺伝性疾患)について述べる ことができる。 (3) 咬耗症、摩耗症、咬耗症や摩耗症の影響、外傷歯について述べる ことができる。	教科書の P70-87を 精読する 復習1時間	認知 (想起)
8	11/18 (木) 1限	吉本	ユニット7 3章 う蝕 講義	1) う蝕の疫学と病因、う蝕の分類、う蝕の組織学的変化について理解する。	(1) う蝕の疫学、う蝕の発生機序、う蝕の原因菌とプラーク、歯の形態と構造、食物、唾液などについて述べる ことができる。 (2) う蝕の組織学的分類、部位による分類、広がりによる分類、経過による分類、進行度による分類、二次う蝕(再発性う蝕)について述べる ことができる。 (3) エナメル質う蝕(初期エナメル質う蝕、実質欠損をきたしたエナメル質う蝕)、象牙質う蝕、セメント質う蝕について述べる ことができる。	教科書の P88-96を 精読する 復習1時間	認知 (想起)
9	11/25 (木) 1限	吉本	ユニット8 4章 象牙質・歯 髄複合体の病態 講義	1) 歯髄炎、歯髄の退行性変化、象牙質の増生、象牙質知覚過敏症について理解する。	(1) 歯髄炎の臨床病態、病因と発生機序(細菌学的原因、物理的原因、化学的原因)、急性歯髄炎(急性単純性(漿液性)歯髄炎(一部性、全部性)、急性化膿性歯髄炎、急性壊疽性歯髄炎)、慢性歯髄炎(慢性潰瘍性歯髄炎、慢性増殖性歯髄炎、慢性閉鎖性歯髄炎)について述べる ことができる。 (2) 歯髄の萎縮、歯髄の変性、歯髄壊死と歯髄壊疽について述べる ことができる。 (3) 第二象牙質および第三象牙質、象牙(質)粒について述べる ことができる。	教科書の P97-104 を精読する 復習1時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復 習項目と 必要時間	教育 目標 領域
10	12/2 (木) 1限	吉本	ユニット9 5章 歯周組織の 病態 講義	1) 根尖部歯周組織の病変について理解する。	(1) 根尖性歯周炎の病因と発生機序、分類、急性根尖性歯周炎（急性単純性（漿液性）根尖性歯周炎、急性化膿性根尖性歯周炎（急性歯槽膿瘍）、慢性根尖性歯周炎（慢性単純性（漿液性）根尖性歯周炎、慢性化膿性根尖性歯周炎（慢性歯槽膿瘍）、歯根肉芽腫、歯根嚢胞）について述べるができる。 (2) 歯性上顎洞炎について述べるができる。	教科書のP105-109を精読する 復習1時間	認知 (想起)
11	12/9 (木) 1限	吉本	ユニット9 5章 歯周組織の 病態 講義	2) 辺縁部歯周組織の病変、セメント質増生、セメント（質）粒について理解する。	(1) 歯周組織の構造、病因と発生機序（歯周病の病因（原因）、歯周病の発生病態）、ブラーク性歯肉炎、慢性歯周炎、その他の辺縁部歯周組織の病変（非ブラーク性歯肉病変、歯肉増殖症、侵襲性歯周炎、遺伝性疾患に伴う歯周炎、壊死性歯周疾患、歯肉の退縮、咬合性外傷）、インプラント周囲炎について述べるができる。 (2) エプーリス、セメント質増生、セメント（質）粒について述べるができる。	教科書のP110-121を精読する 復習1時間	認知 (想起)
12	12/16 (木) 1限	岡村	ユニット10 6章 口腔粘膜の 病変 講義	1) 多彩な口腔粘膜疾患について理解する。	(1) 口腔粘膜の特徴、メラニン色素沈着症、ヘルペスウイルス感染、手足口病、口腔カンジダ症、再発性アフタ、口腔扁平苔癬、天疱瘡、類天疱瘡、その他の口腔粘膜疾患について述べるができる。	教科書のP122-132を精読する 復習1時間	認知 (想起)
13	1/13 (木) 1限	橋本	ユニット11 7章 口腔領域の 嚢胞と腫瘍 8章 口腔癌 講義	1) 口腔領域の腫瘍——歯源性腫瘍、非歯源性腫瘍について理解する。 2) 前癌病変、上皮性異形成と上皮内癌、扁平上皮癌について理解する。	(1) 歯源性腫瘍（良性腫瘍、悪性腫瘍）、非歯源性腫瘍（良性上皮性腫瘍【扁平上皮乳頭腫】、良性非上皮性腫瘍【線維腫、血管腫とリンパ管腫】、悪性上皮性腫瘍【癌腫】、悪性非上皮性腫瘍【肉腫】、その他の悪性腫瘍）について述べるができる。	教科書のP137-151を精読する 復習1時間	認知 (想起)
14	1/13 (木) 3限	岡村	ユニット12 9章 顎骨の病変 第10章 唾液腺の 病変 講義	1) 顎骨骨髓炎、腫瘍様病変、顎関節の病変について理解する。 2) 唾液腺の病変について理解する。	(1) 急性化膿性骨髄炎、慢性化膿性骨髄炎、慢性硬化性骨髄炎、増殖性骨膜炎に伴う慢性骨髄炎、顎放線菌症、放射線骨壊死、ビスフォスフォネート関連顎骨壊死、線維性異形成症、骨性異形成症、骨腫（下顎隆起、口蓋隆起、外骨症）について述べるができる。 (2) 流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、唾石症、粘液嚢胞、唾液腺腫瘍（良性腫瘍【多形腺腫、ワルシン腫瘍】、悪性腫瘍【粘表皮癌、腺様嚢胞癌】）について述べるができる。	教科書のP152-167を精読する 復習1時間	認知 (想起)
15	1/20 (木) 1限	吉本	ユニット13 第11章 口腔領域 の奇形 第12章 口腔組織 の加齢変化 講義	1) 顔面と口腔の披裂、口腔の發育異常、口腔顎顔面に異常を来たす奇形症候群について理解する。 2) 歯の硬組織の変化、歯髓の変化、歯周組織の変化について理解する。	(1) 口腔顎顔面の発生、口唇裂、口蓋裂、唇顎口蓋裂、顔面披裂、小帯異常、その他の口腔の發育異常、トリッチャー・コリンズ症候群（下顎顔面異骨症）、ビエール・ロバン症候群、鰐弓症候群、尖頭合指趾症（アペルト症候群）、ダウン症候群について述べるができる。 (2) エナメル質の変化、象牙質の変化、セメント質の変化、歯髓の萎縮や変性、歯肉の変化、歯根膜の変化について述べるができる。	教科書のP168-180を精読する 復習1時間	認知 (想起)

口腔微生物学

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間
 2 単位
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH011122
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 永尾潤一、岸川咲吏、
 豊永憲司

1. 一般目標

本講義では、口腔の健康管理に関心を持ち、医療人としての自覚と倫理観を備えた歯科衛生士として根拠や理論に基づく口腔保健管理の実践に必要な基本的知識を修得するために、微生物が原因となる口腔領域の疾患（主にう蝕および歯周病）において、感染症をひき起こす病原微生物の一般性状、病原因子、感染と発症のメカニズム、生体防御としての免疫機構、感染予防における滅菌や消毒の意義について理解する。

2. 教育方法

講義

3. 教育教材

教科書、プリント資料、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には指定の教科書、配布プリント資料を必ず持参すること。予習項目に記載された教科書の該当箇所を精読し講義に望むこと。授業後は、教科書や配布プリント資料や確認テストの復習を当日中に行うこと。講義内容および演習問題について理解できない項目については、教員あるいはティーチングアシスタントに質問し積極的に解決を図ること。

本講義は口腔衛生学、歯科保存修復・歯内治療学、歯周病治療学、歯科予防処置論などの理解に不可欠である。

〔単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間〕

5. 評価方法

〔形成的評価〕確認テスト

〔フィードバック〕講義中に確認テストの解説を行い、弱点項目を把握できるようにする。

〔総括的評価〕記述試験（95%）・授業参加状況（出席および授業態度等）（5%）

〔フィードバック〕試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 「新・歯科衛生士教育マニュアル 微生物学」 上西秀則 クインテッセンス出版 2012 年

7. 参考書

1. 「最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ちおよび回復過程の促進 2 微生物学」 木村重信 医歯薬出版 2011 年

2. 「歯科衛生士国試対策集 2020 年対応」 歯科衛生士国試対策研究会 クインテッセンス出版 2020 年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 〔授業方法〕	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/12 (月) 3 限	永尾	オリエンテーション ユニット 1 感染論概論 〔講義〕	1) 感染症とそれに関わる微生物について理解する。	(1) 感染の概念を説明できる。 (2) 微生物の種類を説明できる。	教科書 p12-15 を精読。 (予習 0.25 時間・復習 0.25 時間)	認知 (想起)
2	4/19 (月) 3 限	永尾	ユニット 2 微生物概論(1) :細菌の一般性状 〔講義〕	1) 細菌の一般性状を理解する	(1) 細菌の形態、構造、増殖を説明することができる。 (2) 細菌の培養と観察法を説明できる。 (3) 主な細菌感染症を説明できる。	教科書 p16-24, p74-75, p77-94 を精読。細菌の構造を図示し、各部位の名称と特徴をまとめる。(予習 0.5 時間・復習 0.5 時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 〔授業方法〕	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
3	4/26 (月) 3限	永尾	ユニット 2 微生物概論(2) : ウイルスと真 菌の一般性状 〔講義〕	1) ウイルスと真菌の 一般性状を理解す る。	(1) ウイルスと真菌の形態、構造、増 殖を説明できる。 (2) ウイルスと真菌の培養と観察法を 説明できる。 (3) ウイルスと真菌による主な感染症 を説明できる。	教科書 p25-33,p75-76, p94-100を精読。ウイルス と真菌の構造を図示し、各部 位の名称と特徴をまとめる。 (予習0.5時間・復習0.5時 間)	認知 (想起)
4	5/10 (月) 3限	永尾	ユニット 3 消毒と滅菌 〔講義〕	1) 滅菌法と消毒法を 理解する。	(1) 滅菌と消毒の意義、原理と方法を 説明できる。	教科書 p55-62,160-161 を 精読。滅菌法の原理と方法に ついて特徴をまとめる。 消毒薬の有効な微生物の範 囲および適用可能な対象物 についてまとめる。(予習0.5 時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
5	5/17 (月) 3限	永尾	ユニット 4 化学療法 〔講義〕	1) 化学療法の特性を 理解する。	(1) 化学療法の目的と原理を説明でき る。 (2) 化学療法薬の作用機序と副作用を 説明できる。 (3) 薬剤耐性のメカニズムを説明でき る。	教科書 p63-73を精読。細菌、 真菌、ウイルスに対する化学 療法薬について、作用機序ご とに分類してまとめる。(予 習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
6	5/24 (月) 3限	永尾	ユニット 5 感染と発症(1) : 感染機構 〔講義〕	1) 微生物による感染 メカニズムを理解 する。	(1) 感染源や感染経路を説明できる。 (2) 感染の種類を説明できる。	教科書 p34-38を精読。病原 体とその伝播様式をまとめ る。(予習0.5時間・復習0.5 時間)	認知 (想起)
7	5/31 (月) 3限	永尾	ユニット 5 感染と発症(2) : 感染症 〔講義〕	1) 感染に関わる微生 物側と宿主側の要 因を理解する。	(1) 微生物の病原性および病原因子を 説明できる。 (2) 宿主の感染防御因子を説明でき る。	教科書 p38-41を精読。感染 と発症に関わる微生物の病 原因子、宿主の防御因子を列 挙し特徴をまとめる。(予習 0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
8	6/7 (月) 3限	豊永	ユニット 6 免疫(1) : 自然免疫 〔講義〕	1) 感染に対する自然 免疫を理解する。	(1) 自然免疫の特徴を説明できる。 (2) 自然免疫に関わる細胞や体液性因 子を説明できる。	教科書 p42-45を精読。自然 免疫に関わる因子や細胞を 列挙し、特徴をまとめる。(予 習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
9	6/14 (月) 3限	豊永	ユニット 6 免疫(2) : 獲得免疫 〔講義〕	1) 感染に対する獲得 免疫を理解する。	(1) 獲得免疫の特徴を説明できる。 (2) 獲得免疫に関わる細胞や体液性因 子を説明できる。	教科書 p45-50を精読。獲得 免疫に関わる因子や細胞を 列挙し、特徴をまとめる。(予 習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
10	6/21 (月) 3限	豊永	ユニット 6 免疫(3) : 免疫病 〔講義〕	1) 免疫異常による疾 患を理解する。	(1) アレルギーの種類と機序を説明で きる。 (2) 自己免疫疾患と免疫不全について 説明できる。 (3) ワクチンの意義と種類を説明でき る。	教科書 p51-54を精読。アレ ルギー反応の分類と特徴を まとめる。ワクチンの種類と 対象疾患をまとめる。予習 0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
11	6/28 (月) 3限	岸川	ユニット 7 口腔環境と常在 微生物 〔講義〕	1) 口腔環境における 常在細菌叢を理解 する。 2) デンタルプラーク 形成のメカニズム を理解する。	(1) 口腔環境の特性と常在細菌叢の成 り立ち、変遷を説明できる。 (2) デンタルプラークの形成機序とプ ラーク形成細菌を説明できる。 (3) バイオフィーム感染症について説 明できる。	教科書 p115-138を精読。デ ンタルプラークの形成に関 わる代表的な細菌を列挙し、 特徴をまとめる。(予習0.5 時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
12	7/5 (月) 3限	岸川	ユニット 8 口腔感染症(1) : う蝕 〔講義〕	1) う蝕病原細菌の種 類と病原性を理解 する。	(1) う蝕の主な原因菌と病原性につい て説明できる。	教科書 p139-143を精読。ミ ュータンスレンサ球菌のう 蝕原性を列挙する。(予習0.5 時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
13	7/12 (月) 3限	岸川	ユニット 8 口腔感染症(2) : 歯周病 〔講義〕	1) 歯周病原細菌の種 類と病原性を理解 する。	(1) 歯周病の主な原因菌と病原性につ いて説明できる。 (2) 歯周病における宿主免疫応答のメ カニズムを説明できる。	教科書 p144-152を精読。代 表的な歯周病原細菌の特徴 をまとめる。(予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
14	7/19 (月) 3限	岸川	ユニット 8 口腔感染症(3) ：う蝕と歯周病 以外の口腔感 染症 [講義]	1) う蝕と歯周病以外 の口腔感染症を理解 する。	(1) 口腔内とその周辺部に症状が現れ る感染症の病態と原因微生物の病原性 について説明できる。	教科書p153-159を精読。口 腔とその周辺部に出現する 感染症について、原因微生物 と症状の特徴をまとめる。 (予習0.5時間・復習0.5時 間)	認知 (想起)
15	7/26 (月) 3限	永尾	ユニット 9 微生物各論 ：主な感染症と 病原体 [講義]	1) 主な感染症と病原 体について理解する。	(1) 微生物感染による全身での感染症 の病態、感染経路と原因微生物の病原性 について説明できる。	教科書p77-114を精読。 感染型食中毒、毒素型食中毒 の原因菌、原因物質、潜伏期 間、症状の特徴をまとめる。 体液・血液を介して感染する 病原ウイルスの感染経路お よび感染予防法をまとめる。 (予習0.75時間・復習0.75 時間)	認知 (想起)

歯科薬理学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ;30 時間 2 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011123
 評価責任者： 貴島 聡子
 担当教員： 貴島 聡子

1. 一般目標

歯科臨床において使用される薬物の薬理作用・作用機序・薬物動態・副作用・薬物相互作用を理解することにより、生体に対する薬物の効果を論理的に考察し、薬力学的な思考力（すなわち薬物と生体間の相互作用としての考え方）を身につける。近年、多くの薬物を投与されている患者が歯科を受診する機会が増えており、歯科以外の治療で使われている薬が歯科治療に与える影響やその薬と歯科治療に使用する薬の相互作用に関する知識を修得する。

2. 教育方法

教科書を中心に配布資料、板書、パワーポイントを用いて講義する。
 歯科医院において、歯科医師として治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

講義時の内容で重要と思うことについては、できる限りメモをすること。
 また、指定教科書や配布資料等による予習・復習を行なう。
 本授業を理解する上で、解剖学、生理学、微生物学の知識が必要であり、本授業は歯科麻酔学、歯内療法学、歯周病学、保存修復学、口腔外科学等の歯科臨床科目の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

〔総括的評価〕 定期試験（100%）
 〔フィードバック〕 試験結果（成績）は試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 「最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学」 第2版 医歯薬出版 2019年

7. 参考書

1. 「歯科衛生士テキスト 最新薬理学-疾病の成り立ち及び回復過程の促進-」 第1版 学建書院 2017年
 2. 「新・歯科衛生士教育マニュアル Pharmacology 薬理学」 第1版 クインテッセンス出版 2015年
 3. 「ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学」 第1版 永末書店 2017年

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	9/24 (金) 1限	貴島	オリエンテーション	1) ガイダンス	1) 今後の歯科薬理学の進行について説明する。	予習1時間	情意 (受け入れ)
			ユニット 1 薬理学総論 I [講義]	1) 薬理学の定義と薬物の作用を理解する。	1) 薬物療法（原因療法、対症療法）を分類する。 2) 薬理作用の基本形式・分類を述べる。 3) 薬物の用量と作用を説明する。	教科書 薬物療法の種類 P2-10 予習復習項目 1時間	認知 (想起)
2 3	10/1 (金) 1限 10/8 (金) 1限	貴島	ユニット 2 薬理学総論 I [講義]	1) 薬物動態を理解する。	1) 薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）を概説する。 2) 薬物動態パラメーター（生物学的半減期、クリアランス、バイオアベイラビリティ〈生物学的利用能〉）を説明する。	教科書 薬物動態、生物学的半減期、バイオアベイラビリティ、クリアランス P11-21 予習復習項目 1時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
4	10/15 (金) 1限	貴島	ユニット 3 薬理学総論 I [講義]	1) 薬物の適用方法を理解する。	1) 薬物の適用方法の種類を説明する。 2) 経口投与および静脈内注射と生物学的利用能の関係を説明する。	教科書 薬物の適用方法 P22-27 予習復習項目 1時間	認知 (解釈)
5 6	10/22 (金) 1限 10/29 (金) 1限	貴島	ユニット 4 薬理学総論 I [講義]	1) 薬物の作用に影響を与える因子を理解する。 2) 薬物の連用の影響について理解する。 3) 薬物の併用による相互作用を理解する。	1) 生体の感受性(年齢、遺伝的素因など)を説明する。 2) 蓄積、耐性、依存について説明する。 3) 協力作用・拮抗作用を説明する。	教科書 プラセボ効果 P28-36 予習復習項目 1時間	認知 (解釈)
7	11/4 (木) 3限	貴島	ユニット 5 薬理学総論 I [講義]	1) 薬物の副作用、有害作用を知る。	1) 薬物の一般的な副作用、有害作用を説明する。 2) 口唇・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明する。	教科書 P37-43 歯肉増殖症、口腔乾燥症、歯の着色 予習復習項目 1時間	認知 (想起)
8	11/12 (金) 1限	貴島	ユニット 6 薬理学総論 I [講義]	1) ライフステージと薬物について理解する。	1) 妊婦への薬物投与を説明する。 2) 小児への薬物投与を説明する。 3) 高齢者への薬物投与を説明する。	教科書 Augsbergerの式、加齢に伴う薬物動態の変化、多剤服用(ポリファーマシー) P44-50 予習復習項目 1時間	認知 (想起)
9 10	11/19 (金) 1限 11/26 (金) 1限	貴島	ユニット 7 薬理学総論 I [講義] ユニット 8 薬理学総論 I [講義]	1) 薬物の取扱いについて理解する。 2) 医薬品の分類を理解する。	1) 薬物の剤形を説明する。 2) 処方せん〈箋〉の記載事項について概説する。 3) 薬物の保存方法を説明する。 4) 医薬品医療機器法、日本薬局方について知る。 5) 医薬部外品、化粧品について知る。 6) 毒薬・劇薬の表示と保管を説明する。 7) 麻薬、向精神薬の表示と保管を説明する。	教科書 医薬品医療機器法、日本薬局方、毒薬、劇薬、密閉容器、気密容器、密封容器 P51-55 P56-64 予習復習項目 1時間	認知 (想起)
11	12/10 (金) 1限	貴島	ユニット 9 末梢神経系に作用する薬物 [講義]	1) 末梢神経系に作用する薬物について理解を深める。	1) 主な神経伝達物質を述べる。 2) 自律神経系作用薬を説明する。	教科書 神経伝達物質、自律神経系作用薬 P73-80 予習復習項目 1時間	認知 (想起)
12	12/17 (金) 1限	貴島	ユニット 10 局所麻酔薬 [講義]	1) 局所麻酔薬を理解する。 2) 血管収縮薬の添加を理解する。	1) 局所麻酔薬を説明する。 2) 血管収縮薬の添加を説明する。	教科書 ナトリウムチャネル、血管収縮薬 P150-158 予習復習項目 1時間	認知 (想起)
13	1/11 (火) 4限	貴島	ユニット 11 血液に作用する薬物 [講義]	1) 局所性止血薬を理解する。 2) 全身性止血薬を理解する。 3) 抗血栓薬を理解する。	1) 局所性止血薬を述べる。 2) 全身性止血薬を述べる。 3) 抗血栓薬(a 抗凝固薬 b 抗血小板薬)を述べる。	教科書 止血薬、抗血栓薬 P112-117 予習復習項目 1時間	認知 (想起)
14	1/14 (金) 1限	貴島	ユニット 12 炎症と薬 [講義]	1) 抗炎症薬を理解する	1) アラキドン酸カスケードを概説する。 2) ステロイド性抗炎症薬・非ステロイド性抗炎症薬を説明する。 3) 抗ヒスタミン薬を説明する。	教科書 ステロイド性抗炎症薬、非ステロイド性抗炎症薬 P135-143 P121-122 予習復習項目 1時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
15	1/21 (金) 1限	貴島	ユニット 13 感染と薬物 [講義]	1) 抗感染症薬を理解する。	1) 抗菌薬を説明する。 (抗真菌薬・抗ウイルス薬を含む)	教科書 選択毒性、抗真菌 薬、抗ウイルス薬 P159-169 予習復習項目 1時間	認知 (想起)

口腔衛生学 I

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15コマ；30時間 2単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH011131
 評価責任者： 松尾忠行
 授業担当者： 松尾忠行

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みを理解し、歯科疾患の予防能力を高めるための論理的な分析および考察ができる能力を修得する。

2. 教育方法

講義を行う。大学病院および歯科医院において、歯科医師として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC + プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。本授業を理解する上で微生物学の知識が必要である。また、本授業は歯科予防処置論と関連があり、理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15 時間】

5. 評価方法

[形成的評価] 確認テスト

確認テストは、各ユニットで 3 ～ 5 回授業時間内にミニテストとして行う予定

[フィードバック] 次の回の講義時に答案を返却し、模範解答を示す。

[総括的評価] 定期試験: 記述試験 (80%) 確認テスト: (20%)

[フィードバック] 試験結果 (成績) は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

1. 『口腔衛生学・口腔保健統計を含む 第 4 版』学建書院 2020

7. 参考書

- 『歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第3版』医歯薬出版 2019
- 『新フッ化物で始める虫歯予防』医歯薬出版 2019
- 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2019

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
1	4/14 (水) 3限	松尾	オリエンテーションユニット 1-1 口腔と健康 1 [講義]	1) 口腔と健康の関連性を理解する。	(1) 口腔の健康の定義を述べるができる。 (2) 口腔と全身の健康の関係について述べるができる。	口腔の健康の定義、口腔と全身の健康の関係 (教科書のP2-3) を記載すること (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)
2	4/21 (水) 3限	松尾	ユニット 1-2 口腔と健康 2 [講義]	1) 歯科疾患の予防と歯・口腔の機能について理解する。	(1) 口腔の健康を保持・増進する手段について説明することができる。 (2) 歯・口腔の機能について説明することができる	口腔の健康を保持・増進する手段、歯・口腔の機能 (教科書のP4-8) を記載すること (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
3	4/28 (水) 3限	松尾	ユニット 2 歯・口腔の発育と 変化 [講義] 確認テスト 1	2) 歯の形成と萌出、交換 時期、歯の喪失、歯の 形成期の栄養、歯・口 腔 の形成異常を理解す る。	(1) 歯・口腔の形成および発育・発達について 説明することができる。 (2) 歯・口腔の形成異常について説明するこ とができる	歯・口腔の形成 および発育・発 達、歯・口腔の 形成異常(教科書 のP8-12)を記載 すること(予習 0.5時間・復習 0.5時間)	認知 (解釈)
4	5/12 (水) 3限	松尾	ユニット 3 口腔環境 [講義]	1) 歯と口腔環境につ いて理解する。	(1) 唾液腺の種類および唾液の働きについて説 明することができる。	唾液腺の種類お よび唾液の働き (教科書のP13- 17)を記載するこ と(予習0.5時 間・復習0.5時 間)	認知 (解釈)
5	5/19 (水) 3限	松尾	ユニット 4 歯・口腔の不潔 [講義] 確認テスト 2	1) 歯・口腔の付着物・ 沈着物を理解する。	(1) プラーク(歯垢)、食物残渣、歯石、着 色性沈着物舌苔について説明することがで きる。	プラーク、食物残 渣、歯石、着色性 沈着物、舌苔(教 科書P17-25)を記 載すること(予習 0.5時間・復習 0.5時間)	認知 (解釈)
6	5/26 (水) 3限	松尾	ユニット 5 口腔清掃 [講義]	1) 歯磨剤と洗口剤につ いて理解する。	(1) 歯磨剤と洗口剤の種類を列挙すること ができる。 (2) 歯磨剤と洗口剤の組成について説明するこ とができる。	歯磨剤と洗口剤 の種類・組成 (教科書P34- 38)を記載する こと(予習0.5時 間・復習0.5時 間)	認知 (解釈)
7	6/4 (金) 3限	松尾	ユニット 6-1 う蝕の予防 1 [講義] 確認テスト 3	1) う蝕の発生要因と 機序を理解する。	(1) う蝕の発生要因(宿主、口腔細菌叢、食餌性 基質について説明することができる。 (2) う蝕発生のメカニズムについて説明する ことができる。	う蝕の発生要 因・う蝕発生の メカニズム(教 科書P43-46)を 記載すること (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (解釈)
8	6/9 (水) 3限	松尾	ユニット 6-2 う蝕の予防 2 [講義]	1) う蝕の予防方法を 理解する。	(1) う蝕の発生要因に対する予防法を列挙する ことができる。 (2) う蝕発生の第一次予防、第二次予防および 第三次予防について説明することができる。	う蝕の発生要 因に対する予防法 (教科書P52-54) を記載すること (予習0.5時間・ 復習0.5時間)	認知 (解釈)
9	6/16 (水) 3限	松尾	ユニット 7-1 フッ化物によるう 蝕予防 1 [講義] 確認テスト 4	1) 人間生態系における フッ化物の分布および フッ化物の摂取と代謝 について理解する。	(1) フッ化物の分布について説明すること ができる。 (2) 生体におけるフッ化物の代謝について説明 することができる。	フッ化物の分 布、フッ化物の 代謝(教科書 P55-59)を記載 すること(予習 0.5時間・復習 0.5時間)	認知 (解釈)
10	6/23 (水) 3限	松尾	ユニット 7-2 フッ化物によるう 蝕予防 2 [講義] 確認テスト 5	1) フッ化物の毒性に ついて理解する。	(1) フッ化物の毒性を認識し、正しい対処法 を説明することができる。 (2) フッ化物の急性中毒に関する計算がで きる。	フッ化物の毒 性、フッ化物の 急性中毒に関す る計算(教科書 P55-62)を記載 すること(予習 0.5時間・復習 0.5時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
11	6/30 (水) 3限	松尾	ユニット 7-3 フッ化物によるう 蝕予防 3 [講義]	1) フッ化物によるう蝕 予防機序およびフッ 化物によるう蝕予防 方法（全身応用法）を 理解する。	(1) フッ化物のう蝕予防機序を説明すること ができる。 (2) フッ化物の全身応用法について説明するこ とができる。	フッ化物のう蝕 予防機序、フッ 化物の全身応用 法(教科書P62- 66) を記載する こと（予習0.5時 間・復習0.5時 間）	認知 (解釈)
12	7/7 (水) 3限	松尾	ユニット 7-4 フッ化物によるう 蝕予防 4 [講義]	1) フッ化物によるう 蝕予防方法（局所応 用法）およびフッ化 物のう蝕予防効果を 理解する。	(1) フッ化物の局所応用法について説明するこ とができる。 (2) フッ化物のう蝕予防効果について説明す ることができる。	フッ化物の局所 応用法、フッ化 物のう蝕予防効 果(教科書P67- 72) を記載する こと（予習0.5時 間・復習0.5時 間）	認知 (解釈)
13	7/14 (水) 3限	松尾	ユニット 8-1 歯周病の予防 1 [講義]	1) 歯周組織の概要、歯 周病の有病状況、歯 周病の分類について 理解する。	(1) 健康な歯周組織の構造を概説することが できる。 (2) 歯周病の分類について概説することがで きる。	健康な歯周組織 の構造、歯周病 の分類(教科書 P73-78) を記載 すること（予習 0.5時間・復習 0.5時間）	認知 (解釈)
14	7/21 (水) 3限	松尾	ユニット 8-2 歯周病の予防 2 [講義]	1) 歯周病の発生要因、 進行と症状、歯周病と 全 身との関連を理解 する。	(1) 歯周病の原因を概説することができる。 (2) 歯周病の炎症の広がりと症状を概説する ことができる。 (3) 歯周病の全身に与える影響について概説す ることができる。	歯周病の原 因、歯周病の全 身に与える影響 (教科書P80-83) を記載すること （予習0.5時間・ 復習0.5時間）	認知 (解釈)
15	7/28 (水) 3限	松尾	ユニット 8-3 歯周病の予防 3 [講義]	1) 歯周病の予防方法を 理解する。	(1) 歯周病の予防法（第一次予防、第二次予 防、第三次予防）を列挙できる。 (2) 歯周病における定期的予防処置の必要性 （プロフェッショナルケア）を説明する ことができる。	歯周病の予防法 (教科書P84-86) を記載すること （予習0.5時間・ 復習0.5時間）	認知 (解釈)

口腔衛生学Ⅱ

開講時期： 1年次後期
 授業時間数： 15コマ；30 時間 2単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH011132
 評価責任者： 松尾忠行
 授業担当者： 松尾忠行

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として地域社会における保健対策の基本を理解し、多職種との協働・連携して地域集団に対する疾病の予防能力を高めることのできる知識を修得する。

2. 教育方法

講義を行う。大学病院および歯科医院において、歯科医師として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC +プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席となる。本授業を理解する上で、口腔衛生学Ⅰの知識が必要であり、本授業は口腔衛生学Ⅱの理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15 時間】

5. 評価方法

[形成的評価] 確認テスト

確認テストは、各ユニットで 3 ～ 5 回授業時間内にミニテストとして行う予定

[フィードバック] 次の回の講義時に答案を返却し、模範解答を示す。

[総括的評価] 定期試験:記述試験（80%）確認テスト:（20%）

[フィードバック] 試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

1. 『口腔衛生学 - 口腔保健統計を含む- 第 4 版』学建書院 2020

7. 参考書

1. 『歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第 3 版』医歯薬出版 2019

2. 『新フッ化物で始める虫歯予防』医歯薬出版 2019

3. 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2019

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目・ 事後学習と 必要時間	教育目標 領域
1	9/27 (月) 2限	松尾	ユニット 1-1 その他の歯科疾患の 予防 1 [講義]	1) 不正咬合の予防について理解する。 2) 口臭の予防について理解する。	(1) 不正咬合をおこす要因を列挙し、予防方法について説明できる。 (2) 口臭をおこす要因を列挙でき、予防について説明できる。	不正咬合をおこす要因、口臭をおこす要因(教科書P87-92)を記載すること(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)
2	10/4 (月) 2限	松尾	ユニット 1-2 その他の歯科疾患の 予防 2 [講義]	1) その他の歯科疾患・異常の予防について理解する。	(1) 歯の損耗、歯・口腔の外傷、顎関節症、口腔癌着色歯・変色歯、口内炎、口腔乾燥症、味覚異常の要因を列挙し、予防方法について説明できる。	歯の損耗、歯・口腔の外傷等の要因(教科書P93-97)を記載すること(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目・ 事後学習と 必要時間	教育目標 領域
3	10/11 (月) 2限	松尾	ユニット 2-1 地域歯科保健活動 〔講義〕 確認テスト 1	1) 地域における「健康」の考え方の変遷を理解する。 2) ライフステージ別の歯科口腔保健の概要を理解する。 3) 地域口腔保健活動の進め方について理解する。	(1) WHO 憲章、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションについて説明することができる。 (2) 対象と活動分野について説明することができる。 (3) 地域特性の把握と問題解決のプロセスについて説明することができる。	WHO 憲章、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション（教科書のP151-159）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 （解釈）
4	10/18 (月) 2限	松尾	ユニット 2-2 地域歯科保健活動 〔講義〕	1) 地域口腔保健のあり方について理解する。 2) 地域保健を担う組織の仕組みと特徴を概説できる。	(1) 地域歯科保健に関係する保健福祉関係施策の変革について概説できる。 (2) 市町村と都道府県の歯科保健業務の違いについて説明することができる。 (3) 8020 運動、第 2 次健康日本 21、健康増進法、歯科口腔保健法について説明できる。	市町村と都道府県の歯科保健業務の違い（教科書 P160-168）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 （解釈）
5	10/25 (月) 2限	松尾	ユニット 2-3 地域歯科保健活動 〔講義〕 確認テスト 2	1) 母子歯科保健について理解する。	(1) 妊産婦・乳幼児の歯科健康診査と保健指導について説明できる。	妊産婦・乳幼児の歯科健康診査と保健指導（教科書のP169-173）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 （解釈）
6	11/1 (月) 2限	松尾	ユニット 2-4 地域歯科保健活動 〔講義〕	1) 母子歯科保健について理解する。	(1) 1 歳 6 カ月児健康診査と保健指導について説明できる。 (2) 1 歳 6 カ月児健康診査の結果からう蝕罹患型を正確に分類できる。 (3) う蝕罹患型に応じた歯科保健指導の要点を列挙できる。	1 歳 6 カ月児健康診査のう蝕罹患型（教科書のP173-176）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 （解釈）
7	11/11 (木) 2限	松尾	ユニット 2-5 地域歯科保健活動 〔講義〕	1) 母子歯科保健について理解する。	(1) 3 歳児健康診査と保健指導について説明できる (2) 3 歳児健康診査の結果からう蝕罹患型を正確に分類できる。 (3) う蝕罹患型に応じた歯科保健指導の要点を列挙できる。	3 歳児健康診査のう蝕罹患型（教科書のP176-178）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 （解釈）
8	11/15 (月) 2限	松尾	ユニット 2-6 地域歯科保健活動 確認テスト 3 〔講義〕	1) 学校保健について理解する。	(1) 学校保健の対象者を列挙し、意義を説明できる (2) 学校保健の領域と構造を概説できる。 (3) 学校において被患率の高い疾病（学校病）を列挙できる。 (4) 学校保健関係職員を列挙し、その役割を説明できる。	学校保健の領域と構造（教科書のP179-183）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 （解釈）
9	11/22 (月) 2限	松尾	ユニット2-7 地域歯科保健活動 〔講義〕	2) 学校歯科保健について理解する。	(1) 歯科保健教育について説明することができる。 (2) 特別支援教育での保健指導について説明することができる。 (3) 定期健康診断における歯・口腔の検査について説明することができる。 (4) 就学時の健康診断における歯・口腔の検査について説明することができる。	歯科保健教育（教科書のP184-188）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 （解釈）
10	11/29 (月) 2限	松尾	ユニット2-8 地域歯科保健活動 確認テスト 4 〔講義〕	1) 産業歯科保健について理解する。	(1) 産業保健の目的を説明することができる。 (2) 職業性疾患を起こす要因を列挙できる。 (3) 作業環境管理、作業管理および健康管理について説明できる。 (4) 口腔領域に関連のある職業性疾患とそれに対する特殊健康診断について説明できる。	口腔領域に関連のある職業性疾患とそれに対する特殊健康診断（教科書のP189-199）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 （解釈）

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目・ 事後学習と 必要時間	教育目標 領域
11	12/6 (月) 2限	松尾	ユニット 2-9 地域歯科保健活動 確認テスト 5 [講義]	1) 成人・高齢者・要介護者・障害者歯科保健について理解する。	(1) 成人・高齢者の歯科保健に関連する法律等に基づく保健事業について説明できる。 (2) 要介護者・障害者への歯科保健について説明することができる。 (3) 歯科衛生士の役割について説明することができる。	成人・高齢者の歯科保健に関連する法律等に基づく保健事業（教科書のP200-207）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 (解釈)
12	12/13 (月) 2限	松尾	ユニット 2-10 地域歯科保健活動 [講義]	1) 災害時の歯科保健について理解する。	(1) 大規模災害時の保健医療対策について説明することができる。 (2) 被災地での歯科保健について説明することができる。	大規模災害時の保健医療対策（教科書（P208-210）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 (解釈)
13	12/20 (月) 2限	松尾	ユニット 2-11 地域歯科保健活動 [講義]	1) 国際歯科保健について理解する。	(1) 国際協力と関連機関について説明することができる。 (2) 世界の口腔保健の現状を概説することができる。 (3) 開発途上国への歯科保健医療協力について概説することができる。	国際協力と関連機関（教科書のP211-215）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 (解釈)
14	1/17 (月) 2限	松尾	ユニット 3-1 歯科疾患の疫学 1 [講義]	1) 疫学について理解する。	(1) 疫学の目的について説明できる。 (2) 疫学方法について概説できる。	疫学方法（教科書のP99-103）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 (解釈)
15	1/24 (月) 2限	松尾	ユニット 3-1 歯科疾患の疫学 2 [講義]	1) 歯科疾患の指標について理解する。	(1) う蝕に関する指標について説明できる。 (2) う蝕に関する指標を用いた計算ができる。	う蝕に関する指標（教科書のP104-106）について記載すること（予習0.5時間・復習0.5時間）	認知 (解釈)

歯科衛生士概論

開講時期： 1年次前期
 授業時間数： 15コマ；30 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH011201
 評価責任者： 黒木まどか
 授業担当者： 堀部 晴美、松尾 忠行
 後藤加寿子、黒木まどか
 石井 綾子、森 沙耶香
 川尻 望、高木末沙稀

1. 一般目標

将来、科学的な根拠を持って歯科衛生活動を展開し、人々の健康づくりを多職種と協働・連携を通して支援する歯科衛生士となるために、保健・医療・福祉に関わることの意義を見つけ、その基本的態度について理解する。また、医療専門職としての自覚を持ち、必要な知識・技術を修得する態度および論理的思考の基礎を修得する。なお、本科目では初年次教育（レポートの書き方、ノートの取り方など）を含めた講義を行い、速やかな学修体制への移行も目指す。

2. 教育方法

講義・演習・グループワークを行う。

大学病院、歯科医院、高齢者施設などにおいて、歯科衛生士として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取ること。授業後は、下記復習項目に記載された教科書の該当箇所や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと（復習）。レポート課題は、締め切り期日を守ること。

本授業は、臨床歯科医学、歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

〔形式的評価〕レポート、ミニテスト

〔フィードバック〕不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。

〔総括的評価〕記述試験（60%：ユニット1・2・4）、課題レポート（30%：ユニット3・5・6）、授業参加状況（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等授業への貢献度）（10%）

〔フィードバック〕以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1 『最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論』医歯薬出版 2012

7. 参考書

1 『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版 2020

2 『最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版』医歯薬出版 2017

3 『新歯科衛生士教育マニュアル 歯科臨床の基礎と概論』クインテッセンス出版 2016

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 復習項目 必要時間	教育 目標 領域
1	4/20 (火) 1限	堀部	ユニット 1 総論1：歯科衛生 学とは 講義 グループワーク	1) 歯科衛生士の活動を理解する。 2) 歯科衛生活動に必要な学問を体系的に理解する。	(1)歯科衛生学の定義を述べることができる。 (2)歯科衛生と健康のかかわりを説明できる。 (3)歯科衛生活動の対象を列挙できる。 (4)歯科衛生活動の領域を説明できる。	教科書 1 「歯科衛生 学の定義 P1-7」を精 読する 予習0.5時 間・復習 0.5時間 ×1	認知 (想起) 情意 (受入)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 復習項目 必要時間	教育 目標 領域
2	4/27 (火) 1限	黒木	ユニット 1 総論2：歯科衛生 の歴史 〔講義〕	1) 歯科衛生士の歴史的 背景を理解する。 2) 歯科衛生士に求めら れる社会的役割を理解 する。	(1)日本の歯科衛生士の誕生について概要を説明 できる。 (2)歯科衛生士の誕生について概要できる。 (3)歯科衛生士養成教育の変遷を概説できる。 (4)レポート、論文、作文、感想文の違いを理解す る。 (5)歯科衛生士の歴史的背景を踏まえ、社会的役 割をレポートにまとめることができる。	教科書 1 の 「歯科衛生士 の歴史P8- 19」を精読す る。受講後、 「歯科衛生士 を目指す理 由」をまとめ る。 予習0.5時 間・復習 0.5時間 ×1	認知 (想起) 情意 (受入)
3	5/6 (木) 4限	森 川尻	ユニット3 医療接遇 〔講義〕	1) 医療従事者としての 心構えや倫理観、身 だしなみについて理 解する。	(1)医療従事者として相応の身だしなみについて 理解できる。 (2)医療従事者としての心構えや倫理観を理解で きる。	参考書2.の 「医療従事 者としての 感染予防に 対する対応 P 22-23」 を精読す る。 予習0.5時 間・復習 0.5時間 ×1	認知 (想起) 情意 (受入)
4	5/11 (火) 1限	黒木	ユニット2 歯科衛生士法と歯 科衛生業務 〔講義〕	1) 歯科衛生士法に基づ く業務範囲と業務内 容を理解する。	(1)歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務について 概説できる。 (2)歯科衛生士の業務独占、名称独占について説 明できる (3)歯科衛生士の専門性について概説できる。 (4)ノートの取り方について説明できる。	教科書 1 の 「歯科衛生 士と歯科衛 生士法P42- 53」を精読 する。 受講後、「歯 科衛生士誕生 と歯科衛生業 務と教育の変 遷」をまとめ る。 予習0.5時 間・復習 0.5時間 ×1	認知 (想起) 情意 (受入)
5	5/20 (木) 1,2限	森 川尻	ユニット3 医療接遇 〔講義〕	1) 医療従事者としての 心構えや倫理観、身 だしなみについて理 解する。	(1)医療従事者として相応の身だしなみについて 説明することができる。 (2)自分の考える医療従事者としての心構えや倫 理観を述べることができる。 (3)医療従事者として相応の身だしなみについて グループワークで討議することができる。	「医療従事 者」接遇の 意味を調べ る。 予習0.5時 間・復習 0.5時間 ×2	認知 (解釈) 情意 (反応) 精神運動 (模倣)
6			グループワーク				
7	6/1 (火) 1限	黒木	ユニット4 歯科衛生活動 1： 歯科衛生活動のた めの理論 〔講義〕	1) 科学的思考を展開す るための枠組みを理解 する。	(1)予防の概念を理解できる (2)ICF、EBM、批判的思考を説明できる (3)保健行動の理論を説明できる (4)ヒューマンニーズ理論を説明できる	教科書 1 の 「歯科衛生 士の考え方 P20-31」を 精読する。 受講後、4 つの分析モ デルをまと める。 予習0.5時 間・復習 0.5時間 ×1	認知 (想起) 情意 (受入)
8	6/8 (火) 1限	石井	ユニット4 歯科衛生活動2： 歯科衛生士と医療 倫理 〔講義〕	1) 倫理の定義を理解す る。 2) 歯科衛生士と倫理の 関係を理解する。	(1)倫理の必要性について説明できる。 (2)医の倫理について概説できる。 (3)インフォームド・コンセント、インフォーム ド・チョイス、セカンド・オピニオンについ て説明できる。	教科書 1 の 「歯科衛生 士と医療倫 理P66-76」 を精読する 予習0.5時 間・復習 0.5時間 ×1	認知 (想起) 情意 (受入)
9	6/17 (木) 4限	石井	ユニット4 歯科衛生活動3： 歯科衛生士の活動 と組織1 〔講義〕	1) 歯科衛生活動の現状 を理解する。	(1)歯科衛生士の活動の領域と就業の推移を説明 できる (2)歯科衛生活動の種類と業務の概略を説明でき る	教科書 1 の 「歯科衛生 活動の場 P84-88」を 精読する 予習0.5時 間・復習 0.5時間 ×1	認知 (想起) 情意 (受入)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 復習項目 必要時間	教育 目標 領域
10	6/24 (木) 2限	堀部	ユニット6 歯科衛生活動4： 歯科衛生士の活動 と組織2 〔講義〕	1) 口腔介護の視点から 歯科衛生活動の現状を 理解する。	(1)チーム医療を説明できる (2)医療保険制度の仕組みを概説できる (3)介護保険制度の仕組みを概説できる	教科書 1 の 「歯科衛生 士の活動と 組織P77- 80」「歯科 衛生士と組 織P89-92を 精読する 予習0.5時 間・復習 0.5時間 ×1	認知 (想起) 情意 (受入)
11	7/1 (木) 2限	石井	ユニット6 歯科衛生活動5： 海外における歯科 衛生士 〔講義〕	1) 海外の歯科衛生士現 状を理解する。	(1)海外における歯科衛生士教育内容を概説でき る (2)海外における歯科衛生業務内容を概説できる	教科書 1 の 「海外にお ける歯科衛 生士P93- 97」を精読 する 受講後、興 味を持った 国の歯科衛 生士につい て調べレポ ートにまと める 予習0.5時 間・復習 0.5時間 ×1	認知 (想起) 情意 (受入)
12	7/2 (金) 2限	堀部 高木	ユニット6 歯科衛生活動6： 歯科衛生過程 〔講義・演習〕	1) 歯科衛生士業務にお ける歯科衛生過程の 位置付けを理解す る。	(1)歯科衛生過程の 6 つのステップを説明できる (2)POS、SOAPを概説できる 【授業評価アンケート実施】	教科書 1 の 「歯科衛生 過程P32- 41」参考書 1の「歯科 衛生過程の 進め方P62- 76」を精読 する 予習0.5時 間・復習 0.5時間 ×2	認知 (解釈) 情意 (反応)
13	7/7 (水) 2限	堀部 高木					
14 15	8/2 (月) 1,2限	松尾 後藤 高木	ユニット5 病院見学 〔講義・演習・グ ループワーク〕	1) 大学病院における歯 科衛生士業務を理解 する。 2) 自分の目指す歯科衛 生士像を示す。	(1)医療従事者として相応身だしなみを示すこと ができる。 (2) 自分の目指す歯科衛生士像を述べることが できる。	「医療安 全」の意味 を調べ、レ ポートにま とめる。 予習0.5時 間・復習 0.5時間 ×2	認知 (解釈) 情意 (受入)

歯科臨床概論

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15 コマ ; 30 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011211
 評価責任者： 力丸哲也
 授業担当者： 力丸哲也、泉 喜和子、
 松尾忠行、後藤加寿子、
 貴島聡子、升井一朗

1. 一般目標

歯科衛生士として多様な対象者に根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するのに必要な、歯科診療の流れや診断と治療の基本的知識を体系的に学ぶ。また、専門診療各科が取り扱う疾患と治療法の概要を修得することにより、口腔保健活動における問題発見能力ならびに医療人としての自覚と倫理観を涵養する。

2. 教育方法

講義

歯科医療機関（歯科大学医科歯科総合病院、歯科医院）や介護保険施設において、歯科医師として診療に携わった実務経験を活かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC、プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリントを必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を精読し、求められている課題についてノートにまとめること。授業中は、ノートをとること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。理解できなかった項目については教員・ティーチングアシスタントに質問し、説明を受けて確実に理解すること。レポート課題は締め切り日を守る。

本授業を理解する上で、生物学、口腔衛生学等の知識が必要であり、本授業は全ての臨床科目の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

[総括的評価]：記述試験（90%）・授業参加状況（予習復習の実施状況等）（10%）

[フィードバック]：試験結果ならびに正解例は試験終了後掲示する。詳細は初回の講義で説明する。

6. 教科書

新・歯科衛生士教育マニュアル「歯科臨床の基礎と概論」栢・升井・石川・山田 編著 クインテッセンス出版 2020

7. 参考書

指定なし

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と必 要時間	教育 目標 領域
1	4/15 (木) 4限	升井	オリエンテーショ ン ユニット 1 歯科医療とは [講義]	1) 歯科医療の概要と歯科 医療従事者を理解する。 2) 歯科医療の特徴を理解 する。 3) 歯科の専門診療科につ いて理解する。 4) 歯科医療における歯科 衛生士の役割を理解する。	1) 歯科医療の概要と歯科医療従事者 を説明できる。 2) 歯科医療の特徴を説明できる。 3) 歯科の専門分野（専門診療科）を 説明できる。 4) 歯科医療における歯科衛生士の役 割を説明できる。	教科書の P8-20を 精読する (予習 0.5時間・ 復習0.5 時間)	認知 (解釈)
2	4/22 (木) 4限	松尾	ユニット 1 歯科医療とは [講義]	5) 医の原則について理解 する。 6) 医療安全とその対策に ついて理解する。	5) 医の原則について説明できる。 6) 医療安全とその対策について概要 を説明できる。	医の倫理 に関する 規範を記 載するこ と(予習 0.5間・復 習0.5間)	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と必要時間	教育 目標 領域
3	5/10 (月) 4限	泉	ユニット 2 歯科診療の流れと 歯科衛生士の関わり 〔講義〕	1) 歯科診療所の一日の流れを理解する。 2) 歯科診療の流れを理解する。 3) 歯科衛生過程と歯科診療への関わりを理解する。	1) 歯科診療所の一日の流れを概説できる。 2) 歯科診療の流れを説明できる。 3) 歯科診療における歯科衛生過程との関わりを説明できる。	教科書の P28-33を 精読する (予習 0.5時間・ 復習0.5 時間)	認知 (解釈)
4	5/13 (木) 4限	後藤	ユニット 2 歯科診療の流れと 歯科衛生士の関わり 〔講義〕	3) 歯科医療面接を理解する。 4) 歯科医師と歯科衛生士のチーム医療を理解する。	4) 歯科医療面接を理解する。 5) 歯科医師と歯科衛生士のチーム医療を理解する。	教科書の P34-39を 精読する (予習 0.5時間・ 復習0.5 時間)	認知 (想起) 情意 (受け入れ)
5	5/20 (木) 4限	貴島	ユニット 2 歯科診療の流れと 歯科衛生士の関わり 〔講義〕	下記歯科治療の流れを理解する。 ①う蝕・失活歯の治療、 ②歯周病の治療、③周術期の 口腔機能管理、④その他	下記歯科治療の流れを大まかに説明できる。 う蝕・失活歯の治療、 歯周病の治療、周術期の口腔機能管理、 その他の歯科衛生士業務	教科書の P40-43を 精読する (予習 0.5時間・ 復習0.5 時間)	認知 (想起) 情意 (受け入れ)
6	5/21 (金) 3限	力丸	ユニット 2 歯科診療の流れと 歯科衛生士の関わり 〔講義〕	下記歯科治療の流れを理解する。 ①有病者の歯科治療、②高齢者の在宅医療、③障害者の 歯科治療、④感染症患者の 歯科治療、⑤妊娠中の歯 科治療	下記歯科治療の流れを大まかに説明できる。 ①有病者の歯科治療、②高齢者の在宅 医療、③障害者の歯科治療、④感染症 患者の歯科治療、⑤妊娠中の歯科治療 を理解する。	教科書の P44-49を 精読する (予習 0.5時間・ 復習0.5 時間)	認知 (想起) 情意 (受け入れ)
7	5/28 (金) 3限	力丸	ユニット 3 歯科専門診療科 (歯科保存科 歯内療法) 〔講義・スライド 供覧〕	歯髄疾患と根尖性歯周組織 疾患の種類と処置方法を 理解する。 ①臨床的分類、②歯の外傷 と治療法、③歯内治療に おける医療安全対策	歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の種 類と処置方法を概説できる。	教科書の P56-61を 精読する (予習 0.5時間・ 復習0.5 時間)	認知 (解釈)
8	6/2 (水) 3限	後藤	ユニット 3 歯科専門診療科 (歯科補綴科) 〔講義・スライド 供覧〕	歯科補綴治療の基礎知識、 ①補綴装置の種類、②器 材、③補綴治療の臨床ステ ップ、④義歯装着後の患者 指導を理解する。	1) 歯科補綴治療の概要を説明できる。 2) 補綴装置の種類、器材、補綴治療の 臨床ステップ、義歯装着後の患者指導 を理解できる。	教科書の P70-79を 精読する (予習 0.5時間・ 復習0.5 時間)	認知 (想起)
9	6/11 (金) 3限	貴島	ユニット 3 歯科専門診療科 (歯科保存科 保存修復) 〔講義・スライド 供覧〕	歯の硬組織疾患の種類と 処置方法を理解する。 ①う蝕の進行度による分 類、②窩洞の分類、③歯の 変色と漂白法	歯の硬組織疾患の種類と処置方法を 概説できる。	教科書の P P50-56 を精読す る (予習 0.5時間・ 復習0.5 時間)	認知 (解釈) 情意 (受け入れ)
10	6/15 (火) 1限	力丸	ユニット 3 歯科専門診療科 (歯周病科) 〔講義・スライド 供覧〕	歯周疾患と治療を理解する。 ①歯周組織の構造、②歯周 病の病態、③原因、治療、 検査	歯周疾患と治療を概説できる。	教科書の P62-69を 精読する (予習 0.5時間・ 復習0.5 時間)	認知 (解釈)
11	7/2 (金) 3限	泉	ユニット 3 歯科専門診療科 (口腔外科) 〔講義・スライド 供覧〕	顎口腔領域の疾患も概要 と治療の原則について理 解する。	口腔・顎顔面領域の疾患の種類と特徴 および治療法の原則を大まかに説明 できる。	教科書の P P80-90 を精読す る (予習 0.5時間・ 復習0.5 時間)	認知 (解釈) 情意 (受け入れ)
12	7/9 (金) 3限	後藤	ユニット 3 歯科専門診療科 (小児歯科) 〔講義・スライド 供覧〕	1) 小児歯科治療の概要を 理解する。 2) 小児の発育、歯の発育、 小児の特徴と留意点、小児 患者への歯科的対応を理 解する。	1) 小児歯科治療の概要を説明できる。 2) 小児の発育、歯の発育、小児の特 徴と留意点、小児患者への歯科的対応 を概説できる。	教科書の P100-10 9を精読 する (予習 0.5時間・ 復習0.5 時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と必 要時間	教育 目標 領域
13	7/12 (月) 4限	松尾	ユニット 3 歯科専門診療科 (高齢者歯科) 〔講義〕	1) 加齢と老化について理解する。 2) 高齢者の状態の把握法を理解する。 3) 要介護者の口腔ケアを理解する。 4) 摂食嚥下リハビリを理解する。	1) 加齢と老化について説明できる。 2) 高齢者の状態の把握法を説明できる。 3) 要介護者の口腔ケアを概説できる。 4) 摂食嚥下リハビリを概説できる。	高齢者の口腔状態を記載すること(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)
14	7/19 (月) 2限	泉	ユニット 3 歯科専門診療科 (矯正歯科) 〔講義・スライド 供覧〕	矯正歯科治療の概要を理解する。 不正咬合の分類と各種の治療法を理解する。	不正咬合の分類と各種の治療法を概説できる。	教科書のP P91-99を精読する (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈) 情意 (受け入れ)
15	7/26 (月) 4限	松尾	ユニット 3 歯科専門診療科 (障害者歯科) 〔講義〕	1) 障害の概念を理解する。 2) 障害の種類と歯科的特徴を理解する。 3) 障害児・者の歯科治療と行動調性法を理解する。	1) 障害の概念を大まかに説明できる。 2) 障害の種類と歯科的特徴を大まかに説明できる。 3) 障害児・者の歯科治療と行動調性法を大まかに説明できる。	障害の種類を記載すること (予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (解釈)

歯科保存修復・歯内療法学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ ; 30 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011212
 評価責任者： カ丸哲也
 授業担当者： カ丸哲也

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として多様な対象者に、根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な歯の硬組織疾患や、歯髄疾患に関する基本的知識を体系的に修得し、理論的に分析・考察するための科学的思考力を修得する。

2. 教育方法

講義

大学病院において、歯科医師として歯科保存修復・歯内治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、PC、プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中は、教科書中の指示された重要箇所にアンダーラインを引き、必要に応じてノートを取ること。授業後は、教科書やノート等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。

本授業を理解する上で、口腔解剖学、口腔病理学、歯科材料学等の知識が必要であり、本授業は小児歯科学、歯科診療補助論、臨床実習の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

[総括的評価]：記述試験（80%）・小テスト（20%）

[フィードバック]：試験結果ならびに正解例は試験終了後掲示する。詳細は初回の講義で説明する。

6. 教科書

- 『新・歯科衛生士教育マニュアル 保存修復』片山 直、小松正志、松尾敬志 編集 クインテッセンス出版、2020
- 『新・歯科衛生士教育マニュアル 歯内療法』笠原悦男、林 宏行、吉田隆一 編集 クインテッセンス出版、2020

7. 参考書

『歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』松井恭平 他編集医歯薬出版、2019

『歯科衛生士国試対策集2021年対応 第1～30回全重要問題解説集』歯科衛生士国試対策研究会編 クインテッセンス出版、2020

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目 標領域
1	9/22 (水) 1限	カ丸	オリエンテーショ ン ユニット 1 保存修復学概論 歯の硬組織疾患 [講義]	1) 保存修復学の目的と意義を理解する。 2) 歯の硬組織疾患の種類を理解する。	1) 歯科保存修復学を説明できる。 2) ミニマルインターベンション (MI) を説明できる。 3) 歯の硬組織疾患の種類を説明できる。	教科書 p 11-20 を精読する。(予 習0.5時間・復習 0.5時間)	認知 (想起)
2	9/29 (水) 1限	カ丸	ユニット 2 う蝕の分類と病変 の成り立ち [講義]	1) う蝕の病因、病態、進行を理解する。 2) う蝕の分類と特徴を理解する。	1) う蝕の病因、病態、進行を説明できる。 2) う蝕を分類できる。 3) う蝕の特徴を説明できる。	教科書P20-29を 精読する。(予習 0.5時間・復習 0.5時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目 標領域
3	10/6 (水) 1限	力丸	ユニット 3-1) 歯の硬組織検査 ユニット 3-2) 歯の切削と修復の 準備法 [講義]	1) う蝕の検査法を理解する。 2) 歯を切削する器具・機械を理解する。 3) 修復の準備法を理解する。	1) う蝕の検査法を説明できる。 2) 歯の切削器具・器械の種類と特徴を説明できる。 3) 修復の準備法を説明できる。	教科書P30-47を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
4	10/13 (水) 1限	力丸	ユニット 4-1) 窩洞 ユニット 4-2) 修復方法 [講義]	1) 窩洞の分類や名称を理解する。 2) 修復方法を理解する。	1) 窩洞の分類と名称を説明できる。 2) 窩洞形態の原則を説明できる。 3) 修復方法の種類を説明できる。 4) 修復処置後のメンテナンスを説明できる。	教科書P60-75を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
5	10/20 (水) 1限	力丸	ユニット 5 直接修復法 [講義]	1) 成形修復法を理解する。 2) 修復時の前準備を理解する。	1) グラスアイオノマーセメント修復の特徴と術式を大まかに説明できる。 2) コンポジットレジン修復の特徴と術式を大まかに説明できる。	教科書P76-95を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
6	10/27 (水) 1限	力丸	ユニット 6 間接修復法 [講義]	1) インレー修復を理解する。 2) 鑄造修復法を理解する。	1) インレー修復を説明できる。 2) メタルインレー修復の特徴と術式を大まかに説明できる。	教科書P96-112を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
7	11/10 (水) 1限	力丸	ユニット 7 間接修復法 [講義]	1) コンポジットレジンインレー・セラミックインレー修復を理解する。 2) ラミネートベニア修復を理解する。	1) コンポジットレジンインレー・セラミックインレー修復の特徴を説明できる。 2) ラミネートベニア修復の特徴を説明できる。	教科書P113-129を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
8	11/17 (水) 1限	力丸	ユニット 8 歯の漂白法 [講義]	1) 歯の変色の原因を理解する。 2) 歯の漂白法を理解する。	1) ウォーキングブリーチ法を説明できる。 2) オフィスブリーチング・ホームブリーチングを説明できる。	教科書P146-157を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
9	11/24 (水) 1限	力丸	ユニット 9 歯内治療学概論 象牙質知覚過敏症 歯髄疾患 [講義]	1) 歯内治療学の目的と意義を理解する。 2) 象牙質知覚過敏症を理解する。 3) 歯髄疾患の概要を理解する。	1) 歯内治療学を説明できる。 2) 象牙質知覚過敏症の原因と処置法を説明できる。 3) 歯髄疾患の原因を説明できる。	教科書P10-13, P24-32を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
10	12/1 (水) 1限	力丸	ユニット 10 歯髄疾患 [講義]	1) 歯髄疾患の分類と症状を理解する。 2) 仮封法を理解する。	1) 歯髄疾患の分類と症状を説明できる。 2) 仮封法を説明できる。	教科書P31-35, P47-48を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
11	12/8 (水) 1限	力丸	ユニット 11 歯髄の保存療法 [講義]	1) 歯髄保存療法の分類と目的、術式を理解する。	1) 歯髄鎮痛消炎療法を説明できる。 2) 覆髄法を説明できる。	教科書P48-53を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
12	12/9 (木) 4限	力丸	ユニット 12 歯髄の除去療法 [講義]	1) 歯髄除去療法の分類と目的、術式を理解する。	1) 生活歯髄切断法の目的と術式を大まかに説明できる。 2) 麻酔抜髄法の目的と術式を大まかに説明できる。	教科書P53-61を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
13	12/15 (水) 1限	力丸	ユニット 13 根尖性歯周組織疾患 [講義]	1) 根尖性歯周組織疾患の概要を理解する。 2) 感染根管と根尖性歯周組織疾患の関連を理解する。	1) 根尖性歯周組織疾患の原因を説明できる。 2) 根尖性歯周組織疾患の分類と症状を説明できる。 3) 感染根管を説明できる。	教科書P62-76を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
14	1/12 (水) 1限	力丸	ユニット 14-1) 感染根管治療 [講義]	1) 感染根管治療の目的、術式を理解する。	1) 感染根管治療の目的と術式を大まかに説明できる。	教科書P82-92を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)
15	1/19 (水) 1限	力丸	ユニット 14-2) 根管充填 ユニット 15 外科的歯内療法 [講義]	1) 根管充填の目的、術式を理解する。 2) 外科的歯内療法の分類と目的、適応症を理解する。	1) 根管充填の目的と側方加圧充填法の術式を大まかに説明できる。 2) 外科的歯内療法を分類できる。 3) 外科的歯内療法の目的と適応症を説明できる。	教科書P94-101, P118-124を精読する。(予習0.5時間・復習0.5時間)	認知 (想起)

歯科補綴学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH011214
 評価責任者： 後藤加寿子
 授業担当者： 後藤加寿子

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部、あるいは全部欠損に対する咬合修復方法に関する基本的知識を体系的に修得する。また、歯科補綴の臨床例を通して、口腔保健活動における問題発見能力ならびに医療人としての自覚と倫理観を備える。

2. 教育方法

教科書、プリントを用いた講義を行う。

大学病院において、歯科医師として補綴治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。理解できなかった項目については教員・ティーチングアシスタントに質問し、説明を受けて確実に理解すること。レポート課題は、締め切り期日を守ること。本授業を理解するうえで、歯科材料学、口腔解剖学の理解が必要となる。

[単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間]

5. 評価方法

〔形成的評価〕 確認テスト・レポート

〔フィードバック〕 不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。

〔総括的評価〕 記述試験（70%）、小テスト・レポート（20%）・授業態度（10%）

〔フィードバック〕 以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 『最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴』第2版 医歯薬出版 2020

7. 参考書

1 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 2018

2 新歯科衛生士教本 歯科材料 医歯薬出版 2018

3 新歯科衛生士教本 歯科器械 医歯薬出版 2018

4 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2021

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/24 (金) 3限	後藤	オリエンテーション ユニット 1-1 補綴歯科治療の 基礎 (1) [講義]	歯科補綴の概要を 理解する。	(1)補綴とは何か説明できる。 (2)補綴歯科治療の意義と目的を説明できる。 (3)歯の欠損に伴う生理的変化を説明できる。	教科書 1 の P2-11を精読 する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
2	9/30 (木) 2限	後藤	ユニット 1-2 補綴歯科治療の 基礎(2) [講義]	歯科補綴の概要を 理解する。	(1)補綴歯科治療の方法と歯科装置について 説明できる。	教科書 1 の P12-26を精読 する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	10/7 (木) 2限	後藤	ユニット 1-3 補綴歯科治療の 基礎(3) [講義]	歯科補綴の概要を 理解する。	(1) 補綴歯科治療における歯科衛生士の役割 を説明できる。	教科書 1 の P26-28を精読 する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
4	10/14 (木) 2限	後藤	ユニット 2 補綴歯科治療の 基礎(4) [講義]	補綴歯科治療の基 礎知識について理 解する。	(1)歯列と咬合について説明できる。 (2)補綴学的基準平面について説明できる。 (3)口腔の機能について説明できる。 (4)顎関節の構造・機能と病態について説明 できる。	教科書 1 の P29-45を精読 する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
5	10/21 (木) 2限	後藤	ユニット 3-1 補綴歯科治療の実際 と歯科衛生士の役割 (1) [講義]	補綴歯科治療におけ る検査について理解す る。	(1)医療面接と診察について説明できる。 (2)口腔内の検査について説明できる。 (3)画像検査について説明できる。 (4)咬合と顎口腔機能の検査について説明でき る。	教科書 1 の P48-67を精読 する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
6	10/28 (木) 2限	後藤	ユニット 3-2 補綴歯科治療の実際 と歯科衛生士の役割 (2) [講義]	クラウン・ブリッジ 治療について理解 する。	(1)クラウン・ブリッジ治療の概要について 説明できる。	教科書 1 の P69-78を精読 する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
7	11/4 (木) 2限	後藤	ユニット 3-2 補綴歯科治療の実際 と歯科衛生士の役割 (3) [講義]	クラウン・ブリッジ 治療について理解 する。	(1)クラウン・ブリッジ治療の流れと診療の 補助について説明できる。	教科書 1 の P78-99を精読 する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
8	11/8 (月) 2限	後藤	ユニット 3-2 補綴歯科治療の実際 と歯科衛生士の役割 (4) [講義]	クラウン・ブリッジ 治療について理解 する。	(1)クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルと その対応について説明できる。	教科書 1 の P99-108を精 読する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
9	11/25 (木) 2限	後藤	ユニット 3-3 補綴歯科治療の実際 と歯科衛生士の役割 (5) [講義]	有床義歯治療の概要 について理解する。	(1)全部床義歯治療の概要について説明 できる。 (2)全部床義歯治療の流れと診療補助につい て説明できる。	教科書 1 の P109-141を 精読する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
10	12/2 (木) 2限	後藤	ユニット 3-3 補綴歯科治療の実際 と歯科衛生士の役割 (6) [講義]	有床義歯治療の概要 について理解する。	(1)全部床義歯治療に伴うトラブルとその対応 について説明できる。	教科書 1 の P141-144を 精読する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
11	12/9 (木) 2限	後藤	ユニット 3-4 補綴歯科治療の実際 と歯科衛生士の役割 (7) [講義]	有床義歯治療の概要 について理解する。	(1)部分床義歯治療の概要について説明でき る。 (2)部分床義歯治療の流れと診療補助につい て説明できる。	教科書 1 の P145-171を 精読する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
12	12/16 (木) 3限	後藤	ユニット 3-4 補綴歯科治療の実際 と歯科衛生士の役割 (8) [講義]	有床義歯治療の概要 について理解する。	(1)部分床義歯治療に伴うトラブルとその対応 について説明できる。	教科書 1 の P171-174を 精読する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
13	12/21 (火) 2限	後藤	ユニット 3-5 補綴歯科治療の実際 と歯科衛生士の役割 (9) [講義]	インプラント治療の 概要について理解 する。	(1)インプラン治療の概要について説明 できる。 (2)インプラント治療の流れと診療補助につい て説明できる。 (3)上下無歯顎症例に対するインプラント治療 について説明できる。 (4)インプラント治療に伴うトラブルとその対 応について説明できる。	教科書 1 の P175-208を 精読する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
14	1/13 (木) 2限	後藤	ユニット 3-6 補綴歯科治療の実際 と歯科衛生士の役割 (10) [講義]	特殊な口腔内装置を 用いる治療について 理解する。	(1)顎顔面補綴治療について説明できる。 (2)構音・嚥下機能の補助治療について説明 できる。 (3)顎関節症と歯ぎしりの治療について説明で きる。 (4)スポーツ外傷の予防について説明できる。 (5)睡眠時無呼吸症候群の歯科的治療につい て説明できる。	教科書 1 の P209-219を 精読する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)
15	1/20 (木) 2限	後藤	ユニット 3-7 補綴歯科治療の実際 と歯科衛生士の役割 (11) [講義]	補綴歯科治療におけ る器材の管理につい て理解する。	(1)器具・器材別滅菌、消毒、洗浄、保管に ついて説明できる。 (2)歯科技工士との連携について説明できる。	教科書 1 の P220-226を 精読する。 予習 0.5時間 復習 0.5時間	認知 (想起)

口腔外科学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ：30 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011215
 評価責任者： 泉 喜和子
 授業担当者： 泉 喜和子

1. 一般目標

歯科衛生士として多様な対象者に根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するのに必要な、口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と診断法および治療法に関する情報や知識を修得し、理論的に分析・考察するための科学的思考力を醸成する。また、口腔外科の臨床例を通して、口腔保健活動における問題発見能力ならびに医療人としての自覚と倫理観を涵養する。

2. 教育方法

講義

大学病院において、歯科医師として口腔外科学に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC、プロジェクター

4. 学修方法

本授業を理解する上で、解剖学や生理学などで学修した口腔・顎顔面領域の構造や機能についての知識が必須である。授業には指定教科書と配布資料を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を精読し、授業中はノートやメモを取る。授業後は、講義終了時に配布された配布資料を完成させ、授業内容の確認をその日のうちに行うこと。また本授業は保存修復学、歯周病学、歯科補綴学、小児歯科学、矯正歯科学、口腔病理学、診療補助論と関連があり、理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：45時間】

5. 評価方法

〔総括的評価〕記述試験（80%）・授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（20%）

〔フィードバック〕以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

6. 教科書

古森孝秀 編著：歯科衛生士講座 口腔外科学 第2版 永末書店 2017

7. 参考書

野間, 福田, 栗田ら編集：イラストでみる口腔外科手術 第1～3巻 クインテッセンス出版 2010

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	9/27 (月) 1限	泉	オリエンテーション ユニット 1 口腔外科学総論 [講義・スライド]	1) 歯科における口腔外科の位置づけを理解する。 2) 口腔診査や全身に関する臨床検査を理解する。 3) 代表的な全身疾患を理解する	1) 口腔・顎顔面領域の機能と特徴、口腔外科の診療範囲と扱う疾患を説明できる。 2) 口腔診査や全身に関する臨床検査の目的や結果について説明できる。 3) 口腔外科診療で注意すべき全身疾患を説明できる。	予習) 教科書のP2-30を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
2	10/4 (月) 1限	泉	ユニット 2 口腔外科手術論 [講義・スライド]	1) 口腔外科で行う小手術（抜歯術）の術式を理解し、必要な器具について理解する。 2) 出血の分類と止血処置を理解する。 3) 創傷治癒過程を理解する。	1) 抜歯の術式を理解し、必要な器具を説明できる。 2) 抜歯の偶発症、抜歯後の注意事項について説明できる。 3) 出血の分類と止血処置について説明できる。 4) 創傷治癒過程について説明できる。	予習) 教科書のP194-211、P215-225、P339-350を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
3	10/11 (月) 1限	泉	ユニット 3 先天異常・発育異常 [講義・スライド]	1) 歯の異常を理解する。 2) 口腔軟組織の先天異常を理解する。 3) 唇顎口蓋裂の疫学、症状、治療の流れを理解する。	1) 萌出時期・歯数の異常、萌出位置の異常の病態と治療法を説明できる。 2) 小帯の異常、舌の異常、口唇の異常、口腔粘膜の異常の病態と治療法を説明できる。 3) 唇顎口蓋裂の発生率や原因および唇顎口蓋裂に伴う障害と治療の流れについて説明、記述できる。	予習) 教科書のP44-58、P67-71、P245-247、P268-271を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
4	10/18 (月) 1限	泉	ユニット 3 先天異常・発育異常 [講義・スライド 供覧]	1) 顎変形症の症状や症型分類、治療の流れ、手術法を理解する。 2) 代表的な症候群を理解する。	1) 顎変形症の症型分類、外科的矯正治療の流れ、代表的な顎矯正手術法を説明、記述できる。 2) 代表的な症候群を説明できる。	予習) 教科書のP59-66、P72-75、P272-279を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
5	10/25 (月) 1限	泉	ユニット 4 顎顔面の外傷 [講義・スライド]	1) 歯の損傷・歯槽骨骨折の原因と種類、治療法を理解する。 2) 顎骨骨折の原因と種類、症状および治療法を理解する。 3) 軟組織の損傷の原因と種類、症状および治療法を理解する。	1) 歯の破折と脱臼の症状と治療法を説明、記述できる。 2) 顎骨骨折を分類し、症状や治療法を説明、記述できる。 3) 軟組織損傷を分類し説明できる。	予習) 教科書のP76-86、P245-254、P281-282を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
6	11/1 (月) 1限	泉	ユニット 5 口腔粘膜疾患1 [講義・スライド]	1) 粘膜疾患の基本症状を理解する。 2) 水疱形成、紅斑・びらん、潰瘍、白斑を主徴とする疾患の特徴と治療法を理解する。	水疱形成、紅斑・びらん、潰瘍、白斑を主徴とする疾患の病態を把握し、症状と治療法について説明、記述できる。	予習) 教科書のP87-99を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
7	11/8 (月) 1限	泉	ユニット 5 口腔粘膜疾患2 [講義・スライド]	1) 色素沈着を主徴とする疾患の特徴と治療法を理解する。 2) そのほか舌に現れる疾患の特徴を理解する。	1) 色素沈着を主徴とする疾患の病態を把握し、症状と治療法について説明、記述できる。 2) 口腔粘膜に限局して見られる疾患と全身疾患と関連して見られる疾患を説明できる。	予習) 教科書のP87-104を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
8	11/15 (月) 1限	泉	ユニット 6 炎症 [講義・スライド]	1) 歯性炎症の原因と症状、進路経路を理解する。 2) 歯性炎症の治療法を理解する。 3) 薬剤関連顎骨壊死の特徴と治療法を理解する。 4) 特異性炎の病態と治療法を理解する。	1) 歯性炎症の原因と症状、進路経路について説明、記述できる。 2) 歯性炎症の治療法を説明できる。 3) 薬剤関連顎骨壊死の特徴と治療法について説明、記述できる。 4) 特異性炎の病態と治療法を説明できる。	予習) 教科書のP105-115、P212-214を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
9	11/22 (月) 1限	泉	ユニット 7 嚢胞 [講義・スライド]	1) 嚢胞の定義と分類を理解する。 2) 顎骨嚢胞、軟組織嚢胞、偽嚢胞に分類し、分類された疾患の特徴と治療法を理解する。	1) 嚢胞の定義と分類を説明できる。 2) 顎骨嚢胞、軟組織嚢胞、偽嚢胞のそれぞれの特徴と治療法を説明、記述できる。	予習) 教科書のP116-125、P231-241、p284-285を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
10	11/29 (月) 1限	泉	ユニット 8 良性腫瘍および腫瘍類似疾患 [講義・スライド]	1) 腫瘍の性質と分類を理解する。 2) 良性腫瘍と悪性腫瘍の相違を理解する。 3) 口腔・顎顔面領域の良性腫瘍と腫瘍類似疾患の特徴と治療法を理解する。	1) 腫瘍の性質と分類を説明できる。 2) 良性腫瘍と悪性腫瘍の相違を説明できる。 3) 口腔・顎顔面領域の良性腫瘍と腫瘍類似疾患の特徴と治療法について説明、記述できる。	予習) 教科書のP126-142、P229-230、P242-244、P286を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
11	12/6 (月) 1限	泉	ユニット 9 悪性腫瘍 (口腔癌) [講義・スライド]	1) 口腔癌の疫学を理解する。 2) 口腔癌の症状と診断分類、治療法を理解する。 3) 口腔癌の外科療法を理解する。	1) 口腔癌の口腔癌の症状と診断分類、治療法を説明、記述できる。 2) 口腔癌の外科療法を説明できる。	予習) 教科書のP143-153、P287-295を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
12	12/13 (月) 1限	泉	ユニット 10 顎関節疾患 [講義・スライド]	1) 顎関節の構造と機能を理解する。 2) 顎関節疾患の特徴と治療法を理解する。	1) 顎関節の構造と機能を説明できる。 2) 顎関節疾患の診断と治療法を説明、記述できる。	予習) 教科書のP154-165 P296-302を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
13	12/20 (月) 1限	泉	ユニット11 唾液腺疾患 [講義・スライド]	1) 口腔・顎顔面領域の唾液腺の構造と機能を理解する。 2) 唾液腺疾患の特徴と治療法を理解する。	1) 唾液腺の機能と構造、唾液について説明できる。 2) 唾液腺疾患の特徴と治療法を説明、記述できる。	予習) 教科書のP166-179 P255-257を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
14	1/17 (月) 1限	泉	ユニット12 神経疾患 [講義・スライド]	1) 口腔・顎顔面領域を支配する神経の構造と機能について理解する。 2) 口腔・顎顔面領域の神経疾患の特徴と治療法の原則を理解する。	1) 口腔・顎顔面領域を支配する神経について説明できる。 2) 神経疾患の特徴と治療法の原則を説明、記述できる。	予習) 教科書のP180-185を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
15	1/24 (月) 1限	泉	ユニット13 血液疾患 [講義・スライド]	1) 止血機構を理解する。 2) 血液疾患の臨床病態や検査を理解する。	1) 代表的な血液疾患である貧血と白血病の臨床病態(原因、症状、問題点)について説明、記述できる。 2) 出血傾向を示す疾患の臨床病態(原因、症状、問題点)について説明、記述できる。	予習) 教科書のP186-192を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)

小児歯科学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3（10 コマ）以上の出席
 科目番号： DH011216
 評価責任者： 堀部晴美
 講義担当： 馬場篤子、柏村晴子、
 田村翔悟

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために、胎生期から成人にいたる間の小児の口腔領域の正常な発育を促し、これを阻害する口腔疾患について、その種類と治療法を知ることによって、歯科衛生士が行う小児のう蝕予防、口腔管理法および小児歯科診療補助業務に関し多様な対象者を支援する力を修得する。

2. 教育方法

スライドを用いた講義を行う。

大学病院において、歯科医師として小児歯科に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、スライド（PC+プロジェクター）

4. 学修方法

授業には、指定教科書を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の対応項目に目を通すなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノート等記録を取ること。授業後は、教科書等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。本授業を理解する上で、口腔解剖学、口腔病理学、口腔生理学等の知識が必要である。また本授業は矯正歯科学、歯周病学、保存修復学、歯科補綴学、口腔外科学と関連があり、理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

定期試験：（中間試験を含む）記述試験（90%）

平常評価：授業態度（出席・発問・質疑等）（10%）

フィードバック：試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。

尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

1. 最新歯科衛生士教本小児歯科 第2版 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社 2021

7. 参考書

1. 『新・歯科衛生士教育マニュアル 小児歯科学』 編集：木村光孝他 クインテッセンス出版株式会社 2014

2. 歯科衛生士国試対策集2021年対応第1～2 9回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編 クインテッセンス出版 2020

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/22 (水) 2限	馬場	ユニット 1 小児歯科学概論 心身の発育 [講義]	1) 小児歯科学概論を説明できる 2) 小児の心身の発育を説明できる	(1) 小児歯科学の意義と目的を説明できる (2) 小児の発育段階と口腔の変化を説明できる (3) 小児の発育の概念と分類を説明できる (4) 小児の発育状態の評価法を説明できる (5) 小児の生理的年齢を説明できる (6) 各器官の発育を説明できる (7) 小児の精神発達を説明できる	教科書 1. の P2-19を 読んでく ること (0.5時 間) 授業後に 教科書で 復習する こと (0.5時間)	認知 (想起)
2	9/29 (水) 2限	馬場	ユニット 2 小児の生理的特徴 顔面頭蓋の発育 [講義]	1) 小児の生理的特徴を説明できる 2) 小児の顔面頭蓋の発育を説明できる	(1) 小児のバイタルサインと生理的特徴を説明できる (2) 小児の薬剤処方と薬物療法について説明できる (3) 脳頭蓋と顔面頭蓋の発育変化を説明できる (4) 脳頭蓋の発育の特徴を説明できる (5) 顔面頭蓋の発育の特徴を説明できる (6) 顔面頭蓋の発育の評価法を説明できる	教科書 1. の P20-30を 読んでく ること (0.5時 間) 授業後に 教科書で 復習する こと (0.5時間)	認知 (想起) (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	10/6 (水) 2限	馬場	ユニット 3 歯の発育とその異常 [講義]	1) 歯の発育とその異常を説明できる 2) 歯の形成について説明できる 3) 歯の発育時期と形成異常を説明できる 4) 歯の萌出を説明できる 5) 歯の萌出異常を説明できる	(1) 乳歯の特徴を説明できる (2) 幼若永久歯の特徴を説明できる (3) 歯の発育の概要を説明できる (4) 歯の形成異常を説明できる (5) 歯の萌出時期と順序を説明できる (6) 歯の萌出異常を説明できる	教科書 1. の P31-42 を読んでくること (0.5 時間) 授業後に教科書で復習すること (0.5 時間)	認知 (想起) (解釈)
4	10/13 (水) 2限	馬場	ユニット 4 歯列・咬合の発育と異常 [講義]	1) 歯列・咬合の発育について説明できる	(1) 歯列の発育分類を説明できる (2) 各歯列期の臨床的特徴を説明できる (3) ヘルマンの咬合発育段階を説明できる (4) 歯列および咬合の発育異常を説明できる (5) 口腔習癖に起因する不正咬合の特徴を説明できる	教科書 1. の P43-52 を読んでくること (0.5 時間) 授業後に教科書で復習すること (0.5 時間)	認知 (想起) (解釈)
5	10/20 (水) 2限	馬場	ユニット 5 小児の歯科疾患 [講義]	1) 小児にみられるう蝕を説明できる 2) 小児にみられる歯周疾患を説明できる 3) 小児にみられる口腔軟組織の異常と疾患を説明できる 4) 口唇裂・口蓋裂の問題点や患者支援について説明できる	(1) う蝕の病因と予防法を説明できる (2) 乳歯のう蝕の特徴、為害性、罹患型と年齢別の好発部位を説明できる (3) 幼若永久歯のう蝕の特徴を説明できる (4) 小児の歯周組織の特徴を説明できる (5) 小児の歯肉炎・歯周炎を説明できる (6) 全身疾患や薬物が影響する歯周疾患を説明できる (7) 小児の口腔粘膜や歯肉・口唇に現れる疾患を説明できる (8) 唇顎口蓋裂の問題点と小児歯科の関わりを説明できる	教科書 1. の P53-65 を読んでくること (0.5 時間)	認知 (想起) (解釈)
6	10/27 (水) 2限	馬場	ユニット 6 中間試験 [講義]				
7	11/10 (水) 2限	馬場	ユニット 7 小児虐待 小児期の特徴と歯科的問題点 [講義]	1) 小児虐待について説明できる 2) 小児期の各時期の特徴と留意点と歯科疾患について説明できる	(1) 虐待の種類・頻度・起こる背景を説明できる (2) 身体的虐待による各部の所見を説明できる (3) ネグレクトとう蝕について説明できる (4) 歯科衛生士からのアプローチを説明できる (5) 小児期の特徴と歯科疾患を説明できる	教科書 1. の P66-77 を読んでくること (0.5 時間) 授業後に教科書で復習すること (0.5 時間)	認知 (想起) (解釈)
8	11/17 (水) 2限	馬場	ユニット 8 小児歯科における患者との対応法 [講義]	1) 患児・保護者・歯科医師歯科衛生士との関係を説明できる 2) 歯科診療室における小児の態度と行動を説明できる 3) 年齢別にみた小児の行動と対応法を説明できる 4) 歯科治療時の対応法を説明できる	(1) 小児歯科と成人歯科との対応法の違いについて説明できる (2) 小児の情動や考え方などの精神発達を理解し、年齢別対応法を説明する (3) 歯科診療室における小児の態度や行動に影響を及ぼす要因を説明する (4) 歯科診療室における小児の対応法の種類と概要を説明できる (5) 歯科衛生士として対応法の要点について説明できる (6) 小児歯科医療における緊急事態と偶発症を説明できる	教科書 1. の P78-95 を読んでくること (0.5 時間) 授業後に教科書で復習すること (0.5 時間)	認知 (想起) (解釈)
9	11/24 (水) 2限	田村	ユニット 9 小児歯科における診療体系① [講義]	1) 小児歯科診療とその特徴を説明できる 2) 小児歯科治療における原則を説明できる 3) 小児の口腔の診察・検査・診断を説明できる 4) 歯の健康教室について説明できる 5) 小児歯科における麻酔法を説明できる 6) 小児歯科診療室および器材の管理を説明できる	(1) 小児歯科診療の特徴を説明できる (2) 歯の健康教室の目的を説明できる (3) 局所麻酔を説明できる (4) 小児歯科診療における歯科衛生士の役割を説明できる (5) 歯科診療室の管理を説明できる (6) 小児歯科診療室で用いられる器材管理の工夫を説明できる	教科書 1. の P96-111、201-205 を読んでくること (0.5 時間) 授業後に教科書で復習すること (0.5 時間)	認知 (想起) (解釈)
10	12/1 (水) 2限	田村	ユニット10 小児歯科における診療体系② [講義]	1) 小児の歯冠修復を説明できる	(1) ラバーダム防湿を説明できる (2) 乳歯歯冠修復処置を説明できる (3) 乳前歯の全部修復を説明できる (4) 乳臼歯の全部修復を説明できる (5) 幼若永久歯の歯冠修復処置を説明できる (6) 診療に必要な器材と留意点を説明できる	教科書 1. の P112-123 を読んでくること (0.5 時間) 授業後に教科書で復習すること (0.5 時間)	認知 (想起) (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育 目標 領域
11	12/8 (水) 2限	馬場	ユニット11 小児歯科における 診療体系③ [講義]	1) 小児の歯内療法を説明できる 2) 小児の外科的処置を説明できる	(1) 乳歯歯髄疾患の種類とその処置を説明できる (2) 乳歯歯髄炎の診断を説明できる (3) 乳歯歯髄の処置を説明できる (4) 幼若永久歯の歯髄保存療法を説明できる (5) アペキシジェネシスを説明できる (6) アペキシフィケーションを説明できる (7) 乳歯の抜歯を説明できる (8) 抜歯後や服薬の注意事項について説明できる (9) 小手術を説明できる (10) 診療に必要な器材と留意点を説明できる	教科書 1. の P124-141 を読んでく ること (0.5 時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (想起) (解釈)
12	12/15 (水) 2限	馬場	ユニット12 小児歯科における 診療体系④ [講義]	1) 小児の歯の外傷の特徴および処置を説明できる 2) 咬合誘導を説明できる	(1) 乳歯・幼若永久歯外傷の問題点と処置を説明できる (2) 外傷の予防を説明できる (3) 保険の目的・保険装置の種類を説明できる (4) 能動的咬合誘導装置を説明できる (5) 保険装置の管理を説明できる (6) 診療に必要な器材と留意点を説明できる	教科書 1. の P141-149 を読んでく ること (0.5 時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (解釈) (問題 解決)
13	12/22 (水) 2限	柏村	ユニット13 小児歯科における 診療体系⑤ う蝕予防 [講義]	1) フッ化ジアンミン銀塗布を説明できる 2) リコールシステムの意義、管理を理解する 3) リコールの来院時に行う項目、間隔、時期を理解する 4) 小児のう蝕予防を説明できる	(1) フッ化ジアンミン銀塗布を説明できる (2) リコールシステムの意義、管理を説明できる (3) リコールの来院時に行う項目、間隔、時期を説明できる。 (4) 小児歯科におけるブラークコントロールの意義を説明できる	教科書 1. の P149-153 P169-174 を読んでく ること (0.5 時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (解釈) (問題 解決)
14	1/12 (水) 2限	柏村	ユニット14 う蝕予防 [講義]	1) 小児のう蝕予防を説明できる	(1) 小児におけるフッ化物の応用について説明できる (2) 小窩裂溝填塞法を説明できる (3) 代用甘味料を説明できる (4) う蝕予防のための食生活指導を説明できる	教科書 1. の P175-190 を読んでく ること (0.5 時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (解釈) (問題 解決)
15	1/19 (水) 2限	馬場	ユニット15 障害児の歯科診療 小児の口腔健康管理 [講義]	1) 障害児における歯科的対応 2) 主な障害とその全身的・歯科的特徴を説明できる 3) 障害児への対応 4) 小児の摂食・嚥下障害の特徴 5) 口腔健康管理の目的・方法を理解し必要な検査と指導が説明できる	(1) 障害児の特徴と健常児との違いを説明することができる。 (2) 知的障害（精神遅滞）について説明することができる (3) 障害児の歯科保健について説明することができる (4) 障害児の歯科治療について器材を説明することができる (5) 乳児期・幼児期・学童期・思春期における口腔健康管理の説明や指導ができる	教科書 1. の P154-168 P191-200 を読んでく ること (0.5 時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (想起) (問題 解決)

矯正歯科学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15コマ；30時間 1単位
 受験資格要件： 2/3(10コマ)以上の出席
 科目番号： DH011217
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 梶原弘一郎

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として歯列、咬合、口腔機能に基づいた口腔保健管理を実施するために正常咬合、不正咬合、矯正治療に関する知識を習得し、対象者の生活の質（QOL）の向上を図るための口腔の健康管理が出来る知識を修得する。

2. 教育方法 講義

大学病院等で、歯科医師として歯科矯正学に携わった実務経験を生かし実践的教育を行う。

3. 教育教材 教科書・プリント・PC とプロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定された教科書を必ず持参する。必要に応じて補足資料プリントを配布する。下記の予習項目に記載された教科書の該当箇所を読み、事前予習を行うこと。講義中の要点をノートに記載すること。講義後は、教科書や配布プリント等で講義内容の復習をその日のうちに行うこと。
 本講義を理解する上で、口腔解剖学、口腔病理学、口腔生理学等の知識が必要である。また本授業は小児歯科学、歯周病学、保存修復学、歯科補綴学、口腔外科学と関連があり、これらの科目の理解に不可欠である。
 [単位修得に必要な授業外学修時間：15時間]

5. 評価方法

[総括的評価] 記述試験（40％）・客観試験（60％）
 [フィードバック] 掲示により発表する。

6. 教科書

『最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 2 歯科矯正』医歯薬出版 2019

7. 参考書

歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2019

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標領域
1	9/24 (金) 2 限	梶原	オリエンテーション ユニット 1 矯正歯科治療の概要 講義	1) 矯正歯科治療の目的、歴史、治療の流れ、種類と開始時期を理解する。	(1) 矯正歯科治療に関心を持ち、矯正歯科の概念と内容を述べるができる。 (2) 矯正歯科治療における歯科衛生士の役割の概要について述べるができる。	教科書 1. の P2-6,9-12 を精読する 予習0.5時間、復習0.5時間	認知 (想起)
2	10/1 (金) 2 限	梶原	ユニット 2 不正咬合による障害 講義	1) 生理的障害、心理的障害について理解する。	(1) 不正咬合であることに対するリスクについて説明することができる。 (2) 矯正治療のベネフィットとリスクを説明できる。	教科書 1. の P6-9 を精読する 予習0.5時間、復習0.5時間	認知 (想起)
3	10/8 (金) 2 限	梶原	ユニット 3 成長発育 (1) 講義	1) 成長発育の概要を理解する。 2) 顎顔面頭蓋の成長発育を理解する。	(1) 成長発育の定義、パターン、評価を記述することができる。 (2) 顎顔面頭蓋の成長発育を説明することができる。	教科書 1. の P13-20 を精読する 予習0.5時間、復習0.5時間	認知 (解釈)
4	10/15 (金) 2 限	梶原	ユニット 4 成長発育 (2) 講義	1) 歯・歯列の成長発育について理解する。	(1) 歯の発生、乳歯列、混合歯列、永久歯列を説明することができる。 (2) 歯の発生、乳歯列、混合歯列、永久歯列を説明することができる。 (3) 歯の発生、乳歯列、混合歯列、永久歯列を説明することができる。	教科書 1. の P20-22 を精読する 予習0.5時間、復習0.5時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標 領域
5	10/22 (金) 2 限	梶原	ユニット 5 咬合 (1) 講義	1) 咬合について理解する。 2) 正常咬合を理解する。	(1) 咬合と下顎位、顎運動を説明することができる。 (2) 正常咬合の定義と種類、上下の歯の接触関係、正常咬合の成立、および保持条件を説明することができる。	教科書 1. の P23-28 を精読する 予習 0.5 時間、 復習 0.5 時間	認知 (想起)
6	10/29 (金) 2 限	梶原	ユニット 6 咬合 (2) 講義	1) 不正咬合について理解する。	(1) 歯・歯列・咬合の異常、歯列弓形態の異常、上下歯列弓関係の異常、不正咬合の分類について説明することができる。	教科書 2. の P28-33 を精読する 予習 0.5 時間、 復習 0.5 時間	認知 (解釈)
7	11/5 (金) 2 限	梶原	ユニット 7 不正咬合の原因 講義	1) 先天的原因を理解する。 2) 後天的原因を理解する。	(1) 全身的原因 (遺伝的・環境的要因)、局所的原因 (顔面形態、歯の形態・数の異常、舌の形態異常) を説明することができる。 (2) 全身的原因 (内分泌系疾患、栄養障害)、局所的原因 (歯の交換の錯誤、永久歯のう蝕・喪失、歯周疾患、不良習癖、鼻咽腔疾患、小帯の異常顎関節の異常、口腔腫瘍、外傷、不良修復物) を説明することができる。	教科書 2. の P33-37 を精読する 予習 0.5 時間、 復習 0.5 時間	認知 (想起)
8	11/12 (金) 2 限	梶原	ユニット 8 矯正診断 講義	1) 診断資料について理解する。	(1) 診断資料の種類、資料採得、資料の計測、分析診断法について説明することができる。	教科書 1. の P38-52 を精読する 予習 0.5 時間、 復習 0.5 時間	認知 (解釈)
9	11/19 (金) 2 限	梶原	ユニット 9 矯正力と組織反応 講義	1) 矯正力とその作用様式、組織反応を理解する。	(1) 適切な矯正力、歯の移動様式を説明することができる。 (2) 矯正力の作用様式 (大きさ、作用時間、作用、分布、作用方向) を説明することができる。 (3) 歯の移動に伴う組織反応を説明することができる。	教科書 1. の P53-60 を精読する 予習 0.5 時間、 復習 0.5 時間	認知 (想起)
10	11/26 (金) 2 限	梶原	ユニット 10 矯正用器材 講義	1) 矯正用材料・器機器材を理解する。	(1) 矯正治療に用いる材料の種類・特徴を説明することができる。 (2) 矯正治療に用いる器機・器具の種類と用途を説明することができる。	教科書 1. の P127-138 を精読する 予習 0.5 時間、 復習 0.5 時間	認知 (想起)
11	12/3 (金) 2 限	梶原	ユニット 11 矯正装置 (1) 講義	1) 矯正装置の種類と構造を理解する。	(1) 固定式、半可徹式、可徹式矯正装置を説明することができる。	教科書 1. の P64-79 を精読する 予習 0.5 時間、 復習 0.5 時間	認知 (想起)
12	12/10 (金) 2 限	梶原	ユニット 12 矯正装置 (2) 講義	1) 不正咬合と矯正装置の関係について理解する。	(1) 不正咬合別に用いる矯正装置を説明することができる。 (2) 機能的矯正装置、顎整形力を用いる装置、歯列弓拡大装置を説明することができる。	教科書 1. の P29-37、64-77 を精読する 予習 0.5 時間、 復習 0.5 時間	認知 (解釈)
13	12/17 (金) 2 限	梶原	ユニット 13 保定 講義	1) 保定の意義と方法を理解する。	(1) 保定の必要性、種類を説明することができる。 (2) 保定装置 (器械的保定装置の種類と構造) を説明することができる。	教科書 1. の P61-63、77-79 を精読する 予習 0.5 時間、 復習 0.5 時間	認知 (解釈)
14	1/14 (金) 2 限	梶原	ユニット 14 口腔習癖 講義	1) 不正咬合と口腔機能・口腔習癖との関連を理解する。	(1) 不正咬合と口腔機能 (摂食、嚥下) の関連を説明することができる。 (2) 口腔習癖の種類、原因、予防、治療法 (器具と訓練) を説明することができる。	教科書 1. の P21-22、35-37、76-77、173-181 を精読する 予習 0.5 時間、 復習 0.5 時間	認知 (想起)
15	1/21 (金) 2 限	梶原	ユニット 15 歯科衛生士の役割 講義	1) 矯正治療における診療補助と口腔衛生指導を理解する。	(1) 診療補助を説明することができる。 (2) 口腔衛生指導を説明することができる。	教科書 1. の P11、113-118、138-172 を精読する 予習 0.5 時間、 復習 0.5 時間	認知 (解釈)

歯科予防処置論 I

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 10 コマ：20 時間
 1 単位
 受験資格要件： 2/3（7 コマ）以上の出席
 科目番号： DH011221
 評価責任者： 松尾忠行
 担当教員： 力丸哲也、松尾忠行
 森沙耶香、川尻 望

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な齲蝕予防法や歯周病予防法に関する情報や知識を理論的に分析・考察するための科学的思考力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習・グループワークを行う。大学病院および歯科医院において、歯科衛生士および歯科医師として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：10時間】

5. 評価

[総括的評価]定期試験:記述試験（80%）平常評価：レポート・観察記録・授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（20%）

[フィードバック]試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

- 『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』第2版 医歯薬出版 2020
- 『新フッ化物で始める虫歯予防』医歯薬出版 2019
- 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版 2013

7. 参考書

- 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版 医歯薬出版 2017
- 『口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第4版』学建書院 2020
- 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2019

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	課題	力丸	ユニット1 歯科予防処置総論 講義	1) 歯科衛生士法における 歯科予防処置の範囲と業務内容を理解 する。	(1)口腔の健康管理に関心を持ち、歯科予防処置 の概念と内容を述べるができる。 (2)歯科予防処置の法的位置づけについて述べる ことができる。	教科書1.の P2-10をま とめる 予習1時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育 目標 領域
2	課題	森	ユニット 2 歯冠及び歯根の形態 理解 講義	1) 正常な歯・歯周組織 と口腔の機能につ いて理解する。	(1)正常な歯・歯周組織と口腔の機能について図 示し、説明することができる。 (2)歯種の分類と名称を理解し、記号に置き換え ることができる。 (3)口腔内を観察し、スケッチやチャートに記載 することができる。	教科書 1「口 腔の基礎知 識P12-17」 を精読し、 「歯・歯周組 織の構造 P12-16」お よび教科書 3「歯の形態 P148-179」 をまとめる 予習0.5時 間、復習0.5 時間	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運 動 (模倣)
3	課題		歯冠及び歯根の形態 理解 演習				
4	5/26 (水) 1限	力丸	ユニット 3 (歯周病予防の基礎 知識1) 歯周病の原因と進行 講義	1) 歯周病の原因と進行 について理解する。	(1)歯周病の定義、分類、原因、プロセスにつ いて説明することができる。	教科書1.の P12-17、 P28-31をま とめる 予習1時間	認知 (想起)
5	5/26 (水) 2限		歯周病予防の基礎知 識2 (歯周病のリスク評 価と予防方法) 講義	1) 歯周病のリスク評価 から対象者を把握 し、必要な予防法を 理解する。	(1)歯周病のリスクを判断することができる。 (2)対象者のリスクに合わせた予防法を説明す ることができる。	教科書1.の P 26-129、 P105-110 を精読する 予習1時間	認知 (想起)
6	5/27 (木) 1限	松尾	ユニット 4 う蝕予防の基礎知識 1 (う蝕の原因と進行) 講義	1) う蝕の原因と進行に ついて理解する。	(1)う蝕の定義、分類、原因、プロセスにつ いて説明することができる。	う蝕の分類、 原因を記載 すること(予 習0.5時 間・復習0.5 時間)	認知 (解釈)
7	5/27 (木) 2限	松尾	う蝕予防の基礎知識 2 (う蝕のリスク評価 と予防方法) 講義	1) う蝕のリスク評価か ら対象者を把握し、 必要な予防法を理 解する。	(1)う蝕のリスクを判断することができる。 (2)対象者のリスクに合わせた予防法の説明をす ることができる。	う蝕のリス ク評価を記 載すること (予習0.5 間・復習0.5 間)	認知 (解釈)
8	5/27 (木) 4限	森	ユニット 2 歯冠及び歯根の形態 理解 講義	1) 正常な歯・歯周組織 と口腔の機能につ いて理解する。	(1)正常な歯・歯周組織と口腔の機能について図 示し、説明することができる。 (2)歯種の分類と名称を理解し、記号に置き換え ることができる。 (3)口腔内を観察し、スケッチやチャートに記載 することができる。	教科書 1「口 腔の基礎知 識P12-17」 を精読し、 「歯・歯周組 織の構造 P12-16」お よび教科書 3「歯の形態 P148-179」 をまとめる 予習0.5時 間、復習0.5 時間	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運 動 (模倣)
9	6/3 (木) 4限	川尻	ユニット 5 歯科用器具の取り扱 い 講義	1) 歯科用器材・器具の 取り扱いを理解す る。	(1)適切な歯科用器材(ミラー・探針・ピンセット) の操作を説明できる。 (2) 歯科用器材(ミラー・探針・ピンセット)の管 理を説明できる。	教科書1.の P77-93、 P172-174、 予習1時間	認知
10	6/18 (金) 3限	川尻	ユニット 6 手用スクレーパーの種 類と操作法 講義	1) 手用スクレーパーの種 類と操作法を理解する。	(1)手用スクレーパーの種類と特徴を説明できる。 (2)シクルスクレーパーの操作方法を説明でき る。	教科書1.の P 130-155 をまとめる 予習1時間	認知 (想起)

歯科予防処置実習Ⅰ

開講時期： 1 年次前期
授業時間数： 20 コマ：40 時間
1 単位
受験資格要件： 4/5（16 コマ）以上の出席
科目番号： DH011223
評価責任者： 川尻 望
担当教員： 松尾 忠行、後藤加寿子
貴島 聡子、黒木まどか
川尻 望、森 沙耶香
高木未沙稀、永田 俊彦

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として多様な対象者を支援するために必要な齲蝕予防法や歯周病予防法に関する情報や知識を、理論に基づき論理的分析・考察する能力を修得する。また、歯および口腔の疾患を予防し健康な状態を維持・増進するための問題発見・解決能力を習得し、歯科予防処置技術を以って解決するスキルを身につける。

2. 教育方法

講義・演習・グループワークを行う。

大学病院、歯科医院において、歯科衛生士および歯科医師として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター 各種実習器材

4. 学修方法

実習には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。実習中は、重要点など記録すること。実習後は、アクティブラーニングとして事後学習（復習）を行い、技術を修得すること。レポート課題は、締め切り期日を守ること。授業は定刻に始まるので遅刻は欠席になる。本授業は、歯科診療補助論Ⅰ・実習Ⅰ、歯科保健指導論Ⅰ・実習Ⅰ、歯科予防処置論Ⅰ・実習Ⅱの理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：20時間】

5. 評価

〔形式的評価〕レポート、ミニテスト

〔フィードバック〕レポートは、不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。ミニテストは、次の回の講義時に答案を返却し、模範解答を示す。

〔総括的評価〕記述試験（80%）、実技試験（10%：ユニット3）、

授業参加状況（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等授業への貢献度）（10%）

〔フィードバック〕以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1 『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版 第2版 2020

2 『新フッ化物で始める虫歯予防』医歯薬出版 2019

7. 参考書

1 『最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版』医歯薬出版 2017

2 『口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第4版』学建書院 2020

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 復習項目 必要時間	教育 目標 領域
1	課題	川尻	ユニット 3 手用スケーラーの基本 操作1 机上訓練 カーブドシックルタイ プスケーラー・ミラ ー・探針の操作 実習	1) 手用スケーラーの種 類と操作法を理解 する	(1)シックルスケーラーを適切に操作でき る。 (マネキン模型上)	教科書1.の「手 用スケーラー の種類、把持 法、操作の基本 P184-200」を 精読し、受講後 「部位別設定 P184-200」を まとめる。 予習0.5時間・ 復習0.5時間 ×11	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
2	課題	川尻	手用スケーラーの基本 操作2 (マネキン実習) カーブドシックルタイ プスケーラー・ミラ ー・探針の操作 下顎 前歯部 実習				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
3	課題	川尻	手用スケーラーの基本 操作3 (マネキン実習) カーブドシックルタイ プスケーラー・ミラ ー・探針の操作 上顎 前歯部 実習				
4	5/28 (金) 2限	松尾 高木	口腔内における臨床検 査3 (カリオグラム・ペリ オスクリーン) 講義・グループワーク 演習	1) 口腔内の臨床検査に ついて理解する。	(1)う蝕活動性試験の評価結果(カリオグラ ム)をもとに、う蝕リスク診断についての考 え方が理解できる。 (2)歯周病に関連する検査を列挙できる。	う蝕活動性試 験の目的、種類 と特徴および 術式を記載す ること 予習0.5時間・ 復習0.5時間 ×5	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
5	6/3 (木) 1,2限	松尾 貴島 高木	ユニット4 口腔内における臨床検 査1				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
6			講義・グループワーク 演習				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
7	6/4 (金) 1,2限	松尾 川尻 高木	口腔内における臨床検 査2				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
8			講義・グループワーク 演習				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
9	6/10 (木) 1,2限	川尻 森 高木	ユニット 1 マネキンの取り扱い 実習	1) マネキンの取り扱 いおよび歯牙模型の取 り扱いを理解する。	(1)適切にマネキン操作ができる。 (2)適切に歯牙模型の使用、管理ができる。	教科書1.の「 口腔の構成 要素P16-27」、 「基本設定 P184-186」 を精読する。 予習0.5時間・ 復習0.5時間× 2	認知 (想起) 情意 (受入)
10							
11	6/11 (金) 1,2限	川尻 後藤 森 高木	ユニット 2 歯科用器具の取り扱い 講義	1) 歯科用器材・器具の 取り扱いを理解す る。	(1)適切な歯科用器材(ミラー・探針・ピンセ ット)の操作を実施できる。 (2) 歯科用器材(ミラー・探針・ピンセット) の管理を実施できる。	教科書1.の「歯 面の付着物・沈 着物P137- 138」を精読 し、受講後ま とめる。予習0.5 時間・復習0.5 時間×2	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
12							
13	6/22 (月) 1限	川尻 黒木 高木 永田	手用スケーラーの基本 操作4 (マネキン実習) カーブドシックルタイ プスケーラー・ミラ ー・探針の操作 左下臼歯部 実習	1) 手用スケーラーの種 類と操作法を理解 する	(1)シックルスケーラーを適切に操作でき る。 (マネキン模型上)	教科書1.の「手 用スケーラー の種類、把持 法、操作の基本 P184-200」を 精読し、受講後 「部位別設定 P184-200」を まとめる。 予習0.5時間・ 復習0.5時間× 11	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
14	6/24 (木) 1限	川尻 黒木 高木 永田	手用スケーラーの基本 操作5 (マネキン実習) カーブドシックルタイ プスケーラー・ミラ ー・探針の操作 右下臼歯部 実習				

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 復習項目 必要時間	教育 目標 領域
15	6/29 (火) 1限	川尻 黒木 高木 永田	手用スケーラーの基本 操作6 (マネキン実習) カーブドシックルタイ プスケーラー・ミラ ー・探針の操作 ; 下顎全顎1 実習		実技試験日程:		認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
16	7/1 (木) 1限	川尻 黒木 高木 永田	手用スケーラーの基本 操作7 (マネキン実習) カーブドシックルタイ プスケーラー・ミラ ー・探針の操作 ; 下顎全顎2 実習				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
17	7/6 (火) 1限	川尻 黒木 高木 永田	手用スケーラーの基本 操作8 (マネキン実習) カーブドシックルタイ プスケーラー・ミラ ー・探針の操作 ; 左上臼歯部 実習				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
18	7/7 (水) 1限	川尻 黒木 高木 永田	手用スケーラーの基本 操作9 (マネキン実習) カーブドシックルタイ プスケーラー・ミラ ー・探針の操作 右上臼歯部 実習				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
19	7/8 (木) 1限	川尻 黒木 高木 永田	手用スケーラーの基本 操作10 (マネキン実習) カーブドシックルタイ プスケーラー・ミラ ー・探針の操作 上顎全顎1 実習		授業評価アンケート実施		認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
20	7/8 (木) 2限		手用スケーラーの基本 操作11 (マネキン実習) カーブドシックルタイ プスケーラー・ミラ ー・探針の操作 上顎全顎2 実習				

歯科予防処置実習Ⅱ

開講時期： 1 年次後期
授業時間数： 20 コマ；40 時間
1 単位
受験資格要件： 4/5（16 コマ）以上の出席
科目番号： DH011224
評価責任者： 黒木 まどか
担当教員： 松尾 忠行、後藤加寿子、
黒木まどか、森 沙耶香、
川尻 望、高木未沙稀、
永田 俊彦、泉 喜和子、
貴島 聡子

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として多様な対象者を支援するために必要な齲蝕予防法や歯周病予防法に関する情報や知識を理論に基づき論理的分析・考察する能力を修得する。また、歯および口腔の疾患を予防して健康な状態を維持・増進するために問題発見・解決能力を修得し、歯科予防処置技術を以って解決するスキルを身につける。

2. 教育方法

講義・演習・グループワークを行う。

大学病院、歯科医院において、歯科衛生士および歯科医師として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター 各種実習器材

4. 学修方法

実習には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。実習中は、重要点など記録すること。実習後は、アクティブラーニングとして事後学習（復習）を行い、技術を修得すること。レポート課題は、締め切り期日を守ること。授業は定刻に始まるので遅刻は欠席になる。本授業を理解する上で、口腔解剖学、口腔生理学、歯科予防処置論Ⅰ・実習Ⅰ、保健指導論Ⅰ・実習Ⅰの知識が必要であり、本授業は歯周病治療学、歯科予防処置論Ⅱ・実習Ⅲ・実習Ⅳ、歯科保健指導論Ⅱ・実習Ⅱ・実習Ⅲの理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：20時間】

6. 評価

〔形成的評価〕レポート、ミニテスト

〔フィードバック〕レポートは、不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。

ミニテストは次の回の講義時に答案を返却し、模範解答を示す。

〔総括的評価〕記述試験（80%）、実技試験（10%；ユニット1）、

授業参加状況（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等授業への貢献度）（10%）

〔フィードバック〕以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

7. 教科書

1 『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』第2版 医歯薬出版 2020

2 『新フッ化物で始める虫歯予防』医歯薬出版 2019

8. 参考書

1 『最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版』医歯薬出版 2017

2 『口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第4版』学建書院 2020

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と復 習項目 必要時間	教育 目標 領域
1	9/21 (火) 3限	黒木 川尻 高木 永田	ユニット1 手用スケーラーの 基本操作1 (マネキ ン実習) キュレットスケーラ ー 講義	1) キュレットスケー ラー・スケーラーの種類 と操作法を理解する。	(1) キュレットスケーラーの種類と特徴を説 明できる。 (2) キュレットスケーラーの操作方法を説明 できる。	教科書1の 「キュレット スケーラー P154-155」 「部位別操作 P140-153」 を精読する。 予習0.5時 間・復習0.5 時間×1	認知 (想起) 情意 (受入)
2	9/28 (火) 3限	黒木 森 高木 永田	ユニット1 手用スケーラーの 基本操作2 (マネキン実習) キュレットスケーラ ー 下顎前歯部 実習	1) キュレットスケー ラー・スケーラーの種類 と操作法を理解する。	(1) キュレットスケーラーの種類と特徴を説 明できる。 (2) キュレットスケーラーの操作方法を説明 できる。	教科書1の 「キュレット スケーラー P154-155」 「部位別操作 P140-153」 をまとめる。 予習0.5時 間・復習0.5 時間×8	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
3	9/28 (火) 4限	黒木 森 高木 永田	ユニット1 手用スケーラーの 基本操作3 (マネキン実習) キュレットスケーラ ー 上顎前歯部 実習				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
4	9/30 (木) 3限	黒木 川尻 高木 永田	ユニット1 手用スケーラーの 基本操作4 (マネキン実習) キュレットスケーラ ー 左下臼歯部 実習				
5	9/30 (木) 4限	黒木 川尻 高木 永田	ユニット1 手用スケーラーの 基本操作5 (マネキン実習) キュレットスケーラ ー 右下臼歯部 実習		実技試験日程:1 10/ () 3,4限 担当者: 黒木、		認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
6	A班 10/1 (金) 3,4限	A班 後藤 泉 川尻 森 高木	ユニット2 口腔内カメラ 講義	1) 口腔内規格写真用 カメラの取り扱いを 理解する。 2) 口腔内規格写真に ついて理解する。	(1)口腔内写真の撮影と管理を実施できる。 (2)口腔内規格写真について説明できる。	教科書1. の P166-168 参考書1. の P92-94を精 読する。 受講後、撮影 した写真を並 べ資料として まとめる。 予習0.5時 間・復習0.5 時間×4	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
7	B班 10/7 (木) 3,4限	B班 後藤 貴島 森 川尻 高木					
8	A班 10/8 (金) 3,4限	A班 後藤 泉 川尻 森 高木	ユニット2 口腔内カメラ 実習				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
9	B班 10/19 (火) 3,4限	B班 後藤 泉 貴島 川尻 高木	ユニット2 口腔内カメラ 実習				

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と復 習項目 必要時間	教育 目標 領域
10	10/12 (火) 3限	黒木 森 高木 永田	ユニット1 手用スケーラーの 基本操作6 (マネキン実習) キュレットスケーラ ー 左上臼歯部 実習	1) キュレットスケー ラー・スケーラーの種類 と操作法を理解する。	(1) キュレットスケーラーの種類と特徴を説 明できる。 (2) キュレットスケーラーの操作法を説明 できる。	教科書1の 「キュレット スケーラー P154-155」 「部位別操作 P140-153」 をまとめる。 予習0.5時 間・復習0.5 時間×8	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
11	10/12 (火) 4限	黒木 森 高木 永田	ユニット1 手用スケーラーの基 本操作7 (マネキン実習) キュレットスケーラ ー 右上臼歯部 実習				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
12	10/14 (木) 3限	黒木 川尻 高木 永田	ユニット1 手用スケーラーの基 本操作8 (マネキン実習) キュレットスケーラ ー 全顎1 実習				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
13	10/14 (木) 4限	黒木 川尻 高木 永田	ユニット1 手用スケーラーの基 本操作9 (マネキン実習) キュレットスケーラ ー 全顎2 実習				
14	11/18 (木) 3,4限	松尾 真島 森 川尻	ユニット4 口臭測定 講義 実習	1)口臭測定の意義につ いて理解する。	(1)口臭の検査法(官能試験、口臭測定器)に ついて列挙できる。 (2)官能試験の方法を説明できる。 (3)口臭測定器(オーラルクロマ)の測定方法 を説明できる。	口臭検査法お よび官能試 験、オーラル クロマの測定 方法を記載す ること(参照 ;教科書1 P100-101) 予習0.5時 間・復習0.5 時間×2	認知 (解釈) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
15							
16	12/3 (金) 3限	松尾 森	ユニット5 フッ化物応用 1 フッ化物洗口 実習	1) フッ化物洗口につ いて理解する。	(1)フッ化物によるう蝕予防効法を説明でき る。 (2)フッ化物洗口について目的、方法を説明で きる。 (3)フッ化物洗口を実施できる。	フッ化物洗口 法の目的、方 法を記載する こと(参照; 教科書1P 184-200) 0.5時間 予習0.5時 間・復習0.5 時間×1	認知 (解釈) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
17	12/3 (金) 4限	森 高木	ユニット5 フッ化物応用 2 フッ化物歯面塗布 講義	1) フッ化物歯面塗布 について理解する。	(1)フッ化物によるう蝕予防効法を列記でき る。 (2)フッ化物歯面塗布について目的、方法を列 記できる。	教科書1の P229-237. P249-254を 精読する 予習0.5時 間・復習0.5 時間×4	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
18	1/18 (火) 2,3,4 限	森 真島 川尻 高木	ユニット5 フッ化物応用 2 フッ化物歯面塗布 相互実習		(1)フッ化物によるう蝕予防効法を説明でき る。 (2)フッ化物歯面塗布について目的、方法を説 明できる。 (3)フッ化物歯面塗布を実施できる。		
19							
20					授業評価アンケート実施		

歯科保健指導実習Ⅰ

開講時期：	1 年次前期
授業時間数：	15 コマ；30 時間 1 単位
受験資格要件：	4/5（12 コマ）以上の出席
科目番号：	DH011235
評価責任者：	堀部 晴美
授業担当者：	堀部 晴美、貴島 聡子 石井 綾子、高木末沙稀 川尻 望

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として個人を対象に、根拠や理論に基づいた口腔保健管理を行うために必要な情報や知識を収集し、論理的に分析、考察するために必要な科学的思考力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習・相互実習・グループワーク・発表等のアクティブラーニングを行う。
病院歯科開業医等において、歯科衛生士として行った歯科保健指導の実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC + プロジェクター

4. 学修方法

授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席となる。授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。
授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。グループワークや発表等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げること。
本授業を理解する上で、口腔衛生学、口腔微生物学、口腔組織学等の知識が必要であり、本授業は主要3科目の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

- 【形成的評価】ミニテスト・レポート
- 【フィードバック】不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習として授業開始直後に、また、学修した内容の確認として授業終了時に実施する。内容の振り返りは、その時間、または、次の回の講義時に行う。
- 【総括的評価】定期試験：記述試験（70%）、ミニテスト・レポート（10%）、観察記録・授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（20%）
- 【フィードバック】試験結果（成績）は試験終了後に掲示する。
尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

- 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 第2版 2020
- 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 第2版 医歯薬出版 2018

7. 参考書

- 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 2018
- 最新歯科衛生士教本 歯科材料学 第2版 医歯薬出版 2018
- 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2019
- 歯科衛生学辞典 永末書店 2019

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 [授業方法]	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標 領域
1	課題	石井 堀部	オリエンテーション ユニット 1 定義と法的な位置づけ 講義・グループワーク	1) 歯科保健指導の定義と 歯科衛生士の役割について理解する。	(1) 歯科保健指導の内容について述べるができる。 (2) 生活行動と保健行動の違いについて説明できる。 (3) 歯科保健指導で果たす歯科衛生士の役割を説明できる。 (4) 個人・集団に対する歯科保健指導技術について説明できる。	教科書 1. P2-7 を精読する 確認テストを実施 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
2	課題	堀部 高木	ユニット 4 各種口腔清掃用具の 基礎知識 1 講義・演習	1) 手用歯ブラシおよび歯 磨剤について理解する。	(1) 歯ブラシの種類と特徴について説明できる。 ・手用歯ブラシ ・電動歯ブラシ、音波ブラシ、超音波ブラシ (2) 歯磨剤について説明できる。 ・フッ化物配合歯磨剤 洗口剤の基本的使用法並びに効果的使用 法について説明できる。	教科書 1.P205- 214、227- 228 を 精読する 予習1 時間 復習1時間	認知 (想起) 情意 (受入)
3	5/25 (火) 1限	堀部	ユニット 2 歯科保健指導実施の ための基礎知識 2 行動変容 食生活指導 演習	1) 食生活指導の基礎を理解する。 ・食生活および食習慣の把握 ・咀嚼と食品	(1) 近年の食生活の特徴と問題点を述べることができる。 ・肥満者の増加 (BMI による評価) ・適切な脂肪、塩分摂取量 ・野菜・食物繊維、カルシウムの不足 (2) 咀嚼の仕組みを説明できる。 (3) よく噛むことの効用について述べるができる。	教科書 1. P39-44、55- 58 をまとめる 教科書 2 の P3-10 を精 読する 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
4	5/28 (金) 1限	堀部	ユニット 2 歯科保健指導実施の ための基礎知識 3 行動変容 食生活指導 講義・演習	1) 食品とう蝕の関係性を 理解する。	(1) 砂糖とう蝕の関連性を説明できる。 ・Keyes の 3 つの輪、Newbrun の 4 つの 輪 (2) 食品濃色誘発性について説明できる。 (3) 代用甘味料について分類できる。 (4) う蝕予防のための食品摂取法について提案 できる。	教科書 1. P45-55 をま とめる 口腔衛生学 P49-51,115- 119 を精読する 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
5	6/16 (水) 1限	堀部 貴島	ユニット 3 歯科衛生過程 1 講義	1) 歯科保健指導の流れを 理解する。	(1) 歯科衛生過程の基本的な考え方を説明できる。 ・歯科衛生過程の 6 つの構成要素 (2) 情報収集の目的や得られる情報について説明 できる。 ・主観的情報と客観的情報 (3) 歯科衛生診断について説明ができる。 ・歯科衛生診断のタイプ ・優先順位(プロブレムリスト)	教科書 1.P62- 67 をまとめる 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
6	6/16 (水) 2限	堀部 貴島	ユニット 3 歯科衛生過程 2 講義	1) 歯科保健指導の流れを 理解する。	(4) 歯科衛生計画について説明できる。 ・目標と計画の立案 (5) 歯科衛生介入(計画の実施) について説明で きる。 ・歯科衛生介入時の記録の取り方 (6) 歯科衛生評価について説明できる。 (7) 歯科衛生過程の書面化について説明できる。	教科書 1.P67- 70 をまとめる 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)
7	7/8 (木) 4限	堀部 高木	ユニット 4 各種口腔清掃用具の 基礎知識 1 講義・演習	1) 手用歯ブラシおよび歯 磨剤について理解する。	(3) 歯ブラシの種類と特徴について説明できる。 ・手用歯ブラシ ・電動歯ブラシ、音波ブラシ、超音波ブラシ (4) 歯磨剤について説明できる。 ・フッ化物配合歯磨剤 (5) 洗口剤の基本的使用法並びに効果的使用法 について説明できる。	教科書 1.P205- 214、227- 228 を 精読する 予習1 時間 復習1時間	認知 (想起) 情意 (受入)
8 9	7/15 (木) 1,2限	堀部	ユニット 4 各種口腔清掃用具の 基礎知識 2 講義	1) 補助的の清掃用具につ いて理解する。	(6) 各種補助的の清掃用具の種類と特徴、適応に ついて説明できる。 ・デンタルフロス ・歯間ブラシ ・タフトブラシ	教科書 1.P215- 226 を精読す る 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (想起) 情意 (受入)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 [授業方法]	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標 領域
10	7/15 (木) 4限	堀部	ユニット 5 各種口腔清掃用具の 操作法 1.2 演習・AL	1) 各種ブラッシング法の特徴を理解する。 2) 補助的清掃用具の操作法を理解する。	(1) 各種ブラッシング法の特徴について説明できる。 ・毛先を使用する方法 ・脇腹を使用する方法 (2) 各種補助的清掃用具を操作できる。 ・デンタルフロス ・歯間ブラシ ・タフトブラシ	教科書 1.P 216-221、口腔衛生学 P37-39 を精読する 予習0.5 時間 復習(説明用の資料を仕上げる)1.5時間	認知 (想起) 精神運動 (模倣) 情意 (受入)
11 12	7/30 (金) 1,2限	堀部 川尻 高木	ユニット 6 歯科衛生計画の手法 口腔清掃法の指導の 要点 グループワーク A.L	1) 各種ブラッシング法ならびに補助的清掃用具の操作法を伝える技術を理解する。	(1) 各種ブラッシング法ならびに補助的清掃用具の操作法について指導案の作成ができる。 ・毛先を使用する方法 ・脇腹を使用する方法 ・各種補助的清掃用具	ユニット 5 の内容をまとめる 予習1 時間 復習1時間	認知 (想起) 情意 (受入)
13 14	8/3 (火) 3,4限	堀部 貴島 高木	ユニット 5 各種口腔清掃用具の 操作法 3.4 講義	1) 各種ブラッシング法ならびに補助的清掃用具の操作法と操作上の注意点を理解する。	(1) 各種ブラッシング法ならびに補助的清掃用具の操作することができる。 ・毛先を使用する方法 ・脇腹を使用する方法 ・各種補助的清掃用具 (2) 各種ブラッシング法ならびに補助的清掃用具の操作上の注意点を説明することができる。	ユニット 6 の指導案の内容をまとめる 予習1時間 復習1時間	認知 (想起) 精神運動 (模倣) 情意 (受入)
15	8/4 (水) 3限	堀部 貴島	ユニット7 講義	1) 口腔保健管理を行うために必要な情報について理解する。	(1) 歯科保健指導に必要な情報や知識を収集し、個人を対象とした口腔保健管理の手法を理解する。	教科書、講義 プリントで保健指導実習 I の内容を復習する。1時間	認知 (想起) 情意 (受入)

歯科保健指導実習Ⅱ

開講時期： 1 年次後期
授業時間数： 15 コマ： 30 時間
1 単位
受験資格要件： 4/5（12 コマ）以上の出席
科目番号： DH011236
評価責任者： 石井 綾子
担当教員： 堀部 晴美、石井 綾子
貴島 聡子、高木未沙稀
森 沙耶香、川尻 望

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として対象者が抱える問題を発見・解決するための根拠や理論に基づいた口腔保健管理の手法を活用し、対象者に合わせた口腔の健康管理が実践できる能力を修得する。なお初年時教育として、レポートの書き方、実習での心構えなど学修を行う。

2. 教育方法

講義・演習・実習・グループワーク・アクティブラーニング、発表を行う。
歯科医療機関において歯科医師あるいは歯科衛生士として診療に携わった実務経験を生かした実践教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC、プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。授業は定刻に開始するので遅刻は欠席になる。本授業を理解するうえで、歯科予防処置論、口腔衛生学、解剖学、保存修復学の理解が必要である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

[形成的評価] レポート 保健指導用媒体資料

[フィードバック] 不十分な部分についてコメントを行う。必要に応じて再提出を求める。

[総括的評価] 記述試験（70%） レポート（20%） 授業態度・グループワークでの発言や参加（10%）

[フィードバック] 以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

尚、詳細は各ユニットの初日に説明する。

6. 教科書

1. 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 第2版2020
2. 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 第2版 医歯薬出版 2018

7. 参考書

- 1 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 2018
- 2 最新歯科衛生士教本 歯科材料学 第2版 医歯薬出版 2018
- 3 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2018

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1 2	10/15 (金) 3,4限	堀部 貴島 高木	オリエンテーシ ョン ユニット1-1 歯科衛生過程の中 の歯科衛生アセス メントの手法 講義・演習	1) 歯科衛生アセスメン トのための情報収集 と情報処理を理解す る。	(1) 情報収集の目的や得られる情報を説明で きる。 ・情報収集の目的と項目 ・情報収集のポイント (2) 医療面接の目的を説明できる。 ・問診と医療面接の違い ・医療面接の目的 ・治療への動機づけ	教科書1. P77-82を精 読し、情報収 集の項目、共 感的態度、傾 聴について 調べる。 1時間	認知 (早期) 精神運動 (模倣)
3 4	11/11 (木) 3,4限	石井 貴島	ユニット2-1 歯科衛生過程の中 の歯科衛生診断の 手法 講義・演習	1) う蝕と歯周病のリス クを理解する。 2) リスクを基にした指 導の立案法を理解す る。	(1) う蝕と歯周病のリスクに応じた指導が立 案できる。 指導案の作成 ・う蝕の成り立ちと予防法 ・歯周病の成り立ちと予防法	教科書1. P25-32、口 腔衛生学P 41-89を精 読し、う蝕と 歯周病につ いてまとめ る。 1時間	認知 (早期) 精神運動 (模倣)
5 6	11/26 (金) 3,4限	石井 森 高木	ユニット3-1 歯科衛生アセスメ ントの手法 口腔内の評価法1 (分析のためのデー タ収集) 講義・演習	1) 口腔内の汚れと歯肉 の炎症の評価法を 理解する。	(1) プラークの付着状態についての各種評価 法を説明できる。 ・OHI、OHI-S ・PCR (2) 歯肉の炎症の評価法を説明できる。 ・PMA口腔清掃状態の指標を説明できる。 (PCR、OHI、OHI-S) (3) 汚れの染色について説明できる。 (4) う蝕経験に関する指標について説明でき る。	教科書1. P101-107 をまとめる 1時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
7 8	11/30 (火) 3,4限	石井 森 高木 川尻	ユニット3-3 歯科衛生診断の手 法 口腔内の評価法3 講義・演習	2) プラークコントロー ルの手法を理解す る。	(1) 自分の口腔内を観察できる。 (2) 染色剤の取り扱いを実施できる。 (3) 自分の口腔清掃状況を評価できる。 (4) 自分の口腔清掃状況を客観評価できる。	ユニット 3-1の評価 法を理解す る。 1時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
9 10 11	12/7 (火) 1～3限	石井 川尻 森 高木	ユニット4 歯科衛生診断およ び介入の手法 3人1組による相互 実習 実習	1) 対象者の口腔内を理 解する。 2) 口腔保健管理におけ るセルフケアとプロ フェッショナルケア を理解する。	(1) 患者の口腔内を観察できる (2) 患者の口腔清掃状況を把握できる。 (口腔内写真含む) (3) 患者のブラッシング法を観察できる。 (4) 患者の口腔清掃状況を評価できる。	これまでに 学んだ内容 をまとめる。 1時間	情意 (精神運 動 (コン ト ロール)
12 13	12/17 (金) 3,4限	石井 川尻 森 高木	ユニット5 歯科衛生アセスメ ントの手法 口腔からの情報分 析 講義・演習	1) データの評価方法を 理解する。 2) 口腔保健管理のため の記録の作成法を理 解する。	(1) 口腔内観察・航空清掃状況などの情報から 患者にあった口腔衛生指導案を作成できる。	評価に必要な データを揃 える。 1時間	精神運動 (コン ト ロール)
14 15	1/21 (金) 3,4限	石井 川尻 森 高木	ユニット6 歯科衛生介入 実習	1) 口腔内の変化を理解 する。	(1) 前回収集したデータと比較して、変化を述 べることができる。 (2) 口腔衛生指導案を元に、口腔衛生指導を行 うことができる。	再評価の結果 をまとめる。 1時間	精神運動 (コン ト ロール)

歯科診療補助論 I

開講時期： 1 年次前期
授業時間数： 10コマ；20時間
1 単位
受験資格要件： 2/3（6コマ）以上の出席
科目番号： DH011241
評価責任者： 森 沙耶香
授業担当者： 川尻 望、森 沙耶香
石井綾子、高木未沙稀

1. 一般目標

将来、多様な対象者を支援し、高度な歯科医療に対応するために、専門職として歯科診療の補助に関する必要な知識・技術を修得する態度、および論理的思考の基礎を修得する。

2. 教育方法

講義・演習・グループワークを行う。

総合病院、高齢者施設、開業医等における歯科医師・歯科衛生士としての実務経験に基づいて、臨床の場で生かせる実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC + プロジェクター

4. 学修方法

授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席となる。授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。

本授業を理解する上で、歯周保存修復・歯内治療学、歯科補綴学等の知識が必要であり、本授業は歯科予防処置実習、歯科診療補助実習、歯科保健指導実習の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：10 時間】

5. 評価方法

【形成的評価】確認テスト・レポート

【フィードバック】不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。確認テストは模範解答を示す。

【総括的評価】定期試験：記述試験（80%）、確認テスト・レポート・観察記録・授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（20%）

【フィードバック】試験結果（成績は）試験終了後に掲示する。

尚、詳細は講義の中で説明する。

6. 教科書

1 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版2018

7. 参考書

1 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 2018

2 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士概論 医歯薬出版 2012

3 新歯科衛生士教育マニュアル 歯科臨床の基礎と概論 クインテッセンス出版 2016

4 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編 クインテッセンス出版 2018

5 新歯科衛生士教育マニュアル 歯内療法 クインテッセンス出版 2018

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目・ 事後学習と 必要時間	教育目標 領域
1	課題	堀部	ユニット 1 診療補助総論 定義と法的な位置づけ [講義]	1) 歯科診療補助の概念と 歯科衛生士法における 法的位置づけについて 理解する。	(1)歯科診療補助の業務内容と法的解釈を説明 できる。 (2)診療の補助で行う医療職種とその業務につ いて説明できる。 (3)保健医療制度での補助行為に関する業務概 要について説明できる。	教科書 1. の P2-6 を精読 する 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (想起)
2	課題	森	ユニット 5 医療安全と感染予防 4 薬品・歯科材料の管理 [講義]	1) 歯科薬品や材料の管理 を理解する。	(1)歯科薬品や材料の適切な管理を説明でき る。	教科書 1のP 96-98 を精読 する 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (解釈)
3	6/9 (水) 1限	森 高木	ユニット 2 医療安全と感染予防 1 感染予防対策 [講義]	1) 医療安全と感染予防対 策について理解する。	(1)医療安全の概念とその対策を説明できる。 (2)インシデント・アクシデント報告の目的を 具体的に述べることができる。 (3)歯科医療における感染症に概念とその対策 を説明できる。 (4)スタンダードプレコーションを具体的に説 明できる。	教科書 1 のP7- 12. P 18-27 を精読する 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (想起)
4	6/9 (水) 2限	森 高木	ユニット 3 医療安全と感染予防 2 医療廃棄物の取り扱い [講義]	2) 医療廃棄物の取り扱いを 理解する。	(1) 医療廃棄物の分類と分別を説明できる。	教科書 1 の P44-49 を精 読する 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (解釈)
5	6/10 (木) 4限	森	ユニット 4 医療安全と感染予防 3 滅菌・消毒 [講義]	1) 滅菌と消毒を理解す る。	(1)滅菌と消毒の定義が説明できる。 (2)滅菌、消毒、洗浄の方法について説明でき る。	教科書 1 の P32-43 を精 読する 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (想起)
6	6/17 (木) 1限	川尻 森 高木	ユニット 6 衛生材料の取り扱い(綿栓 作成) [講義・演習]	1) 根管処置用器材の取り 扱いを理解する。 2) 衛生材料の取り扱いを 理解する。	(1)歯科衛生材料について概説できる。 (2)根管処置用器材の取り扱いについて説明で きる。 ブローチ綿栓を作製できる。	参考書 5 の P 82-89を精読 する 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
7	6/18 (金) 1限	森	ユニット 7 診療室で扱う歯科材料印 象材) [講義]	1) 印象材の特徴、種類、 用途を理解する。	(1) 印象材の特徴、種類、用途を説明できる。	教科書 1のP 192-202 を精 読する 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (想起)
8	7/2 (金) 4限	石井 高木	ユニット 8 医療安全と感染予防 4 歯科診療における基礎知 識 1 診療設備 [講義・演習]	1) 歯科診療室の環境、設備 について理解する。	(1)歯科診療室の環境・設備について説明でき る。 (2)歯科用チェアユニットの各部の名称と使用 の注意点について示すことができる。	教科書 1 の P50-56 を精 読する 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
9	7/13 (火) 1限	石井 高木	ユニット 9 歯科診療における基礎知 識 2 (共同動作) ポジショニングライティ ング [講義・演習]	1) 歯科診療における共同 動作を理解する。 ポジショニング・ライテ ィング)	(1)共同動作の概念を述べることができる。 (2)適切なポジショニングを示すことができ る。 (3)適切なライティングを示すことができる。	教科書 1のP 63-67 を精読 する 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
10	7/20 (火) 1限	石井 高木	ユニット 10 歯科診療における基礎知 識 3 (共同動作) [講義]	1) 歯科診療における共同 動作を理解する。 バキューム操作・フォー ハンドットデンティスト リー)	(1)バキュームの基本動作を説明できる。 (2)フォーハンドットデンティストリーについ て説明できる。	教科書 1のP 67-69. P 71- 77を精読する 予習0.5 時間 復習0.5時間	認知 (想起)

歯科材料学

開講時期： 1年次前期
 授業時間数： 15コマ；30時間1単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH011243
 評価責任者： 堀部 晴美
 授業担当者： 川口 稔

1. 一般目標

本授業では臨床で使用されるさまざまな歯科材料について、その所要性質や物理・化学的な性質を学ぶ。これらの基礎的知識を習得することによって、臨床の場における適切な歯科材料の取り扱い方法を論理的に分析・考察する科学的思考力を習得する。そして習得内容に立脚した専門手知識を発展させ他職種との協働・連携が可能な歯科衛生士のリーダーを目指す。

2. 教育方法

講義を行う。必要に応じて実際の材料や器具を用いて示説を行う。

3. 教育教材

教科書、配布プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

毎回視覚素材を含むプリントを配布するので、各自で授業内容を記録したノートと相互活用すること。本授業では多くの種類の材料に関して解説するため、必ず前回の授業内容を復習の上、次回の授業に臨むこと。さらに授業終了時に次回の授業内容の概要を説明するので、次回の授業では、指示された内容に関する予習をしていることを前提に開始する。本授業は歯科診療補助実習の理解に不可欠である。

〔単位修得に必要な授業外学修時間：15時間〕

5. 評価方法

〔形成的評価〕ミニテスト

〔フィードバック〕ミニテストの結果に基づき、理解が不十分な部分についてコメントを付して返却する。

〔総括的評価〕記述試験（80%）・客観試験（ミニテスト）（10%）・授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（10%）

〔フィードバック〕試験結果のフィードバックは採点后に解答例を開示し、今後の関連科目の学習に必要な注意点などを掲示する。

6. 教科書

1. 『最新歯科衛生士教本 歯科材料』医歯薬出版 2017

7. 参考書

1. 『イラストと写真でわかる歯科材料の基礎』永末書店 2017

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 〔授業方法〕	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/12 (月) 2限	川口	ユニット1 歯科材料の種類 〔講義〕	1) 金属、無機、有機材料の違いを理解する。	(1) 金属材料の特徴を説明できる。 (2) 無機材料の特徴を説明できる。 (3) 有機材料の特徴を説明できる。	それぞれの材料の特徴を比較してまとめること（復習1時間）	認知 (想起)
2	4/16 (金) 3限	川口	ユニット2 歯科材料の基本的性質（1） 〔講義〕	1) 材料の力学的性質を理解する。 2) 材料の物理的性質を理解する。	(1) 材料の機械的性質を説明できる。 (2) 材料の比重や熱的性質特徴を説明できる。	材料の機械的性質と熱的性質の特徴を表す用語についてまとめること（復習0.5時間） 化学的性質についての予習（予習0.5時間）	認知 (想起)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
3	4/19 (月) 2限	川口	ユニット3 歯科材料の基本性質 (2) [講義]	1) 材料の化学的性質を理解する。 2) 材料の生物学的性質を理解する。	(1) 材料の硬化反応や腐食を説明できる。 (2) 口腔内での安全性を説明できる。	材料の化学的性質と生物学的性質の特徴を表す用語についてまとめること (復習0.5時間) 印象材についての予習 (予習0.5時間)	認知 (想起)
4	4/26 (月) 2限	川口	ユニット4 印象材 (1) [講義]	1) 印象材の種類を理解する。 2) ハイドロコロイド印象材の特徴を理解する。	(1) アルジネート印象材の特徴を説明できる。 (2) 寒天印象材の特徴を説明できる。	ハイドロコロイド印象材の特徴を表す用語についてまとめること (復習0.5時間) ゴム質印象材についての予習 (予習0.5時間)	認知 (想起)
5	4/30 (金) 3限	川口	ユニット5 印象材 (2) [講義]	1) 合成ゴム質印象材の特徴を理解する。	(1) シリコーンゴム印象材の特徴を説明できる。 (2) 連合印象を説明できる。	シリコーンゴム印象材の特徴を表す用語についてまとめること (復習0.5時間) ゴム質印象材についての予習 (予習0.5時間)	認知 (想起)
6	5/7 (金) 3限	川口	ユニット6 印象材 (3) [講義]	1) その他の印象材の特徴を理解する。	(1) ポリエーテルゴム印象材の特徴を説明できる。 (2) 非弾性印象材を説明できる。	非弾性印象材の種類と特徴をまとめること (復習0.5時間) 石こうについての予習 (予習0.5時間)	認知 (想起)
7	5/14 (金) 3限	川口	ユニット7 模型材 [講義]	1) 模型材の種類と特徴を理解する。	(1) 石こうの種類と特徴を説明できる。 (2) レジン系模型材の特徴を説明できる。	石こうの種類と特徴をまとめること (復習0.5時間) 合着材についての予習 (予習0.5時間)	認知 (想起)
8	5/17 (月) 2限	川口	ユニット8 合着材と接着材 (1) [講義] [ミニテスト]	1) 歯科用セメントの種類を理解する。 2) 歯科用セメントの特徴を理解する。	(1) 歯科用セメントの種類を説明できる。 (2) 歯科用セメントの所用性質を説明できる。	セメントの種類をまとめること (復習0.5時間) 合着材についての予習 (予習0.5時間)	認知 (想起)
9	5/24 (月) 2限	川口	ユニット9 合着と接着材 (2) [講義]	1) セメントの特徴を理解する。	(1) リン酸亜鉛セメントを説明できる。 (2) ポリカルボキシレートセメントを説明できる。 (3) 来型ガラスアイオノマーセメントの特徴を説明できる。	個別のセメントの種類をまとめること (復習0.5時間) 接着材料についての予習 (予習0.5時間)	認知 (想起)
10	5/31 (月) 2限	川口	ユニット10 合着と接着材 (2) [講義]	1) 接着の概念を理解する。 2) 接着性レジンセメントの特徴を理解する。	(1) 歯科での接着の重要性を説明できる。 (2) 接着性レジンセメントの特徴を説明できる。	レジンセメントの特徴をまとめること (復習0.5時間) 修復材料についての予習 (予習0.5時間)	認知 (想起)
11	6/7 (月) 2限	川口	ユニット11 成形修復材 (1) [講義]	1) 成形修復の概念を理解する。 2) 成形修復材の種類を理解する。	(1) 成形修復材の所用性質を説明できる。 (2) 成形修復材の種類を説明できる。	コンポジットレジンの特徴をまとめること (復習0.5時間) 重合方法についての予習 (予習0.5時間)	認知 (想起)
12	6/14 (月) 2限	川口	ユニット12 成形修復材 (2) [講義]	1) コンポジットレジンの特徴を理解する。	(1) コンポジットレジンの特徴を説明できる。 (2) 硬化方法と接着技法を説明できる。	コンポジットレジンの特徴をまとめること (復習0.5時間) ガラスアイオノマーセメントについての予習 (予習0.5時間)	認知 (想起)
13	6/21 (月) 2限	川口	ユニット13 成形修復材 (3) [講義]	1) グラスアイオノマーセメントの特徴を理解する。	(1) グラスアイオノマーセメントの特徴を説明できる。 (2) 硬化方法と接着技法を説明できる。	ガラスアイオノマーセメントの種類をまとめること (復習0.5時間) 仮封材についての予習 (予習0.5時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
14	6/28 (月) 2限	川口	ユニット14 仮封材 [講義]	1) 仮封材の特徴を理解する。	(1) 仮封材の種類と所用性質を説明できる。 (2) 仮封材の操作方法を説明できる。	仮封材の種類をまとめること（復習0.5時間） 技工材料についての予習（予習0.5時間）	認知 (想起)
15	7/5 (月) 2限	川口	ユニット15 技工用材料 [講義]	1) 間接法による修復物作製方法を理解する。 2) CAD/CAMを理解する。 3) 技工用材料の種類を理解する。	(1) 間接法について説明できる。 (2) CAD/CAMによる修復物作製方法を説明できる。 (3) ワックスや合金について説明できる。	間接法で用いられる材料の種類をまとめること（復習1時間）	認知 (想起)

歯科診療補助実習Ⅰ

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 20 コマ；40 時間
 1 単位
 受験資格要件： 4/5（16 コマ）以上の出席
 科目番号： DH011244
 評価責任者： 森 沙耶香
 授業担当者： 川尻 望、森 沙耶香、後藤加寿子
 高木未沙稀、石井綾子、貴島聡子
 泉 喜和子

1.（一般目標）

将来、歯科衛生士として歯科診療の補助を実施するために、必要な知識・技術を修得する。なお初年時教育として、レポートの書き方、実習での心構えなど学修を行う。

2.（教育方法）

講義・実習・グループワークを行う。

歯科医療機関において歯科医師あるいは歯科衛生士として診療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3.（教育教材）

教科書、プリント、PC+プロジェクター 各種実習器材

4.（学修方法）

実習には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を行っていることを前提とする。実習中は、重要点など記録すること。実習後は、アクティブラーニングとして事後学習（復習）を行い、技術を修得すること。レポート課題は、締め切り期日を守ること。授業は定刻で開始する遅刻は欠席となる。本授業を理解する上で、歯科材料の知識が必要である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：20時間】

5.評価方法

〔形式的評価〕：確認テスト・レポート

〔フィードバック〕：不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。

〔総括的評価〕：記述試験（70%） 課題レポート（20%） 授業参加状況・授業態度（10%）

試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。

〔フィードバック〕以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

尚、詳細は講義の初日に説明する。

6.教科書

1 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医師薬出版 2018

7.参考書

1 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 2020

2 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士総論 医歯薬出版 2012

3 新歯科衛生士教育マニュアル 歯科臨床の基礎と概論 クインテッセンス出版 2015

4 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編 クインテッセンス出版 2020

5 『新・歯科衛生士教育マニュアル 保存修復』片山 直、小松正志、松尾敬志 編集 クインテッセンス出版 2018

6 『新・歯科衛生士教育マニュアル 歯内療法』笠原悦男、林 宏行、吉田隆一 編集 クインテッセンス出版 2020

7 最新歯科衛生士教本 歯科材料学 2017

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	6/17 (木) 2限	川尻 森 高木	ユニット 5 衛生材料の取り扱い (綿栓作成) 〔講義・演習〕	1) 根管処置用器材の取 り扱いを理解する。 2) 衛生材料の取り扱いを 理解する。	(1)歯科衛生材料について説明できる。 (2)根管処置用器材の取り扱いを説明できる。 (3)ブローチ綿栓を作製できる。	参考書5のP 145-161を 精読する。 復習1時間	認知 (想起) 精神運動 (模倣)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
2	6/18 (金) 2限	森 石井 高木	ユニット6 診療室で扱う歯科材 料1 (印象材) ペースト練和 [実習]	1) 印象材の特徴、種 類、用途を理解する。	(1)印象材の特徴、種類、用途を列記できる。 (2)各種印象材の練和管理を実施できる。 (3)印象採得とその対応を実施できる。	ペースト練 和法を復習 する。 復習1時間	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
3	6/23 (水) 1,2限	森 貴島 川尻 高木	診療室で扱う歯科材 料2 (印象材) ペースト練和 [実習]			ペースト練 和法を復習 する。 復習1時間× 2	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
4							
5	6/25 (金) 1,2限	森 泉 石井 高木	診療室で扱う歯科材 料3 (印象材) 粉末練和 [実習]		(1)各種印象材の練和管理を実施できる。 (2)印象採得とその対応を実施できる。	粉末練和の 印象材の復 習を行う。 復習1時間× 2	精神運動 (模倣)
6							
7	6/30 (水) 1,2限	森 後藤 貴島 川尻	診療室で扱う歯科材 料4 (印象材) 上顎トレー盛り [実習]			上顎トレー 盛りの復習 を行う。 復習1時間× 2	精神運動 (模倣)
8							
9	7/9 (金) 1,2限	森 泉 高木 川尻	ユニット 1 歯科診療における基 礎知識1 手指消毒、鉗子・撮子 の取扱 [実習]	1) 手指の消毒を理解す る。 2)滅菌・消毒器材の取り 扱いを理解する。	(1)各種消毒・滅菌方法について列記できる。 (2)手指消毒やグローブの装着・脱着が実施で きる。 (3)歯科用器材に応じた滅菌・消毒・洗浄を実 施できる。	教科書 1. のP28-43を 精読する 復習1時間× 2	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
10							
11	7/16 (金) 1,2限	石井 森 川尻 高木	ユニット 2 歯科診療における基 礎知識2 診療設備 (ユニット操作) [実習]	1) 歯科診療室の環境、設 備について理解する。	(1)歯科診療室の環境・設備について説明でき る。 (2)歯科用チェアユニットの操作を実施でき る。	教科書 1. のP50-56を 精読する 予習1時間 復習1時間	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
12							
13	7/21 (水) 1,2限	石井 森 貴島 高木	ユニット 3 歯科診療における基 礎知識3 (共同動作) 共同動作の概念 ポジショニング ライティング [実習]	1) 歯科診療における共 同動作を理解する。 (ポジショニング・ライ ティング)	(1)共同動作の概念を示すことができる。 (2)適切なポジショニングを実施できる。 (3)適切なライティングを実施できる。	教科書1.のP 63-67を精 読する 予習1時間 復習1時間	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
14							
15	7/28 (水) 1,2限	石井 森 後藤 高木	ユニット 4 歯科診療における基 礎知識4 (共同動作) 3人1組1人目 [実習]	1) 歯科診療における共 同動作を理解する。 (バキューム操作・フォ ーハンドデットデンティ ストリー)	(1)バキュームの基本動作を実施できる。 (2)フォーハンドデットデンティストリーの基本 動作を実施できる。	教科書1.のP 67-69. P 71-77を精 読する 11~14回の 振り返りをす る 予習1時間× 3 復習×3	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
16							
17	7/29 (木) 1,2限	石井 森 川尻 高木	歯科診療における基 礎知識4 (共同動作) 3人1組2人目 [実習]				
18							
19	8/5 (木) 1,2限	森 石井 川尻 高木	歯科診療における基 礎知識4 (共同動作) 3人1組3人目 [実習]		授業評価アンケート実施		
20							

歯科診療補助実習Ⅱ

開講時期： 1 年次後期
授業時間数： 20 コマ：40 時間
1 単位
受験資格要件： 4/5（20 コマ中 16 コマ）以上の出席
科目番号： DH011245
評価責任者： 後藤加寿子
担当教員： 堀部 晴美、力丸 哲也
松尾 忠行、泉 喜和子
後藤加寿子、貴島 聡子
黒木まどか、石井 綾子
川尻 望、森 沙耶香
高木未沙稀、北村 強志

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として科学的根拠に基づいた歯科診療の補助を実施するために、必要な知識・技術を修得する態度、および論理的思考の基礎を修得する。

2. 教育方法

講義・実習・グループワークを行う。

大学病院等において、歯科医師、歯科衛生士として治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター 各種実習器材

4. 学修方法

実習には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。実習中は、重要点など記録すること。実習後は、アクティブラーニングとして事後学習（復習）を行い、技術を修得すること。レポート課題は、締め切り期日を守ること。実習は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。本授業を理解するうえで、歯科材料学、歯科補綴学、保存修復学の理解が必要となる。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：20時間】

5. 評価

〔形成的評価〕 確認テスト・レポート

〔フィードバック〕 不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。

〔総括的評価〕 記述試験（60%）、実技試験（30%）、小テスト・レポート・授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（10%）

6. 教科書

- 1 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版

7. 参考書

- 1 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版 2020
- 2 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士概論 医歯薬出版 2018
- 3 新歯科衛生士教育マニュアル 歯科臨床の基礎と概論 クインテッセンス出版 2018
- 4 歯科衛生士国試対策集 歯科衛生士国試対策研究会編 クインテッセンス出版 2020
- 5 最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
- 6 最新歯科衛生士教本 歯科材料学

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	10/5 (火) 3,4限	後藤 川尻 森 高木	ユニット 1 医療面接1 患者誘導から医療 面接まで 演習	1) 歯科診療室における 患者対応を理解す る。	(1)歯科診療室における患者対応を実施できる。 (2)医療面接の目的を説明できる。 (3)医療面接を実施できる。	教科書 1 の P57-62を精読 する。参考書 1の P 120- 126を精読す る。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
2							
3	10/21 (木) 3,4限	森 後藤 石井 川尻	ユニット2 診療室で扱う歯科 材料5 (印象材) 下顎トレー盛り 実習	1) 印象材の特徴、種 類、用途、操作法を 理解する。	(1)印象材の特徴、種類、用途を説明できる。 (2)各種印象材の練和と管理を実施できる。 (3)印象採得とその対応を実施できる。	教科書1のP 192-202を精 読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (コン トロー ル)
4							
5	10/22 (金) 3,4限	石井 後藤 森 高木	ユニット2 診療室で扱う歯科 材料6 (印象材) (マネキン印象採 得) 実習	1) 印象材の特徴、種 類、用途、操作法を理 解する。	(1)印象材の特徴、種類、用途を説明できる。 (2)各種印象材の練和と管理を実施できる。 (3)印象採得とその対応を実施できる。	教科書1のP 192-202を精 読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (コン トロー ル)
6							
7	10/26 (火) 3限	森 高木	ユニット3 診療室で扱う歯科 材料7 (各種合着材・接 着剤) 【講義】	1) 各種合着材や接着剤の 特徴、種類、用途、操 作法を理解する。	(1)合着材や接着剤の特徴、種類、用途、管 理を説明できる。 (2)合着材や接着剤の練和を実施できる。 (3)仮着材の特徴、種類、用途を説明でき る。 (4)仮着材の練和を実施できる。	教科書1のP 222-233を精 読する。 参考書6のP79 ～81.85～89 を精読する。 1時間	認知 (解釈)
8	10/29 (金) 3,4限	森 泉 川尻 高木	ユニット3 診療室で扱う歯科 材料8 (リン酸亜鉛セメ ント) 【実習】	1) 各種合着材や接着剤の 特徴、種類、用途、操 作法を理解する。	(1)合着材や接着剤の特徴、種類、用途、管 理を説明できる。 (2)合着材や接着剤の練和を実施できる。 (3)仮着材の特徴、種類、用途を説明でき る。 (4)仮着材の練和を実施できる。	第7回目の講 義プリントを 精読する。 講義中に確認 試験を行う。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (コン トロー ル)
9							
10	11/2 (火) 3,4限	森 貴島 川尻 高木	ユニット3 診療室で扱う歯科 材料9 (加圧レジンセメ ント) 【実習】	1) 各種合着材や接着剤の 特徴、種類、用途、操 作法を理解する。	(1)合着材や接着剤の特徴、種類、用途、管 理を説明できる。 (2)合着材や接着剤の練和を実施できる。 (3)仮着材の特徴、種類、用途を説明でき る。 (4)仮着材の練和を実施できる。	第7回目の講 義プリントを 精読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (コン トロー ル)
11							
12	11/4 (木) 4限	森 高木	ユニット4 診療室で扱う歯科 材料12 (仮封材) 講義	1) 仮封材の特徴、種 類、用途を理解す る。	(1)仮封材の特徴、種類、用途、管理を説明 できる。 (2)仮封材の目的を説明できる。	教科書1のP 244-250を精 読する。 1時間	認知 (解釈)
13	11/5 (金) 3,4限	森 後藤 川尻 高木	ユニット3 診療室で扱う歯科 材料10 (酸化亜鉛1-ゾール セメント) 【実習】	1) 各種合着材や接着剤の 特徴、種類、用途、操 作法を理解する。	(1)合着材や接着剤の特徴、種類、用途、管 理を説明できる。 (2)合着材や接着剤の練和を実施できる。 (3)仮着材の特徴、種類、用途を説明でき る。 (4)仮着材の練和を実施できる。	第7回目の講 義プリントを 精読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (コン トロー ル)
14							
15	11/12 (金) 3,4限	石井 北村 後藤 森 高木	ユニット3 診療室で扱う歯科 材料11 (接着性レジンセ メント) 【実習】	1) 各種合着材や接着剤の 特徴、種類、用途、操 作法を理解する。	(1)合着材や接着剤の特徴、種類、用途、管 理を説明できる。 (2)合着材や接着剤の練和を実施できる。 (3)仮着材の特徴、種類、用途を説明でき る。 (4)仮着材の練和を実施できる。	第7回目の講 義プリントを 精読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (コン トロー ル)
16							
17	11/25 (木) 3,4限	森 川尻 高木	ユニット4 診療室で扱う歯科 材料 (仮封材) ソフト 軟質レジン 水硬性仮封材 実習	1) 印象材の特徴、種 類、用途を理解する。	(1)仮封材の特徴、種類、用途、管理を説明 できる。 (2)各種仮封材の操作を実施できる。	教科書1のP 244-250を精 読する。 第16回目の講 義プリントを 精読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
18							

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育 目標 領域
19	12/10 (金) 3,4限	後藤 堀部 力丸 松尾 泉 貴島 黒木 石井 川尻 森 高木	ユニット1 医療面接2 患者誘導から医療 面接まで 4症例別医療面接 演習	1) 歯科診療室における 患者対応を理解する。	(1)歯科診療室における患者対応を実施できる。 (2)医療面接の目的を説明できる。 (3)医療面接を実施できる。	教科書1の P57-62を精読 する。 参考書1のP 120-126を精 読する。 予習1時間 復習1時間	認知 (解釈) 精神運動 (コント ロール)
20							

物理学

開講時期： 1年次前期
 授業時間数： 9コマ；18時間1単位
 受験資格要件： 2/3（6コマ）以上の出席
 科目番号： DH012305
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 川口 稔

1. 一般目標

日常臨床のさまざまな場面で物理現象が利用されている。本授業では高等学校で物理学を履修していなくても理解できるように、身近な物理現象を通じて基本的な物理学の考え方を理解する。これらの基礎知識を体系的に理解することで、豊かな教養と人間性を体得するとともに主体的な問題解決能力を身につける。そして歯科医療に関わる専門的な知識や技術を学ぶ上で必要となる物理学的知識を論理的に分析・考察する科学的思考力を修得する。

2. 教育方法

講義を行う。

3. 教育教材

教科書、配布プリント

4. 学修方法

毎回講義内容に基づいた練習問題プリントを配布するので、予習と復習に活用すること。本授業では基本的事項を中心として解説するため、必ず前回の授業内容を復習の上、次回の授業に臨むこと。さらに授業終了時に次回の授業内容の概要を説明するので、次回の授業では、指示された内容に関して予習していることを前提に開始する。本授業は歯科材料学講義の理解に寄与するところが大きい。

〔単位修得に必要な授業外学修時間：9時間〕

5. 評価方法

〔総括的評価〕記述試験（90%）・授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（10%）

〔フィードバック〕試験結果のフィードバックは採点后に解答例を開示し、今後の関連科目の学習に必要な注意点などを掲示する。

6. 教科書

なし。講義実施時に応じた練習問題と資料プリントを配布する。

7. 参考書

なし。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 〔授業方法〕	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/16 (金) 4限	川口	ユニット1 歯科臨床での物理現象 〔講義〕	1) 物理現象の応用例を理解する。 2) 物理量を表す単位を理解する。	(1) 物理量とは何かを説明できる。 (2) 物理量の単位を説明できる。	基本単位と組み立て単位を比較してまとめること（復習1時間）	認知 (想起)
2	4/30 (金) 4限	川口	ユニット2 力学（1） 〔講義〕	1) 物体の運動を理解する。 2) 速さと速度の違いを理解する。	(1) 速さと速度の違いを説明できる。 (2) 等速直線運動を説明できる。	物体の等速運動を表す用語についてまとめること（復習0.5時間） 加速度についての予習（予習0.5時間）	認知 (想起)
3	5/7 (金) 4限	川口	ユニット3 力学（2） 〔講義〕	1) 加速度を理解する。 2) 等加速度直線運動を理解する。	(1) 加速度の意味を説明できる。 (2) 等加速度直線運動を説明できる。	加速度運動を表す用語についてまとめること（復習0.5時間） 力のつり合いについての予習（予習0.5時間）	認知 (想起)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
4	5/14 (金) 4限	川口	ユニット4 力学（3） [講義]	1) 物体に作用する力を理解する。 2) 人体に作用する力のつり合いを理解する。	(1) 力の単位を説明できる。 (2) 人体の作用する力のつり合いを説明できる。	力のつり合いについてまとめること（復習0.5時間） 運動方程式についての予習（予習0.5時間）	認知 (想起)
5	5/21 (金) 4限	川口	ユニット5 力学（4） [講義]	1) 運動方程式を理解する。	(1) 力と加速度との関係を説明できる。 (2) 運動方程式を説明できる。	運動方程式についてまとめること（復習0.5時間） 力学的エネルギーについての予習（予習0.5時間）	認知 (想起)
6	5/28 (金) 4限	川口	ユニット6 力学（5） [講義]	1) 力学的エネルギーを理解する。 2) 力学的エネルギー保存則を理解する。	(1) 力学的エネルギーの種類を説明できる。 (2) エネルギー保存則の実例を説明できる。	力学的エネルギーについてまとめること（復習0.5時間） オームの法則についての予習（予習0.5時間）	認知 (想起)
7	6/4 (金) 4限	川口	ユニット7 電磁気（1） [講義]	1) 電気量を理解する。 2) オームの法則を説明する。	(1) 電荷とは何かを説明できる。 (2) オームの法則を説明できる。	オームの法則をまとめること（復習0.5時間） クーロンの法則についての予習（予習0.5時間）	認知 (想起)
8	6/11 (金) 4限	川口	ユニット8 電磁気（2）	1) クーロンの法則を理解する。 2) 電磁誘導の特徴を理解する。	(1) クーロンの法則を説明できる。 (2) 電磁誘導の応用例を説明できる。	クーロンの法則をまとめること（復習0.5時間） 放射線についての予習（予習0.5時間）	認知 (想起)
9	6/18 (金) 4限	川口	ユニット9 核物理学 [講義]	1) 放射線の種類を理解する。 2) 半減期を理解する。 3) 被曝の単位を理解する。	(1) 放射線の種類を説明できる。 (2) 半減期とは何かを説明できる。 (3) 放射線被曝の単位を説明できる。	放射線の種類と影響をまとめること（復習1時間）	認知 (想起)

化学

開講時期： 1年次前期
 授業時間数： 9コマ；18 時間
 1単位
 受験資格要件： 2/3（6コマ）以上の出席
 科目番号： DH012306
 評価責任者： 堀部晴美
 授業担当者： 藤田亜美

1. 一般目標

医療従事者になるために必要な科学的基礎知識を修得し、論理的分析、考察をおこなう能力を身につける。そのために、高校の化学からの橋渡しを考慮しながら、化学についての基本的項目を学び豊かな教養と人間性を身につける。特に、化学で使われる『専門的な言葉』の意味をしっかりと学ぶ。

2. 教育方法

講義形式で知識の授受を行う。

3. 教育教材

講義時間ごとにプリントを配布する。

4. 学修方法

下記のシラバスを読み、高校で化学を履修していない学生は、講義までに高校教科書相当の書籍の関連部分を読み予習する。

高校で化学を履修した学生は、講義までに授業内容を確認しておく。講義には必ず出席し、授業中は板書のノートを取るようになる。講義後は、配布されたプリントを見直し復習しておく。

[単位修得に必要な授業外学修時間：9時間]

5. 評価方法

[形成的評価] 講義中の質疑応答、受講態度を合わせて評価する

[フィードバック] 講義中に評価を伝える

[総括的評価] 定期試験：記述試験（80%）

平常評価：講義への出席、授業態度により総合的に判定する。（20%）

[フィードバック] 試験成績を掲示する

6. 教科書

1. 特に指定しない。

授業中にプリントを配布する。

7. 参考書

1. 特に指定しない。

学生からの要望があれば別途指示する。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
1	4/16 (金) 4限	藤田	ユニット1 物質の成り立ち [講義]	1) 物質の化学的な成り立ちについて学ぶ。 2) 原子の構造について学ぶ。 3) アボガドロ数、モルの概念について学ぶ。	(1) 全ての物質が原子より構成されていることを説明できる。また、混合物と純物質、単体と化合物、同素体を区別することができる。 (2) 原子核や電子、電子殻などの言葉を用いて原子の構造を説明できる。また、元素、原子、イオン、分子の違いを説明できる。 (3) 化学における基本単位であるアボガドロ数について説明できる。	高校教科書の見直し 0.5 時間 講義の配布資料の見直し 0.5 時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
2	4/30 (金) 4限	藤田	ユニット2 化学式 〔講義〕	1) 化学式の読み方について学ぶ。 2) 様々な化学式の書き方について学ぶ。 3) 化学式量について学ぶ。	(1) 与えられた化学式から、その化合物を構成している元素の種類と数を知ることができる。また、原子量・分子量の区別ができ、化学式量の意味を説明できる。 (2) 組成式・分子式・電子式・構造式の区別ができ、相互に書き換えることができる。 (3) 化学式量とアボガドロ数から物質量を算出することができる。	前回の講義の配布資料の見直し 0.5 時間 講義の配布資料の見直し 0.5 時間	認知 (想起)
3	5/7 (金) 4限	藤田	ユニット3 化学結合 〔講義〕	1) 主な化学結合(共有結合、イオン結合、水素結合、金属結合、配位結合)について学ぶ。	(1) 共有結合、イオン結合、水素結合、金属結合、配位結合がどのような化学的な力によって形成されているかを説明できる。また、与えられた分子式から、その化合物を構成している化学結合の種類を予想することができる。 (2) 水やメタンのような簡単な物質の持つ結合の性質を説明することができる。	前回の講義の配布資料の見直し 0.5 時間 講義の配布資料の見直し 0.5 時間	認知 (想起)
4	5/14 (金) 4限	藤田	ユニット4 物質の状態 〔講義〕	1) 物質の様々な状態(三態)について学ぶ。 2) 気体と液体の関係について学ぶ。	(1) 分子のもつエネルギーと運動とのかんけいについて説明することができる。 (2) 物質の状態として固体、液体、気体の3つの状態(三態)があることを説明できる。また、条件により物質が三態間で変化することを説明できる。 (3) 一定の液体に溶解する気体の質量が圧力と温度によって変化することを説明できる。	前回の講義の配布資料の見直し 0.5 時間 講義の配布資料の見直し 0.5 時間	認知 (想起)
5	5/21 (金) 4限	藤田	ユニット5 溶液と濃度 〔講義〕	1) 溶液の濃度を表す様々な単位(重量% 濃度、体積 % 濃度、モル濃度、ppm)について学ぶ。	(1) 溶質と溶媒の関係を説明できる。また、与えられた溶質と溶媒の量から濃度を算出することができる。 (2) 溶液の濃度を様々な単位を用いて示すことができる。また、濃度の単位変換ができる。さらに、希釈溶液の濃度変化を算出できる。	前回の講義の配布資料の見直し 0.5 時間 講義の配布資料の見直し 0.5 時間	認知 (想起)
6	5/28 (金) 4限	藤田	ユニット6 化学反応式 〔講義〕	1) 化学反応式の意味について学ぶ。 2) 質量保存の法則、可逆反応と化学平衡について学ぶ。	(1) 化学反応式から、その反応がどのような反応なのかを読み取ることができる。また、自分で正しく化学反応式を書くことができる。 (2) 化学反応において、反応物と生成物の各総質量の和が一定である理由を説明できる。また、可逆反応について説明でき、反応の平衡状態の変化を予想できる。	前回の講義の配布資料の見直し 0.5 時間 講義の配布資料の見直し 0.5 時間	認知 (想起)
7	6/4 (金) 4限	藤田	ユニット7 酸と塩基 〔講義〕	1) 酸と塩基の性質、定義について学ぶ。 2) pHの意味、算出方法について学ぶ。 3) 緩衝液の性質について学ぶ。	(1) 溶液が酸性を示すとはどういうことか、塩基性を示すとはどういうことかを説明できる。また、アーレニウスの定義とブレンステッド・ローリーの定義の違いについて説明できる。 (2) 溶液のpHの意味を説明でき、与えられた溶液の水素イオン濃度からpHを算出することができる。また、緩衝液の示す性質について説明できる。	前回の講義の配布資料の見直し 0.5 時間 講義の配布資料の見直し 0.5 時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
8	6/11 (金) 4限	藤田	ユニット8 酸化と還元 〔講義〕	1) 酸化還元反応について学ぶ。	(1) 物質が酸化されるとはどういうことか、還元されるとはどういうことかを説明できる。また、酸化還元の3つ定義を説明できる	前回の講義の配布資料の見直し 0.5 時間 講義の配布資料の見直し 0.5 時間	認知 (想起)
9	6/18 (金) 4限	藤田	ユニット9 有機化合物 〔講義〕	1) 簡単な有機化合物の特徴について学ぶ。	(1) 有機化合物を構成する主要な元素の種類を説明することができる。また、各元素が持つ原子価(結合の手数)を説明できる。 (2) 有機化合物の構造が巨大かつ複雑になりえる理由を説明できる。また、官 能基の名称と、その官能基を持つ一般的な有機化合物の名称が分かる。	前回の講義の配布資料の見直し 0.5 時間 講義の配布資料の見直し 0.5 時間	認知 (想起)

福 岡 医 療 短 期 大 学

〒814-0193 福岡市早良区田村二丁目15番1号

電 話 092 (801) 0439

F A X 092 (801) 4473